旭川 2024年1月1日 入札公告から適用 配点表 一般土木(河川・道路)、維持除雪

評価項目 大項目	評価項目 中項目	評価項目 小項目	評価基準		施工能力評価型 2．5億未満 施工能力評価型Ⅰ・Ⅱ Ⅱ型（難易度Ⅰ．Ⅱ） 評価	配点	Ⅰ型①（難易度Ⅱ） 評価	配点	Ⅰ型①（難易度Ⅲ以上） 評価	配点	2．5億以上 施工能力評価型Ⅰ H31以降運用 Ⅱ型 評価	配点	Ⅰ型①（最、やや難で難易度Ⅰ～Ⅲ） 評価	配点	Ⅰ型①（難又は難易度Ⅳ以上） 評価	配点			Ⅰ型② 評価	配点	地域維持型JV対象工事（年間維持除雪等） 評価	配点			技術提案評価型 非WTO S型 評価	配点		A型 評価	配点		WTO S型 評価	配点	A型 評価	配点
技術者		過去15年度の同種工事の実績 同種性・立場	より同種性の高い工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	必須	7.0		3.0		3.0		7.0		3.0		7.0				7.0		7.0				5.0			8.0								
			より同種性の高い工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事		3.5	7.0	1.5	3.0	1.5	3.0	3.5	7.0	1.5	3.0	3.5	7.0			3.5	7.0	3.5	7.0			2.5	5.0		4.0	8.0							
			同種性が認められる工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				0.0		0.0				0.0			0.0								
		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人としての成績（当該工事と同じ工事区分の任意の1工事）※ただし、当該工事が道路部門であり、かつ工事区分が「一般土木」の場合は、年間維持除雪工事（工事区分「維持」）の工事成績も評価対象とする。	83点以上		8.0		3.0		3.0		8.0		3.0		8.0				8.0		8.0				5.0			8.0								
			82点以上83点未満		7.3		2.8		2.8		7.3		2.8		7.3				7.3		7.3				4.6			7.3								
			81点以上82点未満		6.6		2.6		2.6		6.6		2.6		6.6				6.6		6.6				4.2			6.6								
			80点以上81点未満		5.9		2.4		2.4		5.9		2.4		5.9				5.9		5.9				3.8			5.9								
			79点以上80点未満		5.2		2.2		2.2		5.2		2.2		5.2				5.2		5.2				3.4			5.2								
			78点以上79点未満		4.5		2.0		2.0		4.5		2.0		4.5				4.5		4.5				3.0			4.5								
			77点以上78点未満		3.8	8.0	1.8	3.0	1.8	3.0	3.8	8.0	1.8	3.0	3.8	8.0			3.8	8.0	3.8	8.0			2.6	5.0		3.8	8.0							
			76点以上77点未満		3.1		1.6		1.6		3.1		1.6		3.1				3.1		3.1				2.2			3.1								
			75点以上76点未満		2.4		1.4		1.4		2.4		1.4		2.4				2.4		2.4				1.8			2.4								
			74点以上75点未満		1.7		1.2		1.2		1.7		1.2		1.7				1.7		1.7				1.4			1.7								
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0				1.0		1.0				1.0			1.0								
			72点以上73点未満		0.3		0.8		0.8		0.3		0.8		0.3				0.3		0.3				0.6			0.3								
			72点未満		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				0.0		0.0				0.0			0.0								
		過去4年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無	①局長表彰（同一事業部門限定）②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通大臣賞		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0			3.0	3.0	3.0	3.0			3.0	3.0		3.0	3.0							
			①旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定)②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通奨励賞		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5				1.5		1.5				1.5			1.5								
		主任(監理)技術者の資格	技術士を有している又は1級土木経験年数5年以上 ※2級が参加資格の場合は経験年数を省く 工種区分に応じて資格を追加する	選択																																
			上記以外																																	
		CPDへの取組	指定団体の一定数以上の認定あり		1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	0.5	0.5	1.0	1.0			1.0	1.0	1.0	1.0			1.0	1.0										
		施工監理能力の確認（書面）	当該工事での留意事項 3項目程度まで				10.0～0.0	10.0	10.0～0.0	10.0			10.0～0.0	10.0																						
		その他																																		
小計						19.0		19.5		19.5		19.0		19.5		19.0				19.0		19.0				14.0				19.0						
施工能力等 企業	企業（地域以外）	過去15年度の同種工事実績	より同種性の高い工事実績あり	必須	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	5.0	5.0	段階的選抜	総合評価	5.0	5.0	5.0	5.0	段階的選抜	総合評価	3.0	3.0	段階的選抜	7.0	7.0	段階的選抜	選択	※技術者の実績と同点数とする				
			同種性が認められる工事の実績あり		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				0.0		0.0				0.0			0.0								
		過去2年度の北海道開発局発注の全工事（舗装含む）成績の平均点（2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は8年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象）	83点以上		5.0		5.0		5.0		5.0		6.0		6.0				6.0		6.0				5.0			8.0								
			82点以上83点未満		4.6		4.6		4.6		4.6		5.5		5.5				5.5		5.5				4.6			7.3								
			81点以上82点未満		4.2		4.2		4.2		4.2		5.0		5.0				5.0		5.0				4.2			6.6								
			80点以上81点未満		3.8		3.8		3.8		3.8		4.5		4.5				4.5		4.5				3.8			5.9								
			79点以上80点未満		3.4		3.4		3.4		3.4		4.0		4.0				4.0		4.0				3.4			5.2								
			78点以上79点未満		3.0		3.0		3.0		3.0		3.5		3.5				3.5		3.5				3.0			4.5								
			77点以上78点未満		2.6		2.6		2.6		2.6		3.0		3.0				3.0		3.0				2.6			3.8								
			76点以上77点未満		2.2		2.2		2.2		2.2		2.5		2.5				2.5		2.5				2.2			3.1								
			75点以上76点未満		1.8		1.8		1.8		1.8		2.0		2.0				2.0		2.0				1.8			2.4								
			74点以上75点未満		1.4		1.4		1.4		1.4		1.5		1.5				1.5		1.5				1.4			1.7								
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0				1.0		1.0				1.0			1.0								
			72点以上73点未満		0.6		0.6		0.6		0.6		0.5		0.5				0.5		0.5				0.6			0.3								
			72点未満		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				0.0		0.0				0.0			0.0								
		過去2年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無（2年度対象）及び工事成績優秀企業認定の有無（1年度対象）、北海道開発局i-Con奨励賞（1年度対象）又は受賞決定日から2年間の国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通省i-Construction大賞（2年度対象）を含む。）（※局長表彰、旭川開発建設部長表彰、インフラDX大賞、i-Con奨励賞、i-Con大賞の重複評価は行わない。工事成績優秀企業認定のみ重複評価を行う。）※北海道開発局発注工事に限る	局長表彰(同一事業部門限定)		2.0	最大 2.5	2.0	最大 2.5	2.0	最大 2.5	2.0	最大 2.5	2.0	最大 2.5	2.0	最大 2.5			2.0	最大 2.5	2.0	最大 2.5			2.0	最大 2.5		2.0	最大 2.5							
			旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定)		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0				1.0		1.0				1.0			1.0								
			北海道開発局i-Con奨励賞		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5				0.5		0.5				0.5			0.5								
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通i-Construction大賞「国土交通大臣賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0				2.0		2.0				2.0			2.0								
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通i-Construction大賞「優秀賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0				1.0		1.0				1.0			1.0								
			工事成績優秀企業		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5				0.5		0.5				0.5			0.5								
		NETIS登録技術活用（新技術活用の原則義務化部門は除く）	「有用な新技術」に位置づけられている関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する	選択																																
			関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する。又は、「有用な新技術」で「他社開発技術」を当該工事へ活用する																																	
			新技術を当該工事へ活用しない																																	
		新技術導入促進（Ⅰ）型での新技術活用提案 ※S型又は施工能力評価型で適用可	提案された新技術(NETIS登録)の活用が有効かつ具体的である場合																																	
			提案された新技術(NETIS未登録)の活用が有効かつ具体的である場合																																	
			提案された新技術の活用が有効かつ具体的的でない場合																																	
		情報化施工技術活用（有意義な技術があれば適用）	NETIS登録技術の活用と重複加点はしない																																	
		ICTの活用（ICT活用評価対象工事のみ）	NETIS登録技術の活用と重複加点はしない		1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)			1.0	(1.0)	1.0	(1.0)			1.0	(1.0)										
		登録基幹技能者等の配置（登録基幹技能者等の活用対象工事のみ）	優秀施工者国土交通大臣顕彰者は表彰から10年間、技能士は特級、1級、単一等級のみ加点　登録基幹技能者		1.0	最大 (1.0)	1.0	最大 (1.0)	1.0	最大 (1.0)	1.0	最大 (1.0)	1.0	最大 (1.0)	1.0	最大 (1.0)			1.0	最大 (1.0)	1.0	最大 (1.0)			1.0	最大 (1.0)										
			建設マスター		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0				1.0		1.0				1.0											
			技能士		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5				0.5		0.5				0.5											
		その他																																		
	企業（地域）	本支店、営業所の所在地	○○○○事務所管内本店		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		1.0		1.0			1.0	1.0	1.0	1.0														
			旭川開発建設部管内本店		0.0		0.0		0.0	2.0	0.0		1.0		1.0				0.0		0.5															
			道内本店							0.0			0.0		0.5						0.0															
			道内支店・営業所												0.0						0.0															
		過去10年度の近隣地域(開発建設部内)での施工実績	あり		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0			1.0	1.0	1.0	1.0														
			なし		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				0.0		0.0															
		維持工事の施工実績（道路部門のみ）	・当該工事区間または箇所が年間維持除雪工事の区間内にある場合、その年間維持除雪工事(工事区分「維持」)の施工実績が連続5年以上		0.5	(0.5)	0.5	(0.5)	0.5	(0.5)	0.5	(0.5)	0.5	(0.5)	0.5	(0.5)			0.5	(0.5)																
		過去3年度以降の災害活動の実態等(活動実績又は防災活動や支援体制)	実績等が確認できること	必須	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0			1.0	1.0	1.0	1.0			1.0	1.0										
		当年度の災害活動の実態(協定の締結)	防災協定が締結されている		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0			1.0	1.0	1.0	1.0			1.0	1.0										
		ワーク・ライフ・バランス	次に掲げるいずれかの認定を受けている ・女性活躍推進法に基づく認定等・次世代法に基づく認定・若者雇用促進法に基づく認定 一般土木で発注する工事のうち、WTO及びA等級で発注する工事	選択							0.5	(0.5)	0.5	(0.5)	0.5	(0.5)			0.5	(0.5)					0.5	(0.5)		0.5	(0.5)							
		その他																													選択					
小計					18.5 (19.0)		18.5 (19.0)		18.5 (19.0)		18.5 (19.5)		18.5 (19.5)		18.5 (19.5)				18.5 (19.5)		18.5 (19.0)				12.5 (13.0)			17.5 (18.0)				1.0	1.0		
技術提案等	技術提案等	簡易な技術提案	施工上の課題に対する考え方等	必須	可or不可														可or不可									20.0			選択				20.0
		施工計画	施工計画が適切に記載されている																													0~25				
			施工計画が不適切である																																	
		技術提案（段階選抜時）	高い効果が期待できる																																	
			効果が期待できる																																	
			一般的事項のみの記載となっている																																	
		技術提案（段階選抜後）	高い効果が期待できる																						30(6点×5提案)											
			効果が期待できる																																	
			一般的事項のみの記載となっている																																	
		技術提案	施工上の課題に対し、最も優位な効果が期待できる																									70.0			必須				70.0
			施工上の課題に対し、優位な効果が期待できる																																	
			施工上の課題に対し、効果が期待できる																																	
			不適切ではないが、一般的事項のみの記載となっている																																	
			技術提案が不適切である																																	
段階的選抜				選択															必要に応じ実施						必要に応じ実施							必要に応じ実施				
ヒアリング	ヒアリング	監理能力	十分な監理能力が確認できる																×1.0	段階選抜後にヒアリングを実施し、技術者実績に乗じる					×1.0	左記に同じ						×1.0	左記に同じ			
			一定の監理能力が期待できる																×0.5						×0.5							×0.5				
			上記以外																×0.0						×0.0							×0.0				
		施工計画	施工計画の説明が適切である																可	不可の場合失格																
			施工計画の説明が不適切である																不可																	
		技術提案に対する理解度	提案を十分に理解している																						×1.0	技術提案に乗じる										
			提案を理解している																						×0.5											
			上記以外																						×0.0											
減点項目		直近の措置	指名停止	必須	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)			(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)			(−1.5)	(−1.5)		(−1.5)	(−1.5)							
			文書注意		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)				(−1.0)		(−1.0)				(−1.0)			(−1.0)								
			口頭注意		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)				(−0.5)		(−0.5)				(−0.5)			(−0.5)								
		修補請求	修補請求（低入札工事であった場合は下段の点数）		(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)			(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)			(−0.5) (−1.0)	(−1.0)		(−0.5) (−1.0)	(−1.0)							
		賃上げ未実施企業	賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)				(−0.3)		(−0.3)				(−0.4)			(−0.5)				(−0.5)		(−0.5)	
配点合計		技術提案等														可or不可			可or不可						30.0			70.0				60.0		70.0	
		技術者			19.0		19.5		19.5		19.0		19.5		19.0				19.0		19.0				14.0											
		企業			11.5		11.5		11.5		11.5		13.5		13.5				13.5		13.5				10.5											
		企業（地域）			6.0 (6.5)		6.0 (6.5)		6.0 (6.5)		6.0 (7.0)		4.0 (5.0)		4.0 (5.0)				6.0 (7.0)		4.0 (4.5)				2.0 (2.5)			− (0.5)				※1			
		合計			37.5 (38.0)		38.0 (38.5)		38.0 (38.5)		37.5 (38.5)		38.0 (39.0)		37.5 (38.5)				37.5 (38.5)		37.5 (38.0)				56.5 (57.0)			70.0 (70.5)				60.0		70.0	
賃上げを実施する企業に対する加点措置			賃上げの実施を表明した企業等を評価する。（対前年度または前年比で、従業員に右記を表明している場合）※技術提案評価型は「段階選抜後」に加点	必須	2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0	段階選抜後			2.0		2.0	段階選抜後			3.0	段階選抜後		4.0	段階選抜後			4.0		4.0	

※1　WLBの配点については、段階選抜時に1点加算する。段階選抜後は加算されず、段階選抜時の技術提案評価点が段階選抜後の評価点と合算される。
（段階選抜時は、WLBの評価を加えた配点（WLB＋技術配点）で評価。段階選抜後は、技術提案配点（段階選抜時＋段階選抜後）で評価。）

旭川 2024年1月1日 入札公告から適用 配点表 一般土木(農業)

評価項目 大項目	中項目	小項目	評価基準		施工能力評価型 2.5億未満 施工能力評価型Ⅰ・Ⅱ Ⅱ型(難易度Ⅰ) 評価	配点	Ⅱ型(難易度Ⅰ) 評価	配点	1.6億未満Ⅰ型①(難易度Ⅱ) 評価	配点	1.0~2.5億Ⅰ型①(易、やや難で難易度Ⅱ、Ⅲ) 評価	配点	Ⅰ型①(難または難易度Ⅳ以上) 評価	配点	2.5億以上 施工能力評価型Ⅰ H31以降運用Ⅱ型 評価	配点	Ⅰ型①(易、やや難で難易度Ⅰ～Ⅲ) 評価	配点	Ⅰ型①(難または難易度Ⅳ以上) 評価	配点	Ⅰ型② 評価	配点	技術提案評価型 非WTO S型 評価	配点	A型 評価	配点	WTO S型 評価	配点	A型 評価	配点
技術者		過去15年度の同種工事の実績 同種性・立場	より同種性の高い工事において、監理(主任)技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	必須	7.0	7.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	7.0	7.0	3.0	3.0	3.0	3.0	7.0	7.0	5.0	5.0	8.0	8.0	選択	※企業の実績と同点数とする			
			より同種性の高い工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理(主任)技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事		3.5		1.5		1.5		1.5		3.5		1.5		1.5		3.5		2.5		4.0						
			同種性が認められる工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0						
		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理(主任)技術者、特例監理技術者又は現場代理人としての成績(当該工事と同じ工事区分の任意の1工事)	83点以上		8.0	8.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	8.0	8.0	3.0	3.0	3.0	3.0	8.0	8.0	5.0	5.0	8.0	8.0					
			82点以上83点未満		7.3		2.8		2.8		2.8		7.3		2.8		2.8		7.3		4.6		7.3						
			81点以上82点未満		6.6		2.6		2.6		2.6		6.6		2.6		2.6		6.6		4.2		6.6						
			80点以上81点未満		5.9		2.4		2.4		2.4		5.9		2.4		2.4		5.9		3.8		5.9						
			79点以上80点未満		5.2		2.2		2.2		2.2		5.2		2.2		2.2		5.2		3.4		5.2			企業の実績と技術者の実績は適宜設定し、同点数とする			
			78点以上79点未満		4.5		2.0		2.0		2.0		4.5		2.0		2.0		4.5		3.0		4.5						
			77点以上78点未満		3.8		1.8		1.8		1.8		3.8		1.8		1.8		3.8		2.6		3.8						
			76点以上77点未満		3.1		1.6		1.6		1.6		3.1		1.6		1.6		3.1		2.2		3.1						
			75点以上76点未満		2.4		1.4		1.4		1.4		2.4		1.4		1.4		2.4		1.8		2.4						
			74点以上75点未満		1.7		1.2		1.2		1.2		1.7		1.2		1.2		1.7		1.4		1.7						
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0						
			72点以上73点未満		0.3		0.8		0.8		0.8		0.3		0.8		0.8		0.3		0.6		0.3						
			72点未満		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0						
		過去4年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無	局長表彰(同一事業部門限定)		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0					
			旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定)		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5						
		主任(監理)技術者の資格	技術士を有している又は1級土木経験年数5年以上 ※2級が参加資格の場合は経験年数を省く 工種区分に応じて資格を追加する	選択																									
			上記以外																										
		CPDへの取組	指定団体の一定数以上の認定あり		1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0							
		施工監理能力の確認(書面)	当該工事での留意事項 3項目程度まで				10.0～0.0	10	10.0～0.0	10	10.0～0.0	10			10.0～0.0	10	10.0～0.0	10											
		その他																							選択				
	小計					19.0		19.5		19.5		19.5		19.0		19.5		19.5		19.0		14.0							
施工能力等 企業	企業(地域以外)	過去15年度の同種工事実績	より同種性の高い工事実績あり	必須	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	3.0	3.0	7.0	7.0	選択	※技術者の実績と同点数とする			
			同種性が認められる工事の実績あり		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0						
		過去2年度の北海道開発局発注の全工事(舗装含む)成績の平均点(2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象)	83点以上		5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	5.0	5.0	8.0	8.0					
			82点以上83点未満		4.6		4.6		4.6		4.6		4.6		5.5		5.5		5.5		4.6		7.3						
			81点以上82点未満		4.2		4.2		4.2		4.2		4.2		5.0		5.0		5.0		4.2		6.6						
			80点以上81点未満		3.8		3.8		3.8		3.8		3.8		4.5		4.5		4.5		3.8		5.9						
			79点以上80点未満		3.4		3.4		3.4		3.4		3.4		4.0		4.0		4.0		3.4		5.2						
			78点以上79点未満		3.0		3.0		3.0		3.0		3.0		3.5		3.5		3.5		3.0		4.5						
			77点以上78点未満		2.6		2.6		2.6		2.6		2.6		3.0		3.0		3.0		2.6		3.8						
			76点以上77点未満		2.2		2.2		2.2		2.2		2.2		2.5		2.5		2.5		2.2		3.1						
			75点以上76点未満		1.8		1.8		1.8		1.8		1.8		2.0		2.0		2.0		1.8		2.4						
			74点以上75点未満		1.4		1.4		1.4		1.4		1.4		1.5		1.5		1.5		1.4		1.7						
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0						
			72点以上73点未満		0.6		0.6		0.6		0.6		0.6		0.5		0.5		0.5		0.6		0.3						
			72点未満		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0						
		過去2年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無(2年度対象)及び工事成績優秀企業認定の有無(1年度対象)、北海道開発局i-Con奨励賞(1年度対象)(※局長表彰、旭川開発建設部長表彰、i-Con奨励賞の重複評価は行わない。)	局長表彰(同一事業部門限定)		2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大					
			旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定)		1.0	2.5	1.0	2.5	1.0	2.5	1.0	2.5	1.0	2.5	1.0	2.5	1.0	2.5	1.0	2.5	1.0	2.5	1.0	2.5					
			北海道開発局i-Con奨励賞		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5						
			工事成績優秀企業		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5						
		NETIS登録技術活用(新技術活用の原則義務化部門は除く)	「有用な新技術」に位置づけられている関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する	選択	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0							
			関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する。又は、「有用な新技術」で「他社開発技術」を当該工事へ活用する		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5								
			新技術を当該工事へ活用しない		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0								
		新技術導入促進(Ⅰ)型での新技術活用提案 ※S型又は施工能力評価型で適用可	提案された新技術(NETIS登録)の活用が有効かつ具体的である場合				2.0	(2.0)	2.0	(2.0)	2.0	(2.0)			2.0	(2.0)	2.0	(2.0)											
			提案された新技術(NETIS未登録)の活用が有効かつ具体的である場合				1.0		1.0		1.0				1.0		1.0												
			提案された新技術の活用が有効かつ具体的的でない場合				0.0		0.0		0.0				0.0		0.0												
		情報化施工技術活用	「情報化施工技術の活用ガイドライン」に基づき加点する。		1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)							
		ICTの活用(ICT活用評価対象工事のみ)	NETIS登録技術の活用と重複加点はしない																										
		登録基幹技能者等の配置(登録基幹技能者等の活用対象工事のみ)	優秀施工者国土交通大臣顕彰者は表彰から10年間、技能士は特級、1級、単一等級のみ加点 登録基幹技能者		1.0	最大	1.0	最大	1.0	最大	1.0	最大	1.0	最大	1.0	最大	1.0	最大	1.0	最大	1.0	最大							
			建設マスター		1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)							
			技能士		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5								
		その他																							選択				
	企業(地域)	本支店、営業所の所在地	旭川開発建設部管内本店		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0									
			道内本店		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.5		0.5		0.5										
			道内支店・営業所												0.0		0.0		0.0										
		過去10年度の近隣地域(開発建設部内)での施工実績	あり		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0									
			なし		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0										
		過去3年度以降の災害活動の実態等(活動実績又は防災活動や支援体制)	実績等が確認できること	必須	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0									
		当年度の災害活動の実態(協定の締結)	防災協定が締結されている		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0									
		ワーク・ライフ・バランス	次に掲げるいずれかの認定を受けている ・女性活躍推進法に基づく認定等・次世代法に基づく認定・若者雇用促進法に基づく認定 一般土木で発注する工事のうち、WTO及びA等級で発注する工事	選択									0.5	(0.5)	0.5	(0.5)	0.5	(0.5)	0.5	(0.5)	0.5	(0.5)	0.5	(0.5)		1.0	1.0		
		その他																							選択				
	小計				18.5 (19.5)		18.5 (19.5)		18.5 (19.5)		18.5 (19.5)		18.5 (20.0)		18.5 (20.0)		18.5 (20.0)		18.5 (20.0)		13.5 (15.0)		17.5 (18.0)			1.0	1.0		
技術提案等	技術提案等	簡易な技術提案	施工上の課題に対する考え方等	必須															可or不可				20.0		総合評価 選択				20.0
		施工計画	施工計画が適切に記載されている																										
			施工計画が不適切である																							0-25			
		技術提案(段階選抜時)	高い効果が期待できる																										
			効果が期待できる																										
			一般的事項のみの記載となっている																										
		技術提案(段階選抜後)	高い効果が期待できる																			30(6点×5提案)			必須	35-60			
			効果が期待できる																										
			一般的事項のみの記載となっている																										
		技術提案	施工上の課題に対し、最も優位な効果が期待できる																				70.0						70.0
			施工上の課題に対し、優位な効果が期待できる																										
			施工上の課題に対し、効果が期待できる																										
			不適切ではないが、一般的事項のみの記載となっている																										
			技術提案が不適切である																										
段階的選抜				選択															必要に応じ実施						選択	必要に応じ実施			
ヒアリング	ヒアリング	監理能力	十分な監理能力が確認できる																×1.0	段階選抜後にヒアリングを実施し、技術審査実績に乗じる									
			一定の監理能力が期待できる																×0.5										
			上記以外																×0.0										
		施工計画	施工計画の説明が適切である																可	不可の場合失格									
			施工計画の説明が不適切である																不可										
		技術提案に対する理解度	提案を十分に理解している																										
			提案を理解している																										
			上記以外																										
減点項目	直近の措置		指名停止	必須	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)					
			文書注意		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)						
			口頭注意		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)						
	修補請求		修補請求(低入札工事であった場合は下段の点数)		(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)					
	賃上げ未実施企業		賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−5.0)		(−5.0)			(−5.0)		(−5.0)	
配点合計	技術提案等																		可or不可				30.0			60.0		70.0	
	技術者				19.0		19.5		19.5		19.5		19.0		19.5		19.5		19.0		14.0								
	企業		( )書きは農業部門限定		12.5(13.5)		12.5(13.5)		12.5(13.5)		12.5(13.5)		14.5(15.5)		14.5(15.5)		14.5(15.5)		14.5(15.5)		11.5(12.5)								
	企業(地域)				6.0		6.0		6.0		6.0		6.0 (6.5)		4.0 (4.5)		4.0 (4.5)		2.0 (2.5)		2.0 (2.5)		− (0.5)			※1			
	合計				37.5 (38.5)		38.0 (39.0)		38.0 (39.0)		38.0 (39.0)		37.5 (39.0)		38.0 (39.5)		38.0 (39.5)		37.5 (39.0)		37.5 (59.0)		70.0 (70.5)			60.0		70.0	
賃上げを実施する企業に対する加点措置			賃上げの実施を表明した企業等を評価する。 (対前年度または前年比で、従業員に右記を表明している場合) ※技術提案評価型は「段階選抜後」に加点	必須	2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0	段階選抜後	2.0	段階選抜後	3.0	段階選抜後	4.0	段階選抜後		4.0		4.0	

※1 WLBの配点については、段階選抜時に1点加算する。段階選抜後は加算されず、段階選抜時の技術提案評価点が段階選抜後の評価点と合算される。
(段階選抜時は、WLBの評価を加えた配点(WLB＋技術配点)で評価。段階選抜後は、技術提案配点(段階選抜時＋段階選抜後)で評価。)

旭川 2023年8月1日 入札公告から適用 配点表 舗装

大項目	中項目	小項目	評価基準	区分	0.8億未満 Ⅱ型 評価	配点	0.8～2.5億未満 Ⅱ型 評価	配点	0.8億未満 Ⅰ型① 評価	配点	0.8～2.5億未満 Ⅰ型① 評価	配点	2.5億以上 Ⅰ型① 評価	配点	Ⅰ型② 評価	配点	非WTO S型 評価	配点	非WTO A型 評価	配点	WTO 区分	WTO S型 評価	配点	WTO A型 評価	配点
					施工能力評価型 2.5億未満 施工能力評価型Ⅰ・Ⅱ								2.5億以上 施工能力評価型Ⅰ				技術提案評価型 非WTO				WTO				
施工能力	技術者	過去15年度の同種工事の実績 同種性・立場	より同種性の高い工事において、監理(主任)技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	必須	7.0		7.0		3.0		3.0		3.0		7.0		5.0		8.0		選択	※企業の実績と同点数とする			
			より同種性の高い工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理(主任)技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事		3.5	7.0	3.5	7.0	1.5	3.0	1.5	3.0	1.5	3.0	3.5	7.0	2.5	5.0	4.0	8.0					
			同種性が認められる工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0						
		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理(主任)技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績 ※当該工事と同じ工事区分の任意の1工事。※同一事業部門(道路部門のみ対象)の年間舗装維持工事の工事区分「舗装」の成績も評価対象とする	83点以上		8.0		8.0		3.0		3.0		3.0		8.0		5.0		8.0			企業の実績と技術者の実績は適宜設定し、同点数とする			
			82点以上83点未満		7.3		7.3		2.8		2.8		2.8		7.3		4.6		7.3						
			81点以上82点未満		6.6		6.6		2.6		2.6		2.6		6.6		4.2		6.6						
			80点以上81点未満		5.9		5.9		2.4		2.4		2.4		5.9		3.8		5.9						
			79点以上80点未満		5.2		5.2		2.2		2.2		2.2		5.2		3.4		5.2						
			78点以上79点未満		4.5		4.5		2.0		2.0		2.0		4.5		3.0		4.5						
			77点以上78点未満		3.8	8.0	3.8	8.0	1.8	3.0	1.8	3.0	1.8	3.0	3.8	8.0	2.6	5.0	3.8	8.0					
			76点以上77点未満		3.1		3.1		1.6		1.6		1.6		3.1		2.2		3.1						
			75点以上76点未満		2.4		2.4		1.4		1.4		1.4		2.4		1.8		2.4						
			74点以上75点未満		1.7		1.7		1.2		1.2		1.2		1.7		1.4		1.7						
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0						
			72点以上73点未満		0.3		0.3		0.8		0.8		0.8		0.3		0.6		0.3						
			72点未満		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0						
		過去4年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無 ※舗装工事での表彰のみを加点対象とする	①局長表彰(同一事業部門限定) ②海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通大臣賞		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0					
			①旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定) ②海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通奨励賞		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5						
		主任(監理)技術者の資格	技術士を有している又は土木施工監理技士、建設機械施工技士、国土交通大臣が認定した者(必須のため、加点なし)	選択																					
		CPDへの取組	指定団体の一定数以上の認定あり		1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0							
		施工監理能力の確認(書面)	当該工事での留意事項 3項目程度まで						10.0～0.0	10	10.0～0.0	10	10.0～0.0	10											
		その他																			選択				
	小計					19.0		19.0		19.5		19.5		19.5		19.0		14.0		19.0					
企業	企業(地域以外)	過去15年度の同種工事実績	より同種性の高い工事実績あり	必須	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	5.0	5.0	3.0	3.0	7.0	7.0	選択	※技術者の実績と同点数とする			
			同種性が認められる工事の実績あり		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0						
		過去2年度の北海道開発局発注の全工事(舗装含む)成績の平均点(2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象)	83点以上		5.0		5.0		5.0		5.0		6.0		6.0		5.0		8.0						
			82点以上83点未満		4.6		4.6		4.6		4.6		5.5		5.5		4.6		7.3						
			81点以上82点未満		4.2		4.2		4.2		4.2		5.0		5.0		4.2		6.6						
			80点以上81点未満		3.8		3.8		3.8		3.8		4.5		4.5		3.8		5.9						
			79点以上80点未満		3.4		3.4		3.4		3.4		4.0		4.0		3.4		5.2						
			78点以上79点未満		3.0		3.0		3.0		3.0		3.5		3.5		3.0		4.5						
			77点以上78点未満		2.6	5.0	2.6	5.0	2.6	5.0	2.6	5.0	3.0	6.0	3.0	6.0	2.6	5.0	3.8	8.0					
			76点以上77点未満		2.2		2.2		2.2		2.2		2.5		2.5		2.2		3.1						
			75点以上76点未満		1.8		1.8		1.8		1.8		2.0		2.0		1.8		2.4						
			74点以上75点未満		1.4		1.4		1.4		1.4		1.5		1.5		1.4		1.7						
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0						
			72点以上73点未満		0.6		0.6		0.6		0.6		0.5		0.5		0.6		0.3						
			72点未満		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0						
		過去2年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無(2年度対象)及び工事成績優秀企業認定の有無(1年度対象)、北海道開発局i-Con奨励賞(1年度対象)又は受賞決定日から2年間の国土交通省インフラDX大賞(旧:国土交通省i-Construction大賞(2年度対象)を含む。)(※局長表彰、旭川開発建設部長表彰、インフラDX大賞、i-Con奨励賞、i-Con大賞の重複評価は行わない。工事成績優秀企業認定のみ重複評価を行う。)※北海道開発局発注工事に限る	局長表彰(同一事業部門限定)		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0						
			旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定)		1.0	最大 2.5	1.0	最大 2.5	1.0	最大 2.5	1.0	最大 2.5	1.0	最大 2.5	1.0	最大 2.5	1.0	最大 2.5	1.0	最大 2.5					
			北海道開発局i-Con奨励賞		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5						
			国土交通省インフラDX大賞(旧:国土交通i-Construction大賞「国土交通大臣賞」を含む。)※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0						
			国土交通省インフラDX大賞(旧:国土交通i-Construction大賞「優秀賞」を含む。)※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0						
			工事成績優秀企業		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5						
		舗装施工管理技術者(日本道路建設業協会認定資格)の配置	1級×1＋2級×0.5 1.0以上	舗装工事において選択	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0									
			1.0未満		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0										
		技能者の元請比率	元請比率=(元請の配置予定技能者数＋子会社の配置予定技能者数)／全配置予定技能者数 0.7以上		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0									
			0.7未満		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0										
		主要機械の元請比率	元請比率=(元請が保有している配置予定主要機械数＋子会社が保有している配置予定主要機械数＋元請が長期リースしている配置予定主要機械数)／全配置予定主要機械数 ※ICT対象工事では評価対象外 0.5以上		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0									
			0.5未満		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0										
		NETIS登録技術活用(新技術活用の原則義務化部門は除く)	「有用な新技術」に位置づけられている関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する	選択																					
			関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する。又は、「有用な新技術」で「他社開発技術」を当該工事へ活用する																						
			新技術を当該工事へ活用しない																						
		新技術導入促進(Ⅰ)型での新技術活用提案 ※S型又は施工能力評価型で適用可	提案された新技術(NETIS登録)の活用が有効かつ具体的である場合																						
			提案された新技術(NETIS未登録)の活用が有効かつ具体的である場合																						
			提案された新技術の活用が有効かつ具体的的でない場合																						
		情報化施工技術活用(有意義な技術があれば適用)	NETIS登録技術の活用と重複加点はしない																						
		ICTの活用(ICT活用評価対象工事のみ)			1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)							
		登録基幹技能者等の配置(登録基幹技能者等の活用対象工事のみ)	優秀施工者国土交通大臣顕彰者は表彰から10年間、技能士は特級、1級、単一等級のみ加点 登録基幹技能者		1.0	最大 (1.0)	1.0	最大 (1.0)	1.0	最大 (1.0)	1.0	最大 (1.0)	1.0	最大 (1.0)	1.0	最大 (1.0)	1.0	最大 (1.0)							
			建設マスター		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0								
			技能士		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5								
		その他																			選択				
	企業(地域)	本支店、営業所の所在地	○○○○事務所管内本店	選択	2.0				2.0																
			旭川開発建設部管内本店 (0.8億以上の場合、JVは平均すること。)		0.0	2.0	1.0	1.0	0.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0									
			道内本店				0.0				0.0		0.5		0.5										
			道内支店・営業所				0.0				0.0		0.0		0.0										
		過去10年度の近隣地域(開発建設部内)での施工実績	あり (0.8億以上の場合、JVは平均すること。)		2.0	2.0	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0									
			なし		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0										
		維持工事の施工実績(道路部門のみ)	・当該工事区間または箇所が年間舗装維持工事の区間内にある場合、その年間舗装維持工事(工事区分「維持」)の施工実績が連続5年以上		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5									
		過去3年度以降の災害活動の実態等(活動実績又は防災活動や支援体制)	実績等が確認できること	必須	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0							
		当年度の災害活動の実態(協定の締結)	防災協定が締結されている		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0							
		その他																			選択				
	小計				21.0(23.0)		20.5(21.0)		20.5(21.0)		20.5(21.0)		20.5(21.0)		20.5(21.0)			12.5		17.5					
技術提案等	技術提案等	簡易な技術提案	施工上の課題に対する考え方等	必須																20.0					20.0
		施工計画	施工計画が適切に記載されている												可or不可										
			施工計画が不適切である																						
		技術提案(段階選抜時)	高い効果が期待できる																		選択	0-25			
			効果が期待できる																						
			一般的事項のみの記載となっている																						
		技術提案(段階選抜後)	高い効果が期待できる															30(6点×5提案)			必須	35-60			
			効果が期待できる																						
			一般的事項のみの記載となっている																						
		技術提案	施工上の課題に対し、最も優位な効果が期待できる																	70.0					70.0
			施工上の課題に対し、優位な効果が期待できる																						
			施工上の課題に対し、効果が期待できる																						
			不適切ではないが、一般的事項のみの記載となっている																						
			技術提案が不適切である																						
段階的選抜				選択											必要に応じ実施		必要に応じ実施					必要に応じ実施			
ヒアリング	ヒアリング	監理能力	十分な監理能力が確認できる												×1.0	段階選抜後にヒアリングを実施し、技術者実績に乗じる	×1.0	左記に同じ			選択				
			一定の監理能力が期待できる												×0.5		×0.5								
			上記以外												×0.0		×0.0								
		施工計画	施工計画の説明が適切である												可	不可の場合失格									
			施工計画の説明が不適切である												不可										
		技術提案に対する理解度	提案を十分に理解している														×1.0	技術提案に乗じる				×1.0	左記に同じ		
			提案を理解している														×0.5					×0.5			
			上記以外														×0.0					×0.0			
減点項目	直近の措置		指名停止	必須	(−1.5)		(−1.5)		(−1.5)		(−1.5)		(−1.5)		(−1.5)		(−1.5)		(−1.5)						
			文書注意		(−1.0)	(−1.5)	(−1.0)	(−1.5)	(−1.0)	(−1.5)	(−1.0)	(−1.5)	(−1.0)	(−1.5)	(−1.0)	(−1.5)	(−1.0)	(−1.5)	(−1.0)	(−1.5)					
			口頭注意		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)						
	修補請求		修補請求 (低入札工事であった場合は下段の点数)		(−0.5)	(−1.0)	(−0.5)	(−1.0)	(−0.5)	(−1.0)	(−0.5)	(−1.0)	(−0.5)	(−1.0)	(−0.5)	(−1.0)	(−0.5)	(−1.0)	(−0.5)	(−1.0)					
					(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)						
	賃上げ未実施企業		賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−4.0)		(−5.0)			(−5.0)		(−5.0)	
配点合計	技術提案等														可or不可		30.0		70.0			60.0		70.0	
	技術者				19.0		19.0		19.5		19.5		19.5		19.0		14.0								
	企業				16.5		16.5		14.5		16.5		18.5		16.5		10.5								
	企業(地域)		( )書きは道路部門限定		6.0(6.5)		4.0(4.5)		6.0(6.5)		4.0(4.5)		4.0(4.5)		4.0(4.5)		2.0								
	合計		( )書きは道路部門限定		41.5(42.0)		39.5(40.0)		40.0(40.5)		40.0(40.5)		42.0(42.5)		39.5(40.0)		56.5		70.0			60.0		70.0	
賃上げを実施する企業に対する加点措置			賃上げの実施を表明した企業等を評価する。(対前年度または前年比で、従業員に右記を表明している場合) ※技術提案評価型は「段階選抜後」に加点	必須	3.0		3.0		3.0		3.0		3.0	段階選抜後	3.0	段階選抜後	3.0	段階選抜後	4.0	段階選抜後		4.0		4.0	

旭川 2023年8月1日 入札公告から適用 配点表 鋼橋上部・上部鋼構造物

評価項目 大項目	中項目	小項目	評価基準		施工能力評価型 2．5億未満 施工能力評価型Ⅰ・Ⅱ Ⅱ型 評価	配点	Ⅰ型①（難易度Ⅱ・Ⅲ以上） 評価	配点	2．5億以上 施工能力評価型Ⅰ Ⅰ型① 評価	配点	Ⅰ型② 評価	配点	技術提案評価型 非WTO S型		A型		WTO S型		A型	
技術者		過去15年度の同種工事の実績 同種性・立場	より同種性の高い工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	必須	7.0	7.0	3.0	3.0	3.0	3.0	7.0	7.0	5.0	5.0	8.0	8.0	選択	※企業の実績と同点数とする		
			より同種性の高い工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事		3.0		1.5		1.5		3.5		2.5		4.0					
			同種性が認められる工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績（当該工事と同じ工事区分の任意の1工事）	83点以上		8.0	8.0	3.0	3.0	3.0	3.0	8.0	8.0	5.0	5.0	8.0	8.0		企業の実績と技術者の実績は適宜設定し、同点数とする		
			82点以上83点未満		7.3		2.8		2.8		7.3		4.6		7.3					
			81点以上82点未満		6.6		2.6		2.6		6.6		4.2		6.6					
			80点以上81点未満		5.9		2.4		2.4		5.9		3.8		5.9					
			79点以上80点未満		5.2		2.2		2.2		5.2		3.4		5.2					
			78点以上79点未満		4.5		2.0		2.0		4.5		3.0		4.5					
			77点以上78点未満		3.8		1.8		1.8		3.8		2.6		3.8					
			76点以上77点未満		3.1		1.6		1.6		3.1		2.2		3.1					
			75点以上76点未満		2.4		1.4		1.4		2.4		1.8		2.4					
			74点以上75点未満		1.7		1.2		1.2		1.7		1.4		1.7					
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0					
			72点以上73点未満		0.3		0.8		0.8		0.3		0.6		0.3					
			72点未満		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
		過去4年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無	①局長表彰（同一事業部門限定） ②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通大臣賞		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0				
			①旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定) ②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通奨励賞		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5					
		主任(監理)技術者の資格	技術士を有している又は1級土木経験年数5年以上 ※2級が参加資格の場合は経験年数を省く 工種区分に応じて資格を追加する	選択																
			上記以外																	
		CPDへの取組	指定団体の一定数以上の認定あり		1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0						
		施工監理能力の確認（書面）	当該工事での留意事項 3項目程度まで				10.0 ～ 0.0	10.0	10.0 ～ 0.0	10.0										
		その他															選択			
小計						19.0		19.5		19.5		19.0		14.0		19.0				
施工能力等 企業	企業（地域以外）	過去15年度の同種工事実績	より同種性の高い工事実績あり	必須	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	5.0	5.0	3.0	3.0	7.0	7.0	選択	※技術者の実績と同点数とする		
			同種性が認められる工事の実績あり		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
		過去2年度の北海道開発局発注の全工事（舗装含む）成績の平均点（2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象）	83点以上		5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	5.0	5.0	8.0	8.0				
			82点以上83点未満		4.6		4.6		5.5		5.5		4.6		7.3					
			81点以上82点未満		4.2		4.2		5.0		5.0		4.2		6.6					
			80点以上81点未満		3.8		3.8		4.5		4.5		3.8		5.9					
			79点以上80点未満		3.4		3.4		4.0		4.0		3.4		5.2					
			78点以上79点未満		3.0		3.0		3.5		3.5		3.0		4.5					
			77点以上78点未満		2.6		2.6		3.0		3.0		2.6		3.8					
			76点以上77点未満		2.2		2.2		2.5		2.5		2.2		3.1					
			75点以上76点未満		1.8		1.8		2.0		2.0		1.8		2.4					
			74点以上75点未満		1.4		1.4		1.5		1.5		1.4		1.7					
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0					
			72点以上73点未満		0.6		0.6		0.5		0.5		0.6		0.3					
			72点未満		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
		過去2年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無（2年度対象）及び工事成績優秀企業認定の有無（1年度対象）、北海道開発局i-Con奨励賞（1年度対象）又は受賞決定日から2年間の国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通省i-Construction大賞（2年度対象）を含む。）（※局長表彰、旭川開発建設部長表彰、インフラDX大賞、i-Con奨励賞、i-Con大賞の重複評価は行わない。工事成績優秀企業認定のみ重複評価を行う。） ※北海道開発局発注工事に限る	局長表彰(同一事業部門限定)		2.0	最大 2.5	2.0	最大 2.5	2.0	最大 2.5	2.0	最大 2.5	2.0	最大 2.5	2.0	最大 2.5				
			旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定)		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0					
			北海道開発局i-Con奨励賞		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5					
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通省i-Construction大賞「国土交通大臣賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0					
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通省i-Construction大賞「優秀賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0					
			工事成績優秀企業		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5					
		NETIS登録技術活用（新技術活用の原則義務化部門は除く）	「有用な新技術」に位置づけられている関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する	選択																
			関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する。又は、「有用な新技術」で「他社開発技術」を当該工事へ活用する																	
			新技術を当該工事へ活用しない																	
		新技術導入促進（Ⅰ）型での新技術活用提案 ※S型又は施工能力評価型で適用可	提案された新技術(NETIS登録)の活用が有効かつ具体的である場合																	
			提案された新技術(NETIS未登録)の活用が有効かつ具体的である場合																	
			提案された新技術の活用が有効かつ具体的的でない場合																	
		情報化施工技術活用（有意義な技術があれば適用）	NETIS登録技術の活用と重複加点はしない																	
		登録基幹技能者等の配置（登録基幹技能者等の活用対象工事のみ）	優秀施工者国土交通大臣顕彰者は表彰から10年間、技術士は特級、1級、単一等級のみ加点 登録基幹技能者		1.0	最大 (1.0)	1.0	最大 (1.0)	1.0	最大 (1.0)	1.0	最大 (1.0)	1.0	最大 (1.0)						
			建設マスター		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0							
			技能士		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5							
		その他															選択			
	企業（地域）	本支店、営業所の所在地	道内本店		2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0								
			道内工場※		1.0		1.0		0.5		0.5									
			※工場		0.0		0.0		1.0		1.0									
			道内支店営業所		0.0		0.0		0.0		0.0									
		過去10年度の近隣地域(開発建設部内)での施工実績	あり		2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0								
			なし		0.0		0.0		0.0		0.0									
		過去3年度以降の災害活動の実態等(活動実績又は防災活動や支援体制)	実績等が確認できること	必須	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0						
		当年度の災害活動の実態(協定の締結)	防災協定が締結されている		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0						
		その他															選択			
小計						17.5		17.5		17.5		17.5		12.5		17.5				
技術提案等	技術提案等	簡易な技術提案	施工上の課題に対する考え方等	必須							可or不可					20.0	選択			20.0
		施工計画	施工計画が適切に記載されている															0–25		
			施工計画が不適切である																	
		技術提案（段階選抜時）	高い効果が期待できる																	
			効果が期待できる																	
			一般的事項のみの記載となっている																	
		技術提案（段階選抜後）	高い効果が期待できる										30(6点×5提案)					35–60		
			効果が期待できる																	
			一般的事項のみの記載となっている																	
		技術提案	施工上の課題に対し、最も優位な効果が期待できる													70.0	必須			70.0
			施工上の課題に対し、優位な効果が期待できる																	
			施工上の課題に対し、効果が期待できる																	
			不適切ではないが、一般的事項のみの記載となっている																	
			技術提案が不適切である																	
段階的選抜				選択							必要に応じ実施		必要に応じ実施				選択	必要に応じ実施		
ヒアリング	ヒアリング	監理能力	十分な監理能力が確認できる								×1.0	段階選抜後にヒアリングを実施し、技術者実績に乗じる	×1.0	左記に同じ						
			一定の監理能力が期待できる								×0.5		×0.5							
			上記以外								×0.0		×0.0							
		施工計画	施工計画の説明が適切である								可	不可の場合失格								
			施工計画の説明が不適切である								不可									
		技術提案に対する理解度	提案を十分に理解している										×1.0	技術提案に乗じる				×1.0	左記に同じ	
			提案を理解している										×0.5					×0.5		
			上記以外										×0.0					×0.0		
減点項目		直近の措置	指名停止	必須	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)				
			文書注意		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)					
			口頭注意		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)					
		修補請求	修補請求 （低入札工事であった場合は下段の点数）		(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)				
		賃上げ未実施企業	賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−5.0)		(−5.0)			(−5.0)		(−5.0)
配点合計		技術提案等									可or不可		30.0		70.0			60.0		70.0
		技術者			19.0		19.5		19.5		19.0		14.0							
		企業			11.5		11.5		13.5		13.5		10.5							
		企業（地域）			6.0		6.0		4.0		4.0		2.0							
		合計			36.5		37.0		37.0		36.5		56.5		70.0			60.0		70.0
賃上げを実施する企業に対する加点措置			賃上げの実施を表明した企業等を評価する。 （対前年度または前年比で、従業員に右記を表明している場合） ※技術提案評価型は「段階選抜後」に加点	必須	2.0		2.0		2.0		2.0	段階選抜後	3.0	段階選抜後	4.0	段階選抜後		4.0		4.0

※「工場」とは、過去15年間に北海道開発局発注の鋼橋上部工事を元請けとして受注（共同企業体においては、出資率20%以上のものに限る）し、製作した実績を有する工事とする。なお、工事成績評定点が65点未満のものを除く。

旭川 2023年8月1日 入札公告から適用 配点表 PC橋

評価項目 大項目	中項目	小項目	評価基準	施工能力評価型 2．5億未満 施工能力評価型Ⅰ・Ⅱ Ⅱ型 評価	配点	Ⅰ型①（難易度Ⅱ・Ⅲ以上） 評価	配点	2．5億以上 施工能力評価型Ⅰ Ⅰ型① 評価	配点	Ⅰ型② 評価	配点	技術提案評価型 非WTO S型 評価	配点	A型 評価	配点	WTO S型 評価	配点	A型 評価	配点
施工能力等 技術者		過去15年度の同種工事の実績 同種性・立場	より同種性の高い工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	7.0	7.0	3.0	3.0	3.0	3.0	7.0	7.0	5.0	5.0	8.0	8.0	選択	※企業の実績と同点数とする		
			より同種性の高い工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	3.5		1.5		1.5		3.5		2.5		4.0					
			同種性が認められる工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績（当該工事と同じ工事区分の任意の1工事）	83点以上	8.0	8.0	3.0	3.0	3.0	3.0	8.0	8.0	5.0	5.0	8.0	8.0				
			82点以上83点未満	7.3		2.8		2.8		7.3		4.6		7.3					
			81点以上82点未満	6.6		2.6		2.6		6.6		4.2		6.6					
			80点以上81点未満	5.9		2.4		2.4		5.9		3.8		5.9					
			79点以上80点未満	5.2		2.2		2.2		5.2		3.4		5.2					
			78点以上79点未満	4.5		2.0		2.0		4.5		3.0		4.5					
			77点以上78点未満	3.8		1.8		1.8		3.8		2.6		3.8			企業の実績と技術者の実績は適宜設定し、同点数とする		
			76点以上77点未満	3.1		1.6		1.6		3.1		2.2		3.1					
			75点以上76点未満	2.4		1.4		1.4		2.4		1.8		2.4					
			74点以上75点未満	1.7		1.2		1.2		1.7		1.4		1.7					
			73点以上74点未満	1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0					
			72点以上73点未満	0.3		0.8		0.8		0.3		0.6		0.3					
			72点未満	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
		過去4年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無	①局長表彰（同一事業部門限定） ②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通大臣賞	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0				
			①旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定) ②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通奨励賞	1.5		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5					
		主任(監理)技術者の資格	技術士を有している又は1級土木経験年数5年以上 ※2級が参加資格の場合は経験年数を省く 工種区分に応じて資格を追加する																
			上記以外																
		CPDへの取組	指定団体の一定数以上の認定あり	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0						
		施工監理能力の確認（書面）	当該工事での留意事項 3項目程度まで			10.0 ～ 0.0	10.0	10.0 ～ 0.0	10.0										
		その他														選択			
小計					19.0		19.5		19.5		19.0		14.0		19.0				
施工能力等 企業	企業（地域以外）	過去15年度の同種工事実績	より同種性の高い工事実績あり	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	5.0	5.0	3.0	3.0	7.0	7.0	選択	※技術者の実績と同点数とする		
			同種性が認められる工事の実績あり	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
		過去2年度の北海道開発局発注の全工事（舗装含む）成績の平均点（2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象）	83点以上	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	5.0	5.0	8.0	8.0				
			82点以上83点未満	4.6		4.6		5.5		5.5		4.6		7.3					
			81点以上82点未満	4.2		4.2		5.0		5.0		4.2		6.6					
			80点以上81点未満	3.8		3.8		4.5		4.5		3.8		5.9					
			79点以上80点未満	3.4		3.4		4.0		4.0		3.4		5.2					
			78点以上79点未満	3.0		3.0		3.5		3.5		3.0		4.5					
			77点以上78点未満	2.6		2.6		3.0		3.0		2.6		3.8					
			76点以上77点未満	2.2		2.2		2.5		2.5		2.2		3.1					
			75点以上76点未満	1.8		1.8		2.0		2.0		1.8		2.4					
			74点以上75点未満	1.4		1.4		1.5		1.5		1.4		1.7					
			73点以上74点未満	1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0					
			72点以上73点未満	0.6		0.6		0.5		0.5		0.6		0.3					
			72点未満	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
		過去2年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無（2年度対象）及び工事成績優秀企業認定の有無（1年度対象）、北海道開発局i-Con奨励賞（1年度対象）又は受賞決定日から2年間の国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通省i-Construction大賞（2年度対象）を含む。）（※局長表彰、旭川開発建設部長表彰、インフラDX大賞、i-Con奨励賞、i-Con大賞の重複評価は行わない。工事成績優秀企業認定のみ重複評価を行う。） ※北海道開発局発注工事に限る	局長表彰(同一事業部門限定)	2.0	最大 2.5	2.0	最大 2.5	2.0	最大 2.5	2.0	最大 2.5	2.0	最大 2.5	2.0	最大 2.5				
			旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定)	1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0					
			北海道開発局i-Con奨励賞	0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5					
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通i-Construction大賞「国土交通大臣賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。	2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0					
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通i-Construction大賞「優秀賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。	1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0					
			工事成績優秀企業	0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5					
		NETIS登録技術活用 （新技術活用の原則義務化部門は除く）	「有用な新技術」に位置づけられている関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する																
			関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する。又は、「有用な新技術」で「他社開発技術」を当該工事へ活用する																
			新技術を当該工事へ活用しない																
		新技術導入促進（Ⅰ）型での新技術活用提案 ※S型又は施工能力評価型で適用可	提案された新技術(NETIS登録)の活用が有効かつ具体的である場合																
			提案された新技術(NETIS未登録)の活用が有効かつ具体的である場合																
			提案された新技術の活用が有効かつ具体的的でない場合																
		情報化施工技術活用 （有意義な技術があれば適用）	NETIS登録技術の活用と重複加点はしない																
		登録基幹技能者等の配置 （登録基幹技能者等の活用対象工事のみ）	優秀施工者国土交通大臣顕彰者は表彰から10年間、技術士は特級、1級、第一等級のみ加点 登録基幹技能者	1.0	最大 (1.0)	1.0	最大 (1.0)	1.0	最大 (1.0)	1.0	最大 (1.0)	1.0	最大 (1.0)						
			建設マスター	1.0		1.0		1.0		1.0		1.0							
			技能士	0.5		0.5		0.5		0.5		0.5							
		その他														選択			
	企業（地域）	本支店、営業所の所在地	旭川開発建設部管内本店	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0								
			旭川開発建設部管内支店営業所	1.0		1.0		0.5		0.5									
			道内本支店営業所	0.0		0.0		0.0		0.0									
		過去10年度の近隣地域(開発建設部内)での施工実績	あり	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0								
			なし	0.0		0.0		0.0		0.0									
		過去3年度以降の災害活動の実態等(活動実績又は防災活動や支援体制)	実績等が確認できること	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0						
		当年度の災害活動の実態(協定の締結)	防災協定が締結されている	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0						
		その他														選択			
小計					17.5		17.5		17.5		17.5		12.5		17.5				
技術提案等	技術提案等	簡易な技術提案	施工上の課題に対する考え方等							可or不可					20.0	選択			20.0
		施工計画	施工計画が適切に記載されている 施工計画が不適切である														0–25		
		技術提案（段階選抜時）	高い効果が期待できる 効果が期待できる 一般的事項のみの記載となっている																
		技術提案（段階選抜後）	高い効果が期待できる 効果が期待できる 一般的事項のみの記載となっている										30(6点×5提案)			必須	35–60		
		技術提案	施工上の課題に対し、最も優位な効果が期待できる 施工上の課題に対し、優位な効果が期待できる 施工上の課題に対し、効果が期待できる 不適切ではないが、一般的事項のみの記載となっている 技術提案が不適切である												70.0				70.0
段階的選抜										必要に応じ実施		必要に応じ実施				選択	必要に応じ実施		
ヒアリング	ヒアリング	監理能力	十分な監理能力が確認できる							×1.0	段階選抜後にヒアリングを実施し、技術者実績に乗じる	×1.0	左記に同じ				×1.0	左記に同じ	
			一定の監理能力が期待できる							×0.5		×0.5					×0.5		
			上記以外							×0.0		×0.0					×0.0		
		施工計画	施工計画の説明が適切である							可	不可の場合失格								
			施工計画の説明が不適切である							不可									
		技術提案に対する理解度	提案を十分に理解している									×1.0	技術提案に乗じる						
			提案を理解している									×0.5							
			上記以外									×0.0							
減点項目		直近の措置	指名停止	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	必須			
			文書注意	(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)					
			口頭注意	(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)									
		修補請求	修補請求 （低入札工事であった場合は下段の点数）	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)				
		賃上げ未実施企業	賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点	(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−5.0)		(−5.0)			(−5.0)		(−5.0)
配点合計		技術提案等								可or不可		30.0		70.0			60.0		70.0
		技術者		19.0		19.5		19.5		19.0		14.0							
		企業		11.5		11.5		13.5		13.5		10.5							
		企業（地域）		6.0		6.0		4.0		4.0		2.0							
		合計		36.5		37.0		37.0		36.5		56.5		70.0			60.0		70.0
賃上げを実施する企業に対する加点措置			賃上げの実施を表明した企業等を評価する。 （対前年度または前年比で、従業員に右記を表明している場合） ※技術提案評価型は「段階選抜後」に加点	2.0		2.0		2.0		2.0	段階選抜後	3.0	段階選抜後	4.0	段階選抜後		4.0		4.0

総合評価

旭川 2023年8月1日 入札公告から適用 配点表 維持・補修

評価項目 大項目	評価項目 中項目	評価項目 小項目	評価基準		施工能力評価型 2．5億未満 施工能力評価型Ⅰ・Ⅱ Ⅱ型（難易度Ⅰ） 評価	配点	Ⅰ型①（難易度Ⅱ） 評価	配点	Ⅰ型①（難易度Ⅲ） 評価	配点	施工能力評価型 2．5億以上 施工能力評価型Ⅰ Ⅰ型① 評価	配点	Ⅰ型② 評価	配点	技術提案評価型 非WTO S型 評価	配点	非WTO A型 評価	配点	WTO S型 評価	配点	WTO A型 評価	配点
技術者		過去15年度の同種工事の実績同種性・立場	より同種性の高い工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	必須	7.0	7.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	7.0	7.0	5.0	5.0	8.0	8.0	選択	※企業の実績と同点数とする				
			より同種性の高い工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事		3.5		1.5		1.5		1.5		3.5		2.5		4.0							
			同種性が認められる工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0							
		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績（当該工事と同じ工事区分の任意の1工事）	83点以上		8.0	8.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	8.0	8.0	5.0	5.0	8.0	8.0						
			82点以上83点未満		7.3		2.8		2.8		2.8		7.3		4.6		7.3							
			81点以上82点未満		6.6		2.6		2.6		2.6		6.6		4.2		6.6							
			80点以上81点未満		5.9		2.4		2.4		2.4		5.9		3.8		5.9							
			79点以上80点未満		5.2		2.2		2.2		2.2		5.2		3.4		5.2							
			78点以上79点未満		4.5		2.0		2.0		2.0		4.5		3.0		4.5							
			77点以上78点未満		3.8		1.8		1.8		1.8		3.8		2.6		3.8							
			76点以上77点未満		3.1		1.6		1.6		1.6		3.1		2.2		3.1							
			75点以上76点未満		2.4		1.4		1.4		1.4		2.4		1.8		2.4							
			74点以上75点未満		1.7		1.2		1.2		1.2		1.7		1.4		1.7							
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0							
			72点以上73点未満		0.3		0.8		0.8		0.8		0.3		0.6		0.3							
			72点未満		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0							
		過去4年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無	①局長表彰（同一事業部門限定） ②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通大臣賞		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0						
			①旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定) ②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通奨励賞		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5							
		主任(監理)技術者の資格	技術士を有している又は1級土木経験年数5年以上 ※2級が参加資格の場合は経験年数を省く 工種区分に応じて資格を追加する	選択																				
			上記以外																					
		CPDへの取組	指定団体の一定数以上の認定あり		1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0								
		施工監理能力の確認（書面）	当該工事での留意事項 3項目程度まで				10.0～0.0	10.0	10.0～0.0	10.0	10.0～0.0	10.0												
		その他																	選択					
小計						19.0		19.5		19.5		19.5		19.0		14.0		19.0						
施工能力等 企業	企業（地域以外）	過去15年度の同種工事実績	より同種性の高い工事実績あり	必須	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	5.0	5.0	3.0	3.0	7.0	7.0	選択	※技術者の実績と同点数とする				
			同種性が認められる工事の実績あり		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0							
		過去2年度の北海道開発局発注の全工事（舗装含む）成績の平均点（2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象）	83点以上	段階的選抜	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	5.0	5.0	8.0	8.0						
			82点以上83点未満		4.6		4.6		4.6		5.5		5.5		4.6		7.3							
			81点以上82点未満		4.2		4.2		4.2		5.0		5.0		4.2		6.6							
			80点以上81点未満		3.8		3.8		3.8		4.5		4.5		3.8		5.9							
			79点以上80点未満		3.4		3.4		3.4		4.0		4.0		3.4		5.2							
			78点以上79点未満		3.0		3.0		3.0		3.5		3.5		3.0		4.5							
			77点以上78点未満		2.6		2.6		2.6		3.0		3.0		2.6		3.8							
			76点以上77点未満		2.2		2.2		2.2		2.5		2.5		2.2		3.1							
			75点以上76点未満		1.8		1.8		1.8		2.0		2.0		1.8		2.4							
			74点以上75点未満		1.4		1.4		1.4		1.5		1.5		1.4		1.7							
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0							
			72点以上73点未満		0.6		0.6		0.6		0.5		0.5		0.6		0.3							
			72点未満		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0							
		過去2年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無（2年度対象）及び工事成績優秀企業認定の有無（1年度対象）、北海道開発局i-Con奨励賞（1年度対象）又は受賞決定日から2年間の国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通省i-Construction大賞（2年度対象）を含む。）（※局長表彰、旭川開発建設部長表彰、インフラDX大賞、i-Con奨励賞、i-Con大賞の重複評価は行わない。工事成績優秀企業認定のみ重複評価を行う。） ※北海道開発局発注工事に限る	局長表彰(同一事業部門限定)		2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大						
			旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定)		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0							
			北海道開発局i-Con奨励賞		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5							
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通i-Construction大賞「国土交通大臣賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5						
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通i-Construction大賞「優秀賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0							
			工事成績優秀企業		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5							
		NETIS登録技術活用（新技術活用の原則義務化部門は除く）	「有用な新技術」に位置づけられている関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する	選択																				
			関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する。又は、「有用な新技術」で「他社開発技術」を当該工事へ活用する																					
			新技術を当該工事へ活用しない																					
		新技術導入促進（Ⅰ）型での新技術活用提案 ※S型又は施工能力評価型で適用可	提案された新技術(NETIS登録)の活用が有効かつ具体的である場合																					
			提案された新技術(NETIS未登録)の活用が有効かつ具体的である場合																					
			提案された新技術の活用が有効かつ具体的的でない場合																					
		情報化施工技術活用（有意義な技術があれば適用）	NETIS登録技術の活用と重複加点はしない																					
		登録基幹技能者等の配置（登録基幹技能者等の活用対象工事のみ）	優秀施工者国土交通大臣顕彰者は表彰から10年間、技能士は特級、1級、単一等級のみ加点 登録基幹技能者		1.0	最大	1.0	最大	1.0	最大	1.0	最大	1.0	最大	1.0	最大	1.0	最大						
			建設マスター		1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)								
			技能士		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5									
		その他																	選択					
	企業（地域）	本支店、営業所の所在地	○○○○事務所管内本店		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0										
			旭川開発建設部管内本支店営業所		0.0		0.0																	
			旭川開発建設部管内本店																					
			道内本店																					
			道内支店・営業所																					
		過去10年度の近隣地域(開発建設部内)での施工実績	あり		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0										
			なし		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0											
		過去3年度以降の災害活動の実態等(活動実績又は防災活動や支援体制)	実績等が確認できること	必須	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0								
		当年度の災害活動の実態(協定の締結)	防災協定が締結されている		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0								
		その他																	選択					
小計						17.5		17.5		17.5		17.5		17.5		12.5		17.5						
技術提案等	技術提案等	簡易な技術提案	施工上の課題に対する考え方等	必須									可or不可					20.0	選択					20.0
		施工計画	施工計画が適切に記載されている																	0–25				
			施工計画が不適切である																					
		技術提案（段階選抜時）	高い効果が期待できる													30(6点×5提案)			必須	35–60				
			効果が期待できる																					
			一般的事項のみの記載となっている																					
		技術提案（段階選抜後）	高い効果が期待できる															70.0						70.0
			効果が期待できる																					
			一般的事項のみの記載となっている																					
		技術提案	施工上の課題に対し、最も優位な効果が期待できる																					
			施工上の課題に対し、優位な効果が期待できる																					
			施工上の課題に対し、効果が期待できる																					
			不適切ではないが、一般的事項のみの記載となっている																					
			技術提案が不適切である																					
段階的選抜				選択									必要に応じ実施		必要に応じ実施				選択	必要に応じ実施				
ヒアリング	ヒアリング	監理能力	十分な監理能力が確認できる										×1.0 段階選抜後にヒアリングを実施し、技術者実績に乗じる		×1.0 左記に同じ					×1.0 左記に同じ				
			一定の監理能力が期待できる										×0.5		×0.5					×0.5				
			上記以外										×0.0		×0.0					×0.0				
		施工計画	施工計画の説明が適切である										可	不可の場合失格										
			施工計画の説明が不適切である										不可											
		技術提案に対する理解度	提案を十分に理解している												×1.0 技術提案に乗じる									
			提案を理解している												×0.5									
			上記以外												×0.0									
減点項目	直近の措置		指名停止	必須	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)						
			文書注意		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)							
			口頭注意		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)							
	修補請求		修補請求 （低入札工事であった場合は下段の点数）		(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)						
	賃上げ未実施企業		賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−5.0)		(−5.0)			(−5.0)		(−5.0)	
配点合計	技術提案等												可or不可			30.0		70.0		60.0		70.0		
	技術者				19.0		19.5		19.5		19.5		19.0			14.0								
	企業				11.5		11.5		11.5		13.5		13.5			10.5								
	企業（地域）				6.0		6.0		6.0		4.0		4.0			2.0								
	合計				36.5		37.0		37.0		37.0		36.5			56.5		70.0		60.0		70.0		
賃上げを実施する企業に対する加点措置			賃上げの実施を表明した企業等を評価する。 （対前年度または前年比で、従業員に右記を表明している場合） ※技術提案評価型は「段階選抜後」に加点	必須	2.0		2.0		2.0		2.0	段階選抜後	2.0	段階選抜後		3.0	段階選抜後	4.0	段階選抜後	4.0		4.0		

旭川 2023年8月1日 入札公告から適用 配点表 グラウト、塗装

評価項目 大項目	評価項目 中項目	評価項目 小項目	評価基準		施工能力評価型 2．5億未満 施工能力評価型Ⅰ・Ⅱ Ⅱ型 評価	配点	Ⅰ型① 評価	配点	2．5億以上 施工能力評価型Ⅰ Ⅰ型① 評価	配点	Ⅰ型② 評価	配点	技術提案評価型 非WTO S型 評価	配点	A型 評価	配点	WTO S型 評価	配点	A型 評価	配点		
施工能力等	技術者	過去15年度の同種工事の実績同種性・立場	より同種性の高い工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	必須	7.0	7.0	3.0	3.0	3.0	3.0	7.0	7.0	5.0	5.0	8.0	8.0					選択	※企業の実績と同点数とする
			より同種性の高い工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事		3.5		1.5		1.5		3.5		2.5		4.0							
			同種性が認められる工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0							
		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績(当該工事と同じ工事区分の任意の1工事)	83点以上		8.0	8.0	3.0	3.0	3.0	3.0	8.0	8.0	5.0	5.0	8.0	8.0						企業の実績と技術者の実績は適宜設定し、同点数とする
			82点以上83点未満		7.3		2.8		2.8		7.3		4.6		7.3							
			81点以上82点未満		6.6		2.6		2.6		6.6		4.2		6.6							
			80点以上81点未満		5.9		2.4		2.4		5.9		3.8		5.9							
			79点以上80点未満		5.2		2.2		2.2		5.2		3.4		5.2							
			78点以上79点未満		4.5		2.0		2.0		4.5		3.0		4.5							
			77点以上78点未満		3.8		1.8		1.8		3.8		2.6		3.8							
			76点以上77点未満		3.1		1.6		1.6		3.1		2.2		3.1							
			75点以上76点未満		2.4		1.4		1.4		2.4		1.8		2.4							
			74点以上75点未満		1.7		1.2		1.2		1.7		1.4		1.7							
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0							
			72点以上73点未満		0.3		0.8		0.8		0.3		0.6		0.3							
			72点未満		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0							
		過去4年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無	①局長表彰（同一事業部門限定） ②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通大臣賞		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0						
			①旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定) ②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通奨励賞		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5							
		主任(監理)技術者の資格	技術士を有している又は1級土木経験年数5年以上 ※2級が参加資格の場合は経験年数を省く 工種区分に応じて資格を追加する	選択																		
			上記以外																			
		CPDへの取組	指定団体の一定数以上の認定あり		1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0								
		施工監理能力の確認（書面）	当該工事での留意事項 3項目程度まで				10.0～0.0	10	10.0～0.0	10												
		その他																			選択	
	小計					19.0		19.5		19.5		19.0		14.0		19.0						
	企業	過去15年度の同種工事実績	より同種性の高い工事実績あり	必須	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	5.0	5.0	3.0	3.0	7.0	7.0					選択	※技術者の実績と同点数とする
			同種性が認められる工事の実績あり		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0							
		過去2年度の北海道開発局発注の全工事（舗装含む）成績の平均点（2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象）	83点以上		5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	5.0	5.0	8.0	8.0						
			82点以上83点未満		4.6		4.6		5.5		5.5		4.6		7.3							
			81点以上82点未満		4.2		4.2		5.0		5.0		4.2		6.6							
			80点以上81点未満		3.8		3.8		4.5		4.5		3.8		5.9							
			79点以上80点未満		3.4		3.4		4.0		4.0		3.4		5.2							
			78点以上79点未満		3.0		3.0		3.5		3.5		3.0		4.5							
			77点以上78点未満		2.6		2.6		3.0		3.0		2.6		3.8							
			76点以上77点未満		2.2		2.2		2.5		2.5		2.2		3.1							
			75点以上76点未満		1.8		1.8		2.0		2.0		1.8		2.4							
			74点以上75点未満		1.4		1.4		1.5		1.5		1.4		1.7							
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0							
			72点以上73点未満		0.6		0.6		0.5		0.5		0.6		0.3							
			72点未満		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0							
		過去2年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無（2年度対象）及び工事成績優秀企業認定の有無（1年度対象）、北海道開発局i-Con奨励賞（1年度対象）又は受賞決定日から2年間の国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通省i-Construction大賞（2年度対象）を含む。）（※局長表彰、旭川開発建設部長表彰、インフラDX大賞、i-Con奨励賞、i-Con大賞の重複評価は行わない。工事成績優秀企業認定のみ重複評価を行う。） ※北海道開発局発注工事に限る	局長表彰(同一事業部門限定)		2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大						
			旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定)		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0							
			北海道開発局i-Con奨励賞		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5							
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通i-Construction大賞「国土交通大臣賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		2.0	2.0（2.5）	2.0	2.0（2.5）	2.0	2.0（2.5）	2.0	2.0（2.5）	2.0	2.0（2.5）	2.0	2.0（2.5）						
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通i-Construction大賞「優秀賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0							
			工事成績優秀企業（対象はグラウトのみ）		(0.5)		(0.5)		(0.5)		(0.5)		(0.5)		(0.5)							
		NETIS登録技術活用 （新技術活用の原則義務化部門は除く）	「有用な新技術」に位置づけられている関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する	選択																		
			関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する。又は、「有用な新技術」で「他社開発技術」を当該工事へ活用する																			
			新技術を当該工事へ活用しない																			
		新技術導入促進(Ⅰ)型での新技術活用提案 ※S型又は施工能力評価型で適用可	提案された新技術(NETIS登録)の活用が有効かつ具体的である場合																			
			提案された新技術(NETIS未登録)の活用が有効かつ具体的である場合																			
			提案された新技術の活用が有効かつ具体的的でない場合																			
		情報化施工技術活用 （有意義な技術があれば適用）	NETIS登録技術の活用と重複加点はしない																			
		登録基幹技能者等の配置 （登録基幹技能者等の活用対象工事のみ）	優秀施工者国土交通大臣顕彰者は表彰から10年間、技能士は特級、1級、単一等級のみ加点 登録基幹技能者		1.0	最大（1.0）	1.0	最大（1.0）	1.0	最大（1.0）	1.0	最大（1.0）	1.0	最大（1.0）								
			建設マスター		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0									
			技能士		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5									
		その他																			選択	
	企業（地域）	本支店、営業所の所在地	道内本店		2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0										
			道内支店・営業所		0.0		0.0		0.0		0.0											
		過去10年度の近隣地域(開発建設部内)での施工実績	あり		2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0										
			なし		0.0		0.0		0.0		0.0											
		過去3年度以降の災害活動の実態等(活動実績又は防災活動や支援体制)	実績等が確認できること	必須	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0								
		当年度の災害活動の実態(協定の締結)	防災協定が締結されている		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0								
		その他																			選択	
	小計					17.0		17.0		17.0		17.0		12.0		17.0						
技術提案等	技術提案等	簡易な技術提案	施工上の課題に対する考え方等	必須							可or不可					20.0					選択	20.0
		施工計画	施工計画が適切に記載されている																			0−25
			施工計画が不適切である																			
		技術提案（段階選抜時）	高い効果が期待できる																		必須	35−60
			効果が期待できる																			
			一般的事項のみの記載となっている																			
		技術提案（段階選抜後）	高い効果が期待できる											30(6点×5提案)								
			効果が期待できる																			
			一般的事項のみの記載となっている																			
		技術提案	施工上の課題に対し、最も優位な効果が期待できる													70.0						70.0
			施工上の課題に対し、優位な効果が期待できる																			
			施工上の課題に対し、効果が期待できる																			
			不適切ではないが、一般的事項のみの記載となっている																			
			技術提案が不適切である																			
段階的選抜				選択							必要に応じ実施		必要に応じ実施								選択	必要に応じ実施
ヒアリング	ヒアリング	監理能力	十分な監理能力が確認できる								×1.0	段階選抜後にヒアリングを実施し、技術者実績に乗じる	×1.0	左記に同じ								×1.0 左記に同じ
			一定の監理能力が期待できる								×0.5		×0.5									×0.5
			上記以外								×0.0		×0.0									×0.0
		施工計画	施工計画の説明が適切である								可	不可の場合失格										
			施工計画の説明が不適切である								不可											
		技術提案に対する理解度	提案を十分に理解している										×1.0	技術提案に乗じる								
			提案を理解している										×0.5									
			上記以外										×0.0									
減点項目	直近の措置		指名停止	必須	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)						
			文書注意		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)							
			口頭注意		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)							
	修補請求		修補請求 （低入札工事であった場合は下段の点数）		(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)						
	賃上げ未実施企業		賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−5.0)		(−5.0)						(−5.0)	(−5.0)
配点合計	技術提案等										可or不可		30.0		70.0						60.0	70.0
	技術者				19.0		19.5		19.5		19.0		14.0									
	企業				11.0		11.0		13.0		13.0		10.0									
	企業（地域）				6.0		6.0		4.0		4.0		2.0									
	合計				36.0		36.5		36.5		36.0		56.0		70.0						60.0	70.0
賃上げを実施する企業に対する加点措置			賃上げの実施を表明した企業等を評価する。 （対前年度または前年比で、従業員に右記を表明している場合） ※技術提案評価型は「段階選抜後」に加点	必須	2.0		2.0		2.0	段階選抜後	2.0	段階選抜後	3.0	段階選抜後	4.0	段階選抜後					4.0	4.0

旭川 2023年8月1日 入札公告から適用 配点表 区画線

評価項目 大項目	中項目	小項目	評価基準		施工能力評価型 2．5億未満 施工能力評価型Ⅰ・Ⅱ Ⅱ型（難易度Ⅰ） 評価	配点	Ⅰ型① 評価	配点	2．5億以上 施工能力評価型Ⅰ Ⅰ型① 評価	配点	Ⅰ型② 評価	配点	技術提案評価型 非WTO S型 評価	配点	A型 評価	配点	WTO S型 評価	配点	A型 評価	配点	
技術者		過去15年度の同種工事の実績 同種性・立場	より同種性の高い工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	必須	7.0	7.0	3.0	3.0	3.0	3.0	7.0	7.0	5.0	5.0	8.0	8.0	選択	※企業の実績と同点数とする			
			より同種性の高い工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事		3.5		1.5		1.5		3.5		2.5		4.0						
			同種性が認められる工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0						
		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績(当該工事と同じ工事区分の任意の1工事)	83点以上		8.0	8.0	3.0	3.0	3.0	3.0	8.0	8.0	5.0	5.0	8.0	8.0					
			82点以上83点未満		7.3		2.8		2.8		7.3		4.6		7.3						
			81点以上82点未満		6.6		2.6		2.6		6.6		4.2		6.6						
			80点以上81点未満		5.9		2.4		2.4		5.9		3.8		5.9						
			79点以上80点未満		5.2		2.2		2.2		5.2		3.4		5.2						
			78点以上79点未満		4.5		2.0		2.0		4.5		3.0		4.5						
			77点以上78点未満		3.8		1.8		1.8		3.8		2.6		3.8			企業の実績と技術者の実績は適宜設定し、同点数とする			
			76点以上77点未満		3.1		1.6		1.6		3.1		2.2		3.1						
			75点以上76点未満		2.4		1.4		1.4		2.4		1.8		2.4						
			74点以上75点未満		1.7		1.2		1.2		1.7		1.4		1.7						
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0						
			72点以上73点未満		0.3		0.8		0.8		0.3		0.6		0.3						
			72点未満		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0						
		過去4年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無	①局長表彰（同一事業部門限定） ②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通大臣賞		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0					
			①旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定) ②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通奨励賞		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5						
		主任(監理)技術者の資格	技術士を有している又は1級土木経験年数5年以上 ※2級が参加資格の場合は経験年数を省く 工種区分に応じて資格を追加する	選択																	
			上記以外																		
		CPDへの取組	指定団体の一定数以上の認定あり		1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0							
		施工監理能力の確認（書面）	当該工事での留意事項 3項目程度まで				10.0～0.0	10	10.0～0.0	10											
		その他															選択				
小計						19.0		19.5		19.5		19.0		14.0		19.0					
企業	企業（地域以外）	過去15年度の同種工事実績	より同種性の高い工事実績あり	必須	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	5.0	5.0	3.0	3.0	7.0	7.0	選択	※技術者の実績と同点数とする			
			同種性が認められる工事の実績あり		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0						
		過去2年度の北海道開発局発注の全工事（舗装含む）成績の平均点（2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象）	83点以上		5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	5.0	5.0	8.0	8.0					
			82点以上83点未満		4.6		4.6		5.5		5.5		4.6		7.3						
			81点以上82点未満		4.2		4.2		5.0		5.0		4.2		6.6						
			80点以上81点未満		3.8		3.8		4.5		4.5		3.8		5.9						
			79点以上80点未満		3.4		3.4		4.0		4.0		3.4		5.2						
			78点以上79点未満		3.0		3.0		3.5		3.5		3.0		4.5						
			77点以上78点未満		2.6		2.6		3.0		3.0		2.6		3.8						
			76点以上77点未満		2.2		2.2		2.5		2.5		2.2		3.1						
			75点以上76点未満		1.8		1.8		2.0		2.0		1.8		2.4						
			74点以上75点未満		1.4		1.4		1.5		1.5		1.4		1.7						
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0						
			72点以上73点未満		0.6		0.6		0.5		0.5		0.6		0.3						
			72点未満		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0						
		過去2年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無（2年度対象）及び工事成績優秀企業認定の有無（1年度対象）、北海道開発局i-Con奨励賞（1年度対象）又は受賞決定日から2年間の国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通省i-Construction大賞（2年度対象）を含む。）（※局長表彰、旭川開発建設部長表彰、インフラDX大賞、i-Con奨励賞、i-Con大賞の重複評価は行わない。工事成績優秀企業認定のみ重複評価を行う。） ※北海道開発局発注工事に限る	局長表彰(同一事業部門限定)		最大2.0	最大2.0	最大2.0	最大2.0	最大2.0	最大2.0	最大2.0	最大2.0	最大2.0	最大2.0	最大2.0	最大2.0					
			旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定)		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0						
			北海道開発局i-Con奨励賞		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5						
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通省i-Construction大賞「国土交通大臣賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0						
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通省i-Construction大賞「優秀賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0						
			工事成績優秀企業																		
		NETIS登録技術活用（新技術活用の原則義務化部門は除く）	「有用な新技術」に位置づけられている関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する	選択																	
			関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する。又は、「有用な新技術」で「他社開発技術」を当該工事へ活用する																		
			新技術を当該工事へ活用しない																		
		新技術導入促進（Ⅰ）型での新技術活用提案 ※S型又は施工能力評価型で適用可	提案された新技術(NETIS登録)の活用が有効かつ具体的である場合																		
			提案された新技術(NETIS未登録)の活用が有効かつ具体的である場合																		
			提案された新技術の活用が有効かつ具体的的でない場合																		
		情報化施工技術活用（有意義な技術があれば適用）	NETIS登録技術の活用と重複加点はしない																		
		登録基幹技能者等の配置（登録基幹技能者等の活用対象工事のみ）	優秀施工者国土交通大臣顕彰者は表彰から10年間、技能士は特級、1級、単一等級のみ対象 登録基幹技能者		1.0 最大		1.0 最大		1.0 最大		1.0 最大		1.0 最大								
			建設マスター		1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)							
			技能士		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5								
		その他															選択				
	企業（地域）	本支店、営業所の所在地	旭川開発建設部管内本店		2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0									
			道内本店		1.0		1.0		0.5		0.5										
			道内支店・営業所		0.0		0.0		0.0		0.0										
		過去10年度の近隣地域(開発建設部内)での施工実績	あり		2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0									
			なし		0.0		0.0		0.0		0.0										
		過去3年度以降の災害活動の実態等(活動実績又は防災活動や支援体制)	実績等が確認できること	必須	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0							
		当年度の災害活動の実態(協定の締結)	防災協定が締結されている		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0							
		その他															選択				
小計						17.0		17.0		17.0		17.0		12.0		17.0					
技術提案等	技術提案等	簡易な技術提案	施工上の課題に対する考え方等	必須							可or不可					20.0	選択				20.0
		施工計画	施工計画が適切に記載されている															0-25			
			施工計画が不適切である																		
		技術提案（段階選抜時）	高い効果が期待できる																		
			効果が期待できる																		
			一般的事項のみの記載となっている																		
		技術提案（段階選抜後）	高い効果が期待できる											30(6点×5提案)			必須	35-60			
			効果が期待できる																		
			一般的事項のみの記載となっている																		
		技術提案	施工上の課題に対し、最も優位な効果が期待できる													70.0					70.0
			施工上の課題に対し、優位な効果が期待できる																		
			施工上の課題に対し、効果が期待できる																		
			不適切ではないが、一般的事項のみの記載となっている																		
			技術提案が不適切である																		
段階的選抜				選択							必要に応じ実施		必要に応じ実施					必要に応じ実施			
ヒアリング	ヒアリング	監理能力	十分な監理能力が確認できる								×1.0	段階選抜後にヒアリングを実施し、技術者実績に乗じる	×1.0	左記に同じ				×1.0	左記に同じ		
			一定の監理能力が期待できる								×0.5		×0.5					×0.5			
			上記以外								×0.0		×0.0					×0.0			
		施工計画	施工計画の説明が適切である								可	不可の場合失格									
			施工計画の説明が不適切である								不可										
		技術提案に対する理解度	提案を十分に理解している										×1.0	技術提案に乗じる				×1.0	左記に同じ		
			提案を理解している										×0.5					×0.5			
			上記以外										×0.0					×0.0			
減点項目		直近の措置	指名停止	必須	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)					
			文書注意		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)						
			口頭注意		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)						
		修補請求	修補請求 （低入札工事であった場合は下段の点数）		(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)					
		賃上げ未実施企業	賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−5.0)		(−5.0)			(−5.0)		(−5.0)	
配点合計		技術提案等									可or不可		30.0		70.0			60.0		70.0	
		技術者			19.0		19.5		19.5		19.0		14.0								
		企業			11.0		11.0		13.0		13.0		10.0								
		企業（地域）			6.0		6.0		4.0		4.0		2.0								
		合計			36.0		36.5		36.5		36.0		56.0		70.0			60.0		70.0	
賃上げを実施する企業に対する加点措置			賃上げの実施を表明した企業等を評価する。 （対前年度または前年比で、従業員に右記を表明している場合） ※技術提案評価型は「段階選抜後」に加点	必須	2.0		2.0		2.0	段階選抜後	2.0	段階選抜後	3.0	段階選抜後	4.0	段階選抜後		4.0		4.0	

旭川 2024年1月1日 入札公告から適用 配点表（営繕）

評価項目 大項目	中項目	小項目	評価基準		施工能力評価型 Ⅱ型 評価	Ⅱ型 配点	Ⅰ型① 評価	Ⅰ型① 配点	Ⅰ型② 評価	Ⅰ型② 配点	技術提案評価型 非WTO S型 評価	S型 配点	A型 評価	A型 配点	WTO S型 評価	S型 配点	A型 評価	A型 配点
施工能力等	技術者	過去15年度の同種工事の実績 同種性・立場	より同種性の高い工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	必須	7.0	7.0	3.0	3.0	7.0	7.0	5.0	5.0	8.0	8.0	選択	※企業の実績と同点数とする		
			より同種性の高い工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事		3.5		1.5		3.5		2.5		4.0					
			同種性が認められる工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績(当該工事と同じ工事区分の任意の1工事)	83点以上		8.0	8.0	3.0	3.0	8.0	8.0	5.0	5.0	8.0	8.0		企業の実績と技術者の実績は適宜設定し、同点数とする		
			82点以上83点未満		7.3		2.8		7.3		4.6		7.3					
			81点以上82点未満		6.6		2.6		6.6		4.2		6.6					
			80点以上81点未満		5.9		2.4		5.9		3.8		5.9					
			79点以上80点未満		5.2		2.2		5.2		3.4		5.2					
			78点以上79点未満		4.5		2.0		4.5		3.0		4.5					
			77点以上78点未満		3.8		1.8		3.8		2.6		3.8					
			76点以上77点未満		3.1		1.6		3.1		2.2		3.1					
			75点以上76点未満		2.4		1.4		2.4		1.8		2.4					
			74点以上75点未満		1.7		1.2		1.7		1.4		1.7					
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0					
			72点以上73点未満		0.3		0.8		0.3		0.6		0.3					
			72点未満		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
		過去4年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無	①局長表彰（同一事業部門限定） ②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通大臣賞		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0				
			①旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定) ②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通奨励賞		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5					
		主任(監理)技術者の資格	1級建築士又は1級建築施工管理技士等の経験年数5年以上（電気：1級電気施工管理技士等、管：1級管施工管理技士等） ※2級が参加資格の場合は経験年数を省く 工種区分に応じて資格を追加する	選択														
			上記以外															
		CPDへの取組	指定団体の一定数以上の認定あり		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0						
		施工監理能力の確認（書面）	当該工事での留意事項 3項目程度まで				10.0 ～ 0.0	10.0										
		その他													選択			
小計						19.0		20.0		19.0		14.0		19.0				
施工能力等	企業（地域以外）	過去15年度の同種工事実績	より同種性の高い工事実績あり	必須	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	3.0	3.0	7.0	7.0	選択	※技術者の実績と同点数とする		
			同種性が認められる工事の実績あり		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
		過去2年度の北海道開発局発注の全工事（舗装含む）成績の平均点（2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象）	83点以上		5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	5.0	5.0	8.0	8.0				
			82点以上83点未満		4.6		4.6		5.5		4.6		7.3					
			81点以上82点未満		4.2		4.2		5.0		4.2		6.6					
			80点以上81点未満		3.8		3.8		4.5		3.8		5.9					
			79点以上80点未満		3.4		3.4		4.0		3.4		5.2					
			78点以上79点未満		3.0		3.0		3.5		3.0		4.5					
			77点以上78点未満		2.6		2.6		3.0		2.6		3.8					
			76点以上77点未満		2.2		2.2		2.5		2.2		3.1					
			75点以上76点未満		1.8		1.8		2.0		1.8		2.4					
			74点以上75点未満		1.4		1.4		1.5		1.4		1.7					
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0					
			72点以上73点未満		0.6		0.6		0.5		0.6		0.3					
			72点未満		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
		過去2年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無（2年度対象）及び工事成績優秀企業認定の有無（1年度対象）、北海道開発局i-Con奨励賞（1年度対象）又は受賞決定日から2年間の国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通省i-Construction大賞（2年度対象）を含む。）（※局長表彰、旭川開発建設部長表彰、インフラDX大賞、i-Con奨励賞、i-Con大賞の重複評価は行わない。） ※北海道開発局発注工事に限る	局長表彰(同一事業部門限定)		2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大				
			旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定)		1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0				
			北海道開発局i-Con奨励賞		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5					
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通i-Construction大賞「国土交通大臣賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0					
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通i-Construction大賞「優秀賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0					
		NETIS登録技術活用 （新技術活用の原則義務化部門は除く）	「有用な新技術」に位置づけられている関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する	選択	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0						
			関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する。又は、「有用な新技術」で「他社開発技術」を当該工事へ活用する		0.5		0.5		0.5		0.5							
			新技術を当該工事へ活用しない		0.0		0.0		0.0		0.0							
		新技術導入促進（Ⅰ）型での新技術活用提案 ※S型又は施工能力評価型で適用可	提案された新技術(NETIS登録)の活用が有効かつ具体的である場合				2.0	(2.0)	2.0	(2.0)								
			提案された新技術(NETIS未登録)の活用が有効かつ具体的である場合				1.0		1.0									
			提案された新技術の活用が有効かつ具体的的でない場合				0.0		0.0									
		情報化施工技術活用 （有意義な技術があれば適用）	NETIS登録技術の活用と重複加点はしない															
		登録基幹技能者等の配置 （登録基幹技能者等の活用対象工事のみ）	優秀施工者国土交通大臣顕彰者は表彰から10年間、技能士は特級、1級、単一等級のみ加点　登録基幹技能者		1.0	最大	1.0	最大	1.0	最大	1.0	最大						
			建設マスター		1.0	(3.0)	1.0	(3.0)	1.0	(3.0)	1.0	(3.0)						
			技能士		0.5		0.5		0.5		0.5							
		その他													選択			
	企業（地域）	本支店、営業所の所在地	旭川開発建設部管内本店		2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0								
			道内本店		0.0		0.0		0.0									
			道内支店・営業所															
		過去10年度の近隣地域(開発建設部内)での施工実績	あり		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0								
			なし		0.0		0.0		0.0									
		当年度の災害協定の実態(協定の締結)	防災協定が締結されている	必須	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0						
		ワーク・ライフ・バランス	次に掲げるいずれかの認定を受けている ・女性活躍推進法に基づく認定等・次世代法に基づく認定・若者雇用促進法に基づく認定 WTO及びA等級で発注する工事	選択			0.5	(0.5)	0.5	(0.5)	0.5	(0.5)	0.5	(0.5)			1.0	1.0
		その他													選択		1.0	1.0
小計						17.0	17.0	(17.5)	17.0	(17.5)	12.0	(12.5)	17.0	(17.25)				
技術提案等	技術提案等	簡易な技術提案	施工上の課題に対する考え方等	必須					可or不可					20.0	選択			20.0
		施工計画	施工計画が適切に記載されている													0-25		
			施工計画が不適切である															
		技術提案（段階選抜時）	高い効果が期待できる												必須	35-60		
			効果が期待できる															
			一般的事項のみの記載となっている															
		技術提案（段階選抜後）	高い効果が期待できる									30(6点×5提案)						
			効果が期待できる															
			一般的事項のみの記載となっている															
		技術提案	施工上の課題に対し、最も優位な効果が期待できる											70.0				70.0
			施工上の課題に対し、優位な効果が期待できる															
			施工上の課題に対し、効果が期待できる															
			不適切ではないが、一般的事項のみの記載となっている															
			技術提案が不適切である															
段階的選抜				選択					必要に応じ実施		必要に応じ実施				選択	必要に応じ実施		
ヒアリング	ヒアリング	監理能力	十分な監理能力が確認できる						×1.0	段階選抜後にヒアリングを実施し、技術責任者に委ねる	×1.0	左記に同じ						
			一定の監理能力が期待できる						×0.5		×0.5							
			上記以外						×0.0		×0.0							
		施工計画	施工計画の説明が適切である						可	不可の場合失格								
			施工計画の説明が不適切である						不可									
		技術提案に対する理解度	提案を十分に理解している								×1.0	技術提案に乗じる				×1.0	左記に同じ	
			提案を理解している								×0.5					×0.5		
			上記以外								×0.0					×0.0		
減点項目		直近の措置	指名停止	必須	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)				
			文書注意		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)					
			口頭注意		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)					
		修補請求	修補請求 （低入札工事であった場合は下段の点数）		(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)				
		賃上げ未実施企業	賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−5.0)		(−5.0)			(−5.0)		(−5.0)
配点合計		技術提案等							可or不可		30.0		70.0			60.0		70.0
		技術者			19.0		20.0		19.0		14.0							
		企業			12.0		12.0		14.0		11.0							
		企業（地域）			5.0		5.0 (5.5)		3.0 (3.5)		1.0 (1.5)		− (0.5)			※1		
		合計			36.0		37.0 (37.5)		36.0 (36.5)		56.0 (56.5)		70.0 (70.5)			60.0		70.0
賃上げを実施する企業に対する加点措置			賃上げの実施を表明した企業等を評価する。 （対前年度または前年比で、従業員に右記を表明している場合） ※技術提案評価型は「段階選抜後」に加点	必須	2.0		2.0	段階選抜後	2.0	段階選抜後	3.0	段階選抜後	4.0	段階選抜後		4.0		4.0

※1　WLBの配点については、段階選抜時に1点加算する。段階選抜後は加算されず、段階選抜時の技術提案評価点が段階選抜後の評価点と合算される。
（段階選抜時は、WLBの評価を加えた配点（WLB＋技術配点）で評価。段階選抜後は、技術提案配点（段階選抜時＋段階選抜後）で評価。）

旭川 2023年8月1日 入札公告から適用 配点表（電気）

大項目	中項目	小項目	評価基準	区分	施工能力評価型 2.5億未満 施工能力評価型Ⅰ・Ⅱ 0.4億未満Ⅱ型 評価	配点	0.4〜0.8億未満Ⅱ型 評価	配点	0.8〜2.5億未満Ⅱ型 評価	配点	0.8〜2.5億未満Ⅰ型① 評価	配点	2.5億以上 施工能力評価型Ⅰ Ⅰ型① 評価	配点	Ⅰ型②（段階的選抜／総合評価） 評価	配点	技術提案評価型 非WTO S型（段階的選抜／総合評価） 評価	配点	非WTO A型（段階的選抜） 評価	配点	WTO（段階的選抜／総合評価） 区分	WTO S型 評価	配点	WTO A型 評価	配点
施工能力等	技術者	過去15年度の同種工事の実績 同種性・立場	より同種性の高い工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	必須	7.0		7.0		7.0		3.0		3.0		7.0		5.0		8.0	8.0	選択	※企業の実績と同点数とする			
			より同種性の高い工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事		3.5	7.0	3.5	7.0	3.5	7.0	1.5	3.0	1.5	3.0	3.5	7.0	2.5	5.0	4.0						
			同種性が認められる工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0						
		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績（当該工事と同じ工事区分の任意の1工事）	83点以上		8.0		8.0		8.0		3.0		3.0		8.0		5.0		8.0			企業の実績と技術者の実績は適宜設定し、同点数とする			
			82点以上83点未満		7.3		7.3		7.3		2.8		2.8		7.3		4.6		7.3						
			81点以上82点未満		6.6		6.6		6.6		2.6		2.6		6.6		4.2		6.6						
			80点以上81点未満		5.9		5.9		5.9		2.4		2.4		5.9		3.8		5.9						
			79点以上80点未満		5.2		5.2		5.2		2.2		2.2		5.2		3.4		5.2						
			78点以上79点未満		4.5		4.5		4.5		2.0		2.0		4.5		3.0		4.5						
			77点以上78点未満		3.8	8.0	3.8	8.0	3.8	8.0	1.8	3.0	1.8	3.0	3.8	8.0	2.6	5.0	3.8	8.0					
			76点以上77点未満		3.1		3.1		3.1		1.6		1.6		3.1		2.2		3.1						
			75点以上76点未満		2.4		2.4		2.4		1.4		1.4		2.4		1.8		2.4						
			74点以上75点未満		1.7		1.7		1.7		1.2		1.2		1.7		1.4		1.7						
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0						
			72点以上73点未満		0.3		0.3		0.3		0.8		0.8		0.3		0.6		0.3						
			72点未満		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0						
		過去4年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無	①局長表彰（同一事業部門限定） ②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通大臣賞		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0					
			①旭川開発建設部長表彰（同一事業部門限定） ②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通奨励賞		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5						
		主任（監理）技術者の資格	技術士を有している又は1級土木経験年数5年以上 ※2級が参加資格の場合は経験年数を省く ※工種区分に応じて資格を追加する	選択																					
			上記以外																						
		CPDへの取組	指定団体の一定数以上の認定あり		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0							
		施工監理能力の確認（書面）	当該工事での留意事項 3項目程度まで								10.0〜0.0	10.0	10.0〜0.0	10.0											
		その他																			選択				
	小計					19.0		19.0		19.0		19.5		19.5		19.0		14.0		19.0					
	企業（地域以外）	過去15年度の同種工事実績	より同種性の高い工事実績あり	必須	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	5.0	5.0	3.0	3.0	7.0	7.0	選択	※技術者の実績と同点数とする			
			同種性が認められる工事の実績あり		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0						
		過去2年度の北海道開発局発注の全工事（舗装含む）成績の平均点（2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象）	83点以上		5.0		5.0		5.0		5.0		6.0		6.0		5.0		8.0						
			82点以上83点未満		4.6		4.6		4.6		4.6		5.5		5.5		4.6		7.3						
			81点以上82点未満		4.2		4.2		4.2		4.2		5.0		5.0		4.2		6.6						
			80点以上81点未満		3.8		3.8		3.8		3.8		4.5		4.5		3.8		5.9						
			79点以上80点未満		3.4		3.4		3.4		3.4		4.0		4.0		3.4		5.2						
			78点以上79点未満		3.0		3.0		3.0		3.0		3.5		3.5		3.0		4.5						
			77点以上78点未満		2.6	5.0	2.6	5.0	2.6	5.0	2.6	5.0	3.0	6.0	3.0	6.0	2.6	5.0	3.8	8.0					
			76点以上77点未満		2.2		2.2		2.2		2.2		2.5		2.5		2.2		3.1						
			75点以上76点未満		1.8		1.8		1.8		1.8		2.0		2.0		1.8		2.4						
			74点以上75点未満		1.4		1.4		1.4		1.4		1.5		1.5		1.4		1.7						
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0						
			72点以上73点未満		0.6		0.6		0.6		0.6		0.5		0.5		0.6		0.3						
			72点未満		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0						
		過去2年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無（2年度対象）及び工事成績優秀企業認定の有無（1年度対象）、北海道開発局i-Con奨励賞（1年度対象）又は受賞決定日から2年間の国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通省i-Construction大賞（2年度対象）を含む。）（※局長表彰、旭川開発建設部長表彰、インフラDX大賞、i-Con奨励賞、i-Con大賞の重複評価は行わない。） ※北海道開発局発注工事に限る	局長表彰（同一事業部門限定）		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0						
			旭川開発建設部長表彰（同一事業部門限定）		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0						
			北海道開発局i-Con奨励賞		0.5	2.0	0.5	2.0	0.5	2.0	0.5	2.0	0.5	2.0	0.5	2.0	0.5	2.0	0.5	2.0					
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通i-Construction大賞「国土交通大臣賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0						
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通i-Construction大賞「優秀賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0						
		NETIS登録技術活用（新技術活用の原則義務化部門は除く）	「有用な新技術」に位置づけられている関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する	選択																					
			関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する。又は、「有用な新技術」で「他社開発技術」を当該工事へ活用する																						
			新技術を当該工事へ活用しない																						
		新技術導入促進（Ⅰ）型での新技術活用提案 ※S型又は施工能力評価型で適用可	提案された新技術（NETIS登録）の活用が有効かつ具体的である場合																						
			提案された新技術（NETIS未登録）の活用が有効かつ具体的である場合																						
			提案された新技術の活用が有効かつ具体的的でない場合																						
		情報化施工技術活用（有意義な技術があれば適用）	NETIS登録技術の活用と重複加点はしない																						
		登録基幹技能者等の配置（登録基幹技能者等の活用対象工事のみ）	優秀施工者国土交通大臣顕彰者は表彰から10年度、技能士は特級、1級、単一等級のみ加点　登録基幹技能者		1.0	最大	1.0	最大	1.0	最大	1.0	最大	1.0	最大	1.0	最大	1.0	最大							
			建設マスター		1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)							
			技能士		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5								
		その他																			選択				
	企業（地域）	本支店、営業所の所在地	○○○○事務所管内本店		2.0																				
			旭川開発建設部管内本支店・営業所		0.0																				
			旭川開発建設部管内本店			2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0									
			道内本店				0.0		1.0		1.0		0.5		0.5										
			道内支店・営業所						0.0		0.0		0.0		0.0										
		過去10年度の近隣地域（開発建設部内）での施工実績	あり		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0									
			なし		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0										
		過去3年度以降の災害活動の実態等（活動実績又は防災活動や支援体制）	実績等が確認できること	必須	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0							
		当年度の災害活動の実態（協定の締結）	防災協定が締結されている		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0							
		その他																			選択				
	小計					17.0		17.0		17.0		17.0		17.0		17.0		12.0		17.0					
技術提案等	技術提案等	簡易な技術提案	施工上の課題に対する考え方等	必須																20.0					20.0
		施工計画	施工計画が適切に記載されている												可or不可						選択				
			施工計画が不適切である																						
		技術提案（段階選抜時）	高い効果が期待できる																				0-25		
			効果が期待できる																						
			一般的事項のみの記載となっている																						
		技術提案（段階選抜後）	高い効果が期待できる															30(6点×5提案)			必須		35-60		
			効果が期待できる																						
			一般的事項のみの記載となっている																						
		技術提案	施工上の課題に対し、最も優位な効果が期待できる																	70.0					70.0
			施工上の課題に対し、優位な効果が期待できる																						
			施工上の課題に対し、効果が期待できる																						
			不適切ではないが、一般的事項のみの記載となっている																						
			技術提案が不適切である																						
段階的選抜				選択											必要に応じ実施		必要に応じ実施					必要に応じ実施			
ヒアリング	ヒアリング	監理能力	十分な監理能力が確認できる	選択											×1.0	段階選抜後にヒアリングを実施し、技術者実績に乗じる	×1.0	左記に同じ			選択				
			一定の監理能力が期待できる												×0.5		×0.5								
			上記以外												×0.0		×0.0								
		施工計画	施工計画の説明が適切である												可	不可の場合失格									
			施工計画の説明が不適切である												不可										
		技術提案に対する理解度	提案を十分に理解している														×1.0	技術提案に乗じる				×1.0	左記に同じ		
			提案を理解している														×0.5					×0.5			
			上記以外														×0.0					×0.0			
減点項目	直近の措置		指名停止	必須	(−1.5)		(−1.5)		(−1.5)		(−1.5)		(−1.5)		(−1.5)		(−1.5)		(−1.5)						
			文書注意		(−1.0)	(−1.5)	(−1.0)	(−1.5)	(−1.0)	(−1.5)	(−1.0)	(−1.5)	(−1.0)	(−1.5)	(−1.0)	(−1.5)	(−1.0)	(−1.5)	(−1.0)	(−1.5)					
			口頭注意		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)						
	修補請求		修補請求 （低入札工事であった場合は下段の点数）		(−0.5)	(−1.0)	(−0.5)	(−1.0)	(−0.5)	(−1.0)	(−0.5)	(−1.0)	(−0.5)	(−1.0)	(−0.5)	(−1.0)	(−0.5)	(−1.0)	(−0.5)	(−1.0)					
					(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)						
	賃上げ未実施企業		賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−5.0)		(−5.0)			(−5.0)		(−5.0)	
配点合計	技術提案等														可or不可		30.0		70.0			60.0		70.0	
	技術者				19.0		19.0		19.0		19.5		19.5		19.0		14.0								
	企業				11.0		11.0		11.0		11.0		13.0		13.0		10.0								
	企業（地域）				6.0		6.0		6.0		6.0		4.0		4.0		2.0								
	合計				36.0		36.0		36.0		36.5		36.5		36.0		56.0		70.0			60.0		70.0	
賃上げを実施する企業に対する加点措置			賃上げの実施を表明した企業等を評価する。 （対前年度または前年比で、従業員に右記を表明している場合） ※技術提案評価型は「段階選抜後」に加点	必須	2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		3.0		4.0			4.0		4.0	

（加点措置欄の各型右側：段階選抜後）

旭川 2023年8月1日 入札公告から適用 配点表（通信）

評価項目 大項目	評価項目 中項目	評価項目 小項目	評価基準		施工能力評価型 2．5億未満 施工能力評価型Ⅰ・Ⅱ Ⅱ型 評価	配点	Ⅰ型① 評価	配点	施工能力評価型 2．5億以上 施工能力評価型Ⅰ Ⅰ型① 評価	配点	Ⅰ型② 評価	配点	技術提案評価型 非WTO S型 評価	配点	A型 評価	配点	WTO		S型 評価	配点	A型 評価	配点
技術者		過去15年度の同種工事の実績 同種性・立場	より同種性の高い工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	必須	7.0	7.0	3.0	3.0	3.0	3.0	7.0	7.0	5.0	5.0	8.0	8.0	選択	※企業の実績と同点数とする				
			より同種性の高い工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事		3.5		1.5		1.5		3.5		2.5		4.0							
			同種性が認められる工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0							
		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績（当該工事と同じ工事区分の任意の1工事）	83点以上		8.0	8.0	3.0	3.0	3.0	3.0	8.0	8.0	5.0	5.0	8.0	8.0		企業の実績と技術者の実績は適宜設定し、同点数とする				
			82点以上83点未満		7.3		2.8		2.8		7.3		4.6		7.3							
			81点以上82点未満		6.6		2.6		2.6		6.6		4.2		6.6							
			80点以上81点未満		5.9		2.4		2.4		5.9		3.8		5.9							
			79点以上80点未満		5.2		2.2		2.2		5.2		3.4		5.2							
			78点以上79点未満		4.5		2.0		2.0		4.5		3.0		4.5							
			77点以上78点未満		3.8		1.8		1.8		3.8		2.6		3.8							
			76点以上77点未満		3.1		1.6		1.6		3.1		2.2		3.1							
			75点以上76点未満		2.4		1.4		1.4		2.4		1.8		2.4							
			74点以上75点未満		1.7		1.2		1.2		1.7		1.4		1.7							
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0							
			72点以上73点未満		0.3		0.8		0.8		0.3		0.6		0.3							
			72点未満		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0							
		過去4年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無	①局長表彰（同一事業部門限定） ②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通大臣賞		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0						
			①旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定) ②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通奨励賞		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5		1.5							
		主任(監理)技術者の資格	技術士を有している又は1級土木経験年数5年以上 ※2級が参加資格の場合は経験年数を省く ※工種区分に応じて資格を追加する	選択																		
			上記以外																			
		CPDへの取組	指定団体の一定数以上の認定あり		1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0								
		施工監理能力の確認（書面）	当該工事での留意事項 3項目程度まで				10.0～0.0	10.0	10.0～0.0	10.0												
		その他															選択					
小計						19.0		19.5		19.5		19.0		14.0		19.0						
施工能力等	企業 企業（地域以外）	過去15年度の同種工事実績	より同種性の高い工事実績あり	必須	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	5.0	5.0	3.0	3.0	7.0	7.0	選択	※技術者の実績と同点数とする				
			同種性が認められる工事の実績あり		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0							
		過去2年度の北海道開発局発注の全工事（舗装含む）成績の平均点（2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象）	83点以上		5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	5.0	5.0	8.0	8.0						
			82点以上83点未満		4.6		4.6		5.5		5.5		4.6		7.3							
			81点以上82点未満		4.2		4.2		5.0		5.0		4.2		6.6							
			80点以上81点未満		3.8		3.8		4.5		4.5		3.8		5.9							
			79点以上80点未満		3.4		3.4		4.0		4.0		3.4		5.2							
			78点以上79点未満		3.0		3.0		3.5		3.5		3.0		4.5							
			77点以上78点未満		2.6		2.6		3.0		3.0		2.6		3.8							
			76点以上77点未満		2.2		2.2		2.5		2.5		2.2		3.1							
			75点以上76点未満		1.8		1.8		2.0		2.0		1.8		2.4							
			74点以上75点未満		1.4		1.4		1.5		1.5		1.4		1.7							
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0							
			72点以上73点未満		0.6		0.6		0.5		0.5		0.6		0.3							
			72点未満		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0							
		過去2年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無（2年度対象）及び工事成績優秀企業認定の有無（1年度対象）、北海道開発局i-Con奨励賞（1年度対象）又は受賞決定日から2年間の国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通省i-Construction大賞（2年度対象）を含む。）（※局長表彰、旭川開発建設部長表彰、インフラDX大賞、i-Con奨励賞、i-Con大賞の重複評価は行わない。） ※北海道開発局発注工事に限る	局長表彰(同一事業部門限定)		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0						
			旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定)		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0							
			北海道開発局i-Con奨励賞		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5							
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通i-Construction大賞「国土交通大臣賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0							
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通i-Construction大賞「優秀賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0							
		NETIS登録技術活用（新技術活用の原則義務化部門は除く）	「有用な新技術」に位置づけられている関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する	選択																		
			関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する。又は、「有用な新技術」で「他社開発技術」を当該工事へ活用する																			
			新技術を当該工事へ活用しない																			
		新技術導入促進（Ⅰ）型での新技術活用提案 ※S型又は施工能力評価型で適用可	提案された新技術(NETIS登録)の活用が有効かつ具体的である場合																			
			提案された新技術(NETIS未登録)の活用が有効かつ具体的である場合																			
			提案された新技術の活用が有効かつ具体的的でない場合																			
		情報化施工技術活用（有意義な技術があれば適用）	NETIS登録技術の活用と重複加点はしない																			
		登録基幹技能者等の配置（登録基幹技能者等の活用対象工事のみ）	優秀施工者国土交通大臣顕彰者は表彰から10年間、技能士は特級、1級、単一等級のみ加点	登録基幹技能者	1.0	最大(1.0)	1.0	最大(1.0)	1.0	最大(1.0)	1.0	最大(1.0)	1.0	最大(1.0)								
				建設マスター	1.0		1.0		1.0		1.0		1.0									
				技能士	0.5		0.5		0.5		0.5		0.5									
		その他															選択					
	企業 企業（地域）	本支店、営業所の所在地	旭川開発建設部管内本支店・営業所		2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0										
			道内本支店営業所		0.0		0.0		0.0		0.0											
		過去10年度の近隣地域(開発建設部内)での施工実績	あり		2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0										
			なし		0.0		0.0		0.0		0.0											
		過去3年度以降の災害活動の実態等(活動実績又は防災活動や支援体制)	実績等が確認できること	必須	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0								
		当年度の災害活動の実態(協定の締結)	防災協定が締結されている		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0								
		その他															選択					
小計						17.0		17.0		17.0		17.0		12.0		17.0						
技術提案等	技術提案等	簡易な技術提案	施工上の課題に対する考え方等	必須							可or不可					20.0	選択					20.0
		施工計画	施工計画が適切に記載されている															0–25				
			施工計画が不適切である																			
		技術提案(段階選抜時)	高い効果が期待できる											30(6点×5提案)			必須	35–60				
			効果が期待できる																			
			一般的事項のみの記載となっている																			
		技術提案(段階選抜後)	高い効果が期待できる													70.0						70.0
			効果が期待できる																			
			一般的事項のみの記載となっている																			
		技術提案	施工上の課題に対し、最も優位な効果が期待できる																			
			施工上の課題に対し、優位な効果が期待できる																			
			施工上の課題に対し、効果が期待できる																			
			不適切ではないが、一般的事項のみの記載となっている																			
			技術提案が不適切である																			
段階的選抜				選択							必要に応じ実施		必要に応じ実施				選択	必要に応じ実施				
ヒアリング	ヒアリング	監理能力	十分な監理能力が確認できる								×1.0	段階選抜後にヒアリングを実施し、技術提案書に乗じる	×1.0	左記に同じ								
			一定の監理能力が期待できる								×0.5		×0.5									
			上記以外								×0.0		×0.0									
		施工計画	施工計画の説明が適切である								可	不可の場合失格										
			施工計画の説明が不適切である								不可											
		技術提案に対する理解度	提案を十分に理解している										×1.0	技術提案に乗じる				×1.0	左記に同じ			
			提案を理解している										×0.5					×0.5				
			上記以外										×0.0					×0.0				
減点項目	直近の措置		指名停止	必須	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)						
			文書注意		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)							
			口頭注意		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)							
	修補請求		修補請求 （低入札工事であった場合は下段の点数）		(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)						
	賃上げ未実施企業		賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−5.0)		(−5.0)			(−5.0)		(−5.0)	
配点合計	技術提案等										可or不可		30.0		70.0			60.0		70.0		
	技術者				19.0		19.5		19.5		19.0		14.0									
	企業				11.0		11.0		13.0		13.0		10.0									
	企業（地域）				6.0		6.0		4.0		4.0		2.0									
	合計				36.0		36.5		36.5		36.0		56.0		70.0			60.0		70.0		
賃上げを実施する企業に対する加点措置			賃上げの実施を表明した企業等を評価する。 （対前年度または前年比で、従業員に右記を表明している場合） ※技術提案評価型は「段階選抜後」に加点	必須	2.0		2.0		2.0	段階選抜後	2.0	段階選抜後	3.0	段階選抜後	4.0	段階選抜後		4.0		4.0		

旭川 2023年8月1日 入札公告から適用 配点表（機械）

評価項目 大項目	評価項目 中項目	評価項目 小項目	評価基準		施工能力評価型 2．5億未満 施工能力評価型Ⅰ・Ⅱ Ⅱ型（難易度Ⅰ，Ⅱ） 評価	配点	Ⅰ型① 評価	配点	施工能力評価型 2．5億以上 施工能力評価型Ⅰ Ⅰ型① 評価	配点	Ⅰ型② 評価	配点	技術提案評価型 非WTO S型 評価	配点	非WTO A型 評価	配点	WTO S型 評価	配点	WTO A型 評価	配点
技術者		過去15年度の同種工事の実績 同種性・立場	より同種性の高い工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	必須	7.0	7.0	3.0	3.0	3.0	3.0	7.0	7.0	5.0	5.0	8.0	8.0	選択	※企業の実績と同点数とする		
技術者		過去15年度の同種工事の実績 同種性・立場	より同種性の高い工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	必須	3.5	7.0	1.5	3.0	1.5	3.0	3.5	7.0	2.5	5.0	4.0	8.0	選択	※企業の実績と同点数とする		
技術者		過去15年度の同種工事の実績 同種性・立場	同種性が認められる工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事	必須	0.0	7.0	0.0	3.0	0.0	3.0	0.0	7.0	0.0	5.0	0.0	8.0	選択	※企業の実績と同点数とする		
技術者		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績（当該工事と同じ工事区分の任意の1工事）	83点以上	必須	8.0	8.0	3.0	3.0	3.0	3.0	8.0	8.0	5.0	5.0	8.0	8.0				
技術者		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績（当該工事と同じ工事区分の任意の1工事）	82点以上83点未満	必須	7.3	8.0	2.8	3.0	2.8	3.0	7.3	8.0	4.6	5.0	7.3	8.0				
技術者		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績（当該工事と同じ工事区分の任意の1工事）	81点以上82点未満	必須	6.6	8.0	2.6	3.0	2.6	3.0	6.6	8.0	4.2	5.0	6.6	8.0				
技術者		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績（当該工事と同じ工事区分の任意の1工事）	80点以上81点未満	必須	5.9	8.0	2.4	3.0	2.4	3.0	5.9	8.0	3.8	5.0	5.9	8.0				
技術者		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績（当該工事と同じ工事区分の任意の1工事）	79点以上80点未満	必須	5.2	8.0	2.2	3.0	2.2	3.0	5.2	8.0	3.4	5.0	5.2	8.0				
技術者		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績（当該工事と同じ工事区分の任意の1工事）	78点以上79点未満	必須	4.5	8.0	2.0	3.0	2.0	3.0	4.5	8.0	3.0	5.0	4.5	8.0				
技術者		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績（当該工事と同じ工事区分の任意の1工事）	77点以上78点未満	必須	3.8	8.0	1.8	3.0	1.8	3.0	3.8	8.0	2.6	5.0	3.8	8.0				
技術者		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績（当該工事と同じ工事区分の任意の1工事）	76点以上77点未満	必須	3.1	8.0	1.6	3.0	1.6	3.0	3.1	8.0	2.2	5.0	3.1	8.0				
技術者		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績（当該工事と同じ工事区分の任意の1工事）	75点以上76点未満	必須	2.4	8.0	1.4	3.0	1.4	3.0	2.4	8.0	1.8	5.0	2.4	8.0				
技術者		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績（当該工事と同じ工事区分の任意の1工事）	74点以上75点未満	必須	1.7	8.0	1.2	3.0	1.2	3.0	1.7	8.0	1.4	5.0	1.7	8.0				
技術者		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績（当該工事と同じ工事区分の任意の1工事）	73点以上74点未満	必須	1.0	8.0	1.0	3.0	1.0	3.0	1.0	8.0	1.0	5.0	1.0	8.0				
技術者		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績（当該工事と同じ工事区分の任意の1工事）	72点以上73点未満	必須	0.3	8.0	0.8	3.0	0.8	3.0	0.3	8.0	0.6	5.0	0.3	8.0				
技術者		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績（当該工事と同じ工事区分の任意の1工事）	72点未満	必須	0.0	8.0	0.0	3.0	0.0	3.0	0.0	8.0	0.0	5.0	0.0	8.0				
技術者		過去4年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無	①局長表彰（同一事業部門限定） ②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通大臣賞	必須	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0				
技術者		過去4年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無	①旭川開発建設部長表彰（同一事業部門限定） ②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通奨励賞	必須	1.5	3.0	1.5	3.0	1.5	3.0	1.5	3.0	1.0	3.0	1.0	3.0				
技術者		主任（監理）技術者の資格	技術士を有している又は1級土木経験年数5年以上 ※2級が参加資格の場合は経験年数を省く 工種区分に応じて資格を追加する	選択																
技術者		主任（監理）技術者の資格	上記以外	選択																
技術者		CPDへの取組	指定団体の一定数以上の認定あり	選択	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0						
技術者		施工監理能力の確認（書面）	当該工事での留意事項 3項目程度まで	選択			10.0～0.0	10.0	10.0～0.0	10.0										
技術者		その他		選択													選択			
小計						19.0		19.5		19.5		19.0		12.0		17.0				
施工能力等 企業	企業（地域以外）	過去15年度の同種工事実績	より同種性の高い工事実績あり	必須	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	5.0	5.0	3.0	3.0	7.0	7.0	選択	※技術者の実績と同点数とする		
施工能力等 企業	企業（地域以外）	過去15年度の同種工事実績	同種性が認められる工事の実績あり	必須	0.0	4.0	0.0	4.0	0.0	5.0	0.0	5.0	0.0	3.0	0.0	7.0	選択	※技術者の実績と同点数とする		
施工能力等 企業	企業（地域以外）	過去2年度の北海道開発局発注の全工事（舗装含む）成績の平均点（2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象）	83点以上	必須	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	6.0	5.0	5.0	8.0	8.0				
施工能力等 企業	企業（地域以外）	過去2年度の北海道開発局発注の全工事（舗装含む）成績の平均点（2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象）	82点以上83点未満	必須	4.6	5.0	4.6	5.0	5.5	6.0	5.5	5.0	4.6	5.0	7.3	8.0				
施工能力等 企業	企業（地域以外）	過去2年度の北海道開発局発注の全工事（舗装含む）成績の平均点（2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象）	81点以上82点未満	必須	4.2	5.0	4.2	5.0	5.0	6.0	5.0	5.0	4.2	5.0	6.6	8.0				
施工能力等 企業	企業（地域以外）	過去2年度の北海道開発局発注の全工事（舗装含む）成績の平均点（2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象）	80点以上81点未満	必須	3.8	5.0	3.8	5.0	4.5	6.0	4.5	5.0	3.8	5.0	5.9	8.0				
施工能力等 企業	企業（地域以外）	過去2年度の北海道開発局発注の全工事（舗装含む）成績の平均点（2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象）	79点以上80点未満	必須	3.4	5.0	3.4	5.0	4.0	6.0	4.0	5.0	3.4	5.0	5.2	8.0				
施工能力等 企業	企業（地域以外）	過去2年度の北海道開発局発注の全工事（舗装含む）成績の平均点（2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象）	78点以上79点未満	必須	3.0	5.0	3.0	5.0	3.5	6.0	3.5	5.0	3.0	5.0	4.5	8.0				
施工能力等 企業	企業（地域以外）	過去2年度の北海道開発局発注の全工事（舗装含む）成績の平均点（2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象）	77点以上78点未満	必須	2.6	5.0	2.6	5.0	3.0	6.0	3.0	5.0	2.6	5.0	3.8	8.0				
施工能力等 企業	企業（地域以外）	過去2年度の北海道開発局発注の全工事（舗装含む）成績の平均点（2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象）	76点以上77点未満	必須	2.2	5.0	2.2	5.0	2.5	6.0	2.5	5.0	2.2	5.0	3.1	8.0				
施工能力等 企業	企業（地域以外）	過去2年度の北海道開発局発注の全工事（舗装含む）成績の平均点（2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象）	75点以上76点未満	必須	1.8	5.0	1.8	5.0	2.0	6.0	2.0	5.0	1.8	5.0	2.4	8.0				
施工能力等 企業	企業（地域以外）	過去2年度の北海道開発局発注の全工事（舗装含む）成績の平均点（2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象）	74点以上75点未満	必須	1.4	5.0	1.4	5.0	1.5	6.0	1.5	5.0	1.4	5.0	1.7	8.0				
施工能力等 企業	企業（地域以外）	過去2年度の北海道開発局発注の全工事（舗装含む）成績の平均点（2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象）	73点以上74点未満	必須	1.0	5.0	1.0	5.0	1.0	6.0	1.0	5.0	1.0	5.0	1.0	8.0				
施工能力等 企業	企業（地域以外）	過去2年度の北海道開発局発注の全工事（舗装含む）成績の平均点（2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象）	72点以上73点未満	必須	0.6	5.0	0.6	5.0	0.5	6.0	0.5	5.0	0.6	5.0	0.3	8.0				
施工能力等 企業	企業（地域以外）	過去2年度の北海道開発局発注の全工事（舗装含む）成績の平均点（2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象）	72点未満	必須	0.0	5.0	0.0	5.0	0.0	6.0	0.0	5.0	0.0	5.0	0.0	8.0				
施工能力等 企業	企業（地域以外）	過去2年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無（2年度対象）及び工事成績優秀企業認定の有無（1年度対象）、北海道開発局i-Con奨励賞（1年度対象）又は受賞決定日から2年間の国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通省i-Construction大賞（2年度対象）を含む。）（※局長表彰、旭川開発建設部長表彰、インフラDX大賞、i-Con奨励賞、i-Con大賞の重複評価は行わない。） ※北海道開発局発注工事に限る	局長表彰（同一事業部門限定）	必須	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大				
施工能力等 企業	企業（地域以外）	過去2年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無（2年度対象）及び工事成績優秀企業認定の有無（1年度対象）、北海道開発局i-Con奨励賞（1年度対象）又は受賞決定日から2年間の国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通省i-Construction大賞（2年度対象）を含む。）（※局長表彰、旭川開発建設部長表彰、インフラDX大賞、i-Con奨励賞、i-Con大賞の重複評価は行わない。） ※北海道開発局発注工事に限る	旭川開発建設部長表彰（同一事業部門限定）	必須	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0				
施工能力等 企業	企業（地域以外）	過去2年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無（2年度対象）及び工事成績優秀企業認定の有無（1年度対象）、北海道開発局i-Con奨励賞（1年度対象）又は受賞決定日から2年間の国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通省i-Construction大賞（2年度対象）を含む。）（※局長表彰、旭川開発建設部長表彰、インフラDX大賞、i-Con奨励賞、i-Con大賞の重複評価は行わない。） ※北海道開発局発注工事に限る	北海道開発局i-Con奨励賞	必須	0.5	2.0	0.5	2.0	0.5	2.0	0.5	2.0	0.5	2.0	0.5	2.0				
施工能力等 企業	企業（地域以外）	過去2年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無（2年度対象）及び工事成績優秀企業認定の有無（1年度対象）、北海道開発局i-Con奨励賞（1年度対象）又は受賞決定日から2年間の国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通省i-Construction大賞（2年度対象）を含む。）（※局長表彰、旭川開発建設部長表彰、インフラDX大賞、i-Con奨励賞、i-Con大賞の重複評価は行わない。） ※北海道開発局発注工事に限る	国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通i-Construction大賞「国土交通大臣賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。	必須	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0				
施工能力等 企業	企業（地域以外）	過去2年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無（2年度対象）及び工事成績優秀企業認定の有無（1年度対象）、北海道開発局i-Con奨励賞（1年度対象）又は受賞決定日から2年間の国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通省i-Construction大賞（2年度対象）を含む。）（※局長表彰、旭川開発建設部長表彰、インフラDX大賞、i-Con奨励賞、i-Con大賞の重複評価は行わない。） ※北海道開発局発注工事に限る	国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通i-Construction大賞「優秀賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。	必須	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0				
施工能力等 企業	企業（地域以外）	NETIS登録技術活用（新技術活用の原則義務化部門は除く）	「有用な新技術」に位置づけられている関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する	選択																
施工能力等 企業	企業（地域以外）	NETIS登録技術活用（新技術活用の原則義務化部門は除く）	関連分野での「自社開発技術」を当該工事へ活用する。又は、「有用な新技術」で「他社開発技術」を当該工事へ活用する	選択																
施工能力等 企業	企業（地域以外）	NETIS登録技術活用（新技術活用の原則義務化部門は除く）	新技術を当該工事へ活用しない	選択																
施工能力等 企業	企業（地域以外）	新技術導入促進（Ⅰ）型での新技術活用提案 ※S型又は施工能力評価型で適用可	提案された新技術（NETIS登録）の活用が有効かつ具体的である場合	選択																
施工能力等 企業	企業（地域以外）	新技術導入促進（Ⅰ）型での新技術活用提案 ※S型又は施工能力評価型で適用可	提案された新技術（NETIS未登録）の活用が有効かつ具体的である場合	選択																
施工能力等 企業	企業（地域以外）	新技術導入促進（Ⅰ）型での新技術活用提案 ※S型又は施工能力評価型で適用可	提案された新技術の活用が有効かつ具体的的でない場合	選択																
施工能力等 企業	企業（地域以外）	情報化施工技術活用（有意義な技術があれば適用）	NETIS登録技術の活用と重複加点はしない	選択																
施工能力等 企業	企業（地域以外）	登録基幹技能者等の配置（登録基幹技能者等の活用対象工事のみ）	登録基幹技能者（優秀施工者国土交通大臣顕彰者は表彰から10年間、技能士は特級、1級、単一等級のみ加点）	選択	1.0	最大	1.0	最大	1.0	最大	1.0	最大	1.0	最大						
施工能力等 企業	企業（地域以外）	登録基幹技能者等の配置（登録基幹技能者等の活用対象工事のみ）	建設マスター（優秀施工者国土交通大臣顕彰者は表彰から10年間、技能士は特級、1級、単一等級のみ加点）	選択	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)	1.0	(1.0)						
施工能力等 企業	企業（地域以外）	登録基幹技能者等の配置（登録基幹技能者等の活用対象工事のみ）	技能士（優秀施工者国土交通大臣顕彰者は表彰から10年間、技能士は特級、1級、単一等級のみ加点）	選択	0.5		0.5		0.5		0.5		0.5							
施工能力等 企業	企業（地域以外）	その他		選択													選択			
施工能力等 企業	企業（地域）	本支店、営業所の所在地	旭川開発建設部管内本支店・営業所	選択	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0								
施工能力等 企業	企業（地域）	本支店、営業所の所在地	道内本店	選択	1.0		1.0		0.5		0.5									
施工能力等 企業	企業（地域）	本支店、営業所の所在地	道内支店・営業所	選択	0.0		0.0		0.0		0.0									
施工能力等 企業	企業（地域）	過去10年度の近隣地域（開発建設部内）での施工実績	あり	選択	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0								
施工能力等 企業	企業（地域）	過去10年度の近隣地域（開発建設部内）での施工実績	なし	選択	0.0		0.0		0.0		0.0									
施工能力等 企業	企業（地域）	過去3年度以降の災害活動の実態等（活動実績又は防災活動や支援体制）	実績等が確認できること	必須	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0						
施工能力等 企業	企業（地域）	当年度の災害活動の実態（協定の締結）	防災協定が締結されている	必須	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0						
施工能力等 企業	企業（地域）	その他		必須													選択			
小計						17.0		17.0		17.0		17.0		12.0		17.0				
技術提案等 技術提案等		簡易な技術提案	施工上の課題に対する考え方等	必須							可or不可					20.0	選択			20.0
技術提案等 技術提案等		施工計画	施工計画が適切に記載されている 施工計画が不適切である	必須																
技術提案等 技術提案等		技術提案（段階選抜時）	高い効果が期待できる 効果が期待できる 一般的事項のみの記載となっている	必須													選択	0–25		
技術提案等 技術提案等		技術提案（段階選抜後）	高い効果が期待できる 効果が期待できる 一般的事項のみの記載となっている	必須									30（6点×5提案）				必須	35–60		
技術提案等 技術提案等		技術提案	施工上の課題に対し、最も優位な効果が期待できる 施工上の課題に対し、優位な効果が期待できる 施工上の課題に対し、効果が期待できる 不適切ではないが、一般的事項のみの記載となっている 技術提案が不適切である	必須												70.0	必須			70.0
段階的選抜				選択							必要に応じ実施		必要に応じ実施				選択	必要に応じ実施		
ヒアリング ヒアリング		監理能力	十分な監理能力が確認できる	選択							×1.0 段階選抜後にヒアリングを実施し、技術提案評価に乗じる		×1.0 左記に同じ					×1.0 左記に同じ		
ヒアリング ヒアリング		監理能力	一定の監理能力が期待できる	選択							×0.5		×0.5					×0.5		
ヒアリング ヒアリング		監理能力	上記以外	選択							×0.0		×0.0					×0.0		
ヒアリング ヒアリング		施工計画	施工計画の説明が適切である	選択							可 不可の場合失格									
ヒアリング ヒアリング		施工計画	施工計画の説明が不適切である	選択							不可									
ヒアリング ヒアリング		技術提案に対する理解度	提案を十分に理解している	選択									×1.0 技術提案に乗じる					×1.0 左記に同じ		
ヒアリング ヒアリング		技術提案に対する理解度	提案を理解している	選択									×0.5					×0.5		
ヒアリング ヒアリング		技術提案に対する理解度	上記以外	選択									×0.0					×0.0		
減点項目	直近の措置		指名停止	必須	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)				
減点項目	直近の措置		文書注意	必須	(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)					
減点項目	直近の措置		口頭注意	必須	(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)					
減点項目	修補請求		修補請求 （低入札工事であった場合は下段の点数）	必須	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)				
減点項目	賃上げ未実施企業		賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点	必須	(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−3.0)		(−5.0)		(−5.0)			(−5.0)		(−5.0)
配点合計	技術提案等										可or不可		30.0		70.0			60.0		70.0
配点合計	技術者				19.0		19.5		19.5		19.0		14.0							
配点合計	企業				11.0		11.0		13.0		13.0		10.0							
配点合計	企業（地域）				6.0		6.0		4.0		4.0		2.0							
配点合計	合計				36.0		36.5		36.5		36.0		56.0		70.0			60.0		70.0
賃上げを実施する企業に対する加点措置			賃上げの実施を表明した企業等を評価する。 （対前年度または前年比で、従業員に右記を表明している場合） ※技術提案評価型は「段階選抜後」に加点	必須	2.0		2.0		2.0	段階選抜後	2.0	段階選抜後	3.0	段階選抜後	4.0	段階選抜後		4.0		4.0

旭川 2024年1月1日 入札公告から適用 配点表 技術者育成型 一般土木(河川・道路・農業)・舗装【若手:緩和】

評価項目 大項目	評価項目 中項目	評価項目 小項目	評価基準		施工能力評価型 一般土木(河川・道路) 2.5億未満 施工能力評価型Ⅰ・Ⅱ Ⅱ型 評価	配点	Ⅰ型① 評価	配点	2.5億以上 施工能力評価型Ⅰ Ⅰ型① 評価	配点	施工能力評価型 一般土木(農業) 2.5億未満 施工能力評価型Ⅰ・Ⅱ Ⅱ型 評価	配点	Ⅰ型① 評価	配点	2.5億以上 施工能力評価型Ⅰ Ⅰ型① 評価	配点	施工能力評価型 舗装 2.5億未満 施工能力評価型Ⅰ・Ⅱ 0.8億未満 Ⅱ型 評価	配点	0.8億以上2.5億未満 Ⅰ型① 評価	配点	2.5億以上 施工能力評価型Ⅰ Ⅰ型① 評価	配点
施工能力等	技術者	過去15年度の同種工事の実績 同種性・立場	より同種性の高い工事において、監理(主任)技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	選択	7.0	(7.0)	3.5	(3.0)	3.5	(3.0)	7.0	(7.0)	3.5	(3.0)	3.5	(3.0)	7.0	(7.0)	3.5	(3.0)	3.5	(3.0)
			より同種性の高い工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理(主任)技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事		3.5		1.5		1.5		3.5		1.5		1.5		3.5		1.5		1.5	
			同種性が認められる工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理(主任)技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績(当該工事と同じ工事区分の任意の1工事)	83点以上	−																		
			82点以上83点未満																			
			81点以上82点未満																			
			80点以上81点未満																			
			79点以上80点未満																			
			78点以上79点未満																			
			77点以上78点未満																			
			76点以上77点未満																			
			75点以上76点未満																			
			74点以上75点未満																			
			73点以上74点未満																			
			72点以上73点未満																			
			72点未満																			
		過去4年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無 ※舗装工事については、舗装工事のみを加点対象とする。	①局長表彰(同一事業部門限定) ②海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通大臣賞	−																		
			①旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定) ②海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通奨励賞																			
		主任(監理)技術者の資格	技術士を有している又は1級土木経験年数5年以上 工種区分に応じて資格を追加する	−																		
			上記以外																			
		CPDへの取組	指定団体の一定数以上の認定あり	選択	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5
		施工監理能力の確認(書面)	当該工事での留意事項 3項目程度まで	必須			10.0 ～ 0.0	10.0	10.0 ～ 0.0	10.0			10.0 ～ 0.0	10.0	10.0 ～ 0.0	10.0			10.0 ～ 0.0	10.0	10.0 ～ 0.0	10.0
		その他		選択																		
	小計					1.0		10.5		10.5		1.0		10.5		10.5		1.0		10.5		10.5
	企業(地域以外)	過去15年度の同種工事実績	より同種性の高い工事実績あり	必須	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0
			同種性が認められる工事の実績あり		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
		過去2年度の北海道開発局発注の全工事(舗装含む)成績の平均点 (2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象) ※舗装工事については、舗装工事のみの平均点とする。	83点以上		5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0
			82点以上83点未満		4.6		4.6		5.5		4.6		4.6		5.5		4.6		4.6		5.5	
			81点以上82点未満		4.2		4.2		5.0		4.2		4.2		5.0		4.2		4.2		5.0	
			80点以上81点未満		3.8		3.8		4.5		3.8		3.8		4.5		3.8		3.8		4.5	
			79点以上80点未満		3.4		3.4		4.0		3.4		3.4		4.0		3.4		3.4		4.0	
			78点以上79点未満		3.0		3.0		3.5		3.0		3.0		3.5		3.0		3.0		3.5	
			77点以上78点未満		2.6		2.6		3.0		2.6		2.6		3.0		2.6		2.6		3.0	
			76点以上77点未満		2.2		2.2		2.5		2.2		2.2		2.5		2.2		2.2		2.5	
			75点以上76点未満		1.8		1.8		2.0		1.8		1.8		2.0		1.8		1.8		2.0	
			74点以上75点未満		1.4		1.4		1.5		1.4		1.4		1.5		1.4		1.4		1.5	
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0	
			72点以上73点未満		0.6		0.6		0.5		0.6		0.6		0.5		0.6		0.6		0.5	
			72点未満		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
		過去2年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無(2年度対象)及び工事成績優秀企業認定の有無(1年度対象)、北海道開発局i-Con奨励賞(1年度対象)又は受賞決定日から2年間の国土交通省インフラDX大賞(旧:国土交通省i-Construction大賞(2年度対象)を含む。)(※局長表彰、旭川開発建設部長表彰、インフラDX大賞、i-Con奨励賞、i-Con大賞の重複評価は行わない。工事成績優秀企業認定のみ重複評価を行う。) ※北海道開発局発注工事に限る ※舗装工事については、舗装工事のみを加点対象とする。	局長表彰(同一事業部門限定)		2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大
			旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定)		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0	
			北海道開発局i-Con奨励賞		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5	
			国土交通省インフラDX大賞(旧:国土交通i-Construction大賞「国土交通大臣賞」を含む。)※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5
			国土交通省インフラDX大賞(旧:国土交通i-Construction大賞「優秀賞」を含む。)※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0	
			工事成績優秀企業		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5	
		舗装施工管理技術者(日本道路建設業協会認定資格)の配置	1級×1+2級×0.5	舗装工事において選択													1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
																	0.0		0.0		0.0	
		技能者の元請比率	元請比率=(元請の配置予定技能者数+子会社の配置予定技能者数)/全配置予定技能者数	0.7以上													1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
				0.7未満													0.0		0.0		0.0	
		主要機械の元請比率	元請比率=(元請が保有している配置予定主要機械数+子会社が保有している配置予定主要機械数+元請が長期リースしている配置予定主要機械数)/全配置予定主要機械数	0.5以上													1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
				0.5未満													0.0		0.0		0.0	
		NETIS登録技術の活用 (原則義務化部門は除く)	関連分野での技術開発実績(NETISへの登録)の有無及び有用な新技術の当該工事への適用	選択							1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0						
		情報化施工技術活用	「情報化施工技術の活用ガイドライン」に基づき加点する。(農業部門)								1.0 (1.0)	1.0 (1.0)	1.0 (1.0)	1.0 (1.0)	1.0 (1.0)	1.0 (1.0)						
		その他																				
	企業(地域)	本支店、営業所の所在地	○○事務所管内本店	選択	2.0	最大	2.0	最大		最大		最大		最大		最大	2.0	最大		最大		最大
			旭川開発建設部管内本店		0.0	2.0	0.0	2.0	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	0.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			道内本店						0.0		0.0		0.0		0.0				0.0		0.5	
			道内支店・営業所																		0.0	
		過去10年度の近隣地域(開発建設部内)での施工実績	あり		2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			なし		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
		維持工事の施工実績 (道路部門のみ)	・工事区分が「一般土木」について、当該工事区間または箇所が年間維持除雪工事の区間内にある場合、その年間維持除雪工事(工事区分「維持」)の施工実績が連続5年以上 ・工事区分が「舗装」について、当該工事区間または箇所が年間舗装維持工事の区間内にある場合、その年間舗装維持工事(工事区分「維持」)の施工実績が連続5年以上	道路部門で選択	0.5	(0.5)	0.5	(0.5)	0.5	(0.5)							0.5	(0.5)	0.5	(0.5)	0.5	(0.5)
		過去3年度以降の災害活動の実態等(活動実績又は防災活動や支援体制)	実績等が確認できること	選択	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		当年度の災害活動の実態(協定の締結)	防災協定が締結されている		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		ワーク・ライフ・バランス	次に掲げるいずれかの認定を受けている ・女性活躍推進法に基づく認定等・次世代法に基づく認定・若者雇用促進法に基づく認定 一般土木で発注する工事のうち、WTO及びA等級で発注する工事						0.5	(0.5)					0.5	(0.5)						
		その他																				
	小計					17.5 (18.0)		17.5 (18.0)		17.5 (18.5)		18.5 (19.5)		18.5 (19.5)		18.5 (20.0)		17.5 (18.0)		17.5 (18.0)		17.5 (18.0)
技術提案等	技術提案等	簡易な技術提案	施工上の課題に対する考え方等																			
		施工計画	施工計画が適切に記載されている																			
			施工計画が不適切である																			
		技術提案(段階選抜時)	高い効果が期待できる																			
			効果が期待できる																			
			一般的事項のみの記載となっている																			
		技術提案(段階選抜後)	高い効果が期待できる																			
			効果が期待できる																			
			一般的事項のみの記載となっている																			
		技術提案	施工上の課題に対し、最も優位な効果が期待できる																			
			施工上の課題に対し、優位な効果が期待できる																			
			施工上の課題に対し、効果が期待できる																			
			不適切ではないが、一般的事項のみの記載となっている																			
			技術提案が不適切である																			
ヒアリング	ヒアリング	監理能力	十分な監理能力が確認できる	選択																		
			一定の監理能力が期待できる																			
			上記以外																			
		施工計画	施工計画の説明が適切である																			
			施工計画の説明が不適切である																			
		技術提案に対する理解度	提案を十分に理解している																			
			提案を理解している																			
			上記以外																			
減点項目		直近の措置	指名停止	必須	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)
			文書注意		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)	
			口頭注意		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)	
		修補請求	修補請求 (低入札工事であった場合は下段の点数)		(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)
		賃上げ未実施企業	賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点		(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)
配点合計		技術提案等																				
		技術者			1.0		10.5		10.5		1.0		10.5		10.5		1.0		10.5		10.5	
		企業			11.5		11.5		13.5		12.5 (13.5)		12.5 (13.5)		14.5 (15.5)		11.5		11.5		13.5	
		企業(地域)			6.0 (6.5)		6.0 (6.5)		4.0 (5.0)		6.0		6.0		4.0 (4.5)		6.0 (6.5)		6.0 (6.5)		4.0 (4.5)	
		合計			25.5 (26.0)		31.0 (31.5)		31.0 (32.0)		19.5 (20.5)		29.0 (30.0)		29.0 (30.5)		25.5 (26.0)		31.0 (31.5)		31.0 (31.5)	
賃上げを実施する企業に対する加点措置			賃上げの実施を表明した企業等を評価する。 (対前年度または前年比で、従業員に右記を表明している場合) ※技術提案評価型は「段階選抜後」に加点	必須	2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0	

旭川 2024年1月1日 入札公告から適用 配点表 技術者育成型 一般土木（河川・道路・農業）・舗装【若手：年齢評価】

評価項目 大項目	中項目	小項目	評価基準		施工能力評価型 一般土木(河川・道路) 2．5億未満 施工能力評価型Ⅰ・Ⅱ Ⅱ型 評価	配点	Ⅰ型① 評価	配点	2．5億以上 施工能力評価型Ⅰ Ⅰ型① 評価	配点	施工能力評価型 一般土木（農業） 2．5億未満 施工能力評価型Ⅰ・Ⅱ Ⅱ型 評価	配点	Ⅰ型① 評価	配点	2．5億以上 施工能力評価型Ⅰ Ⅰ型① 評価	配点	施工能力評価型 舗装 2．5億未満 施工能力評価型Ⅰ・Ⅱ 0.8億未満 Ⅱ型 評価	配点	0.8億以上2.5億未満 Ⅰ型① 評価	配点	2．5億以上 施工能力評価型Ⅰ Ⅰ型① 評価	配点
施工能力等 技術者		過去15年度の同種工事の実績 同種性・立場	より同種性の高い工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	必須	7.0	7.0	3.5	3.0	3.5	3.0	7.0	7.0	3.5	3.0	3.5	3.0	7.0	7.0	3.5	3.0	3.5	3.0
			より同種性の高い工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事		3.5		1.5		1.5		3.5		1.5		1.5		3.5		1.5		1.5	
			同種性が認められる工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績（当該工事と同じ工事区分の任意の1工事）	83点以上	－																		
			82点以上83点未満																			
			81点以上82点未満																			
			80点以上81点未満																			
			79点以上80点未満																			
			78点以上79点未満																			
			77点以上78点未満																			
			76点以上77点未満																			
			75点以上76点未満																			
			74点以上75点未満																			
			73点以上74点未満																			
			72点以上73点未満																			
			72点未満																			
		過去4年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無 ※舗装工事については、舗装工事のみを加点対象とする。	①局長表彰（同一事業部門限定） ②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通大臣賞	－																		
			①旭川開発建設部長表彰（同一事業部門限定） ②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通奨励賞																			
		主任(監理)技術者の資格	技術士を有している又は1級土木経験年数5年以上工種区分に応じて資格を追加する	選択	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5
			上記以外		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
		CPDへの取組	指定団体の一定数以上の認定あり		1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5
		施工監理能力の確認（書面）	当該工事での留意事項 3項目程度まで	必須			10.0 ～ 0.0	10.0	10.0 ～ 0.0	10.0			10.0 ～ 0.0	10.0	10.0 ～ 0.0	10.0			10.0 ～ 0.0	10.0	10.0 ～ 0.0	10.0
		年齢評価	40歳以下（例） 41歳以上45歳以下（例） 46歳以上（例）	必須	2.0 1.0 0.0	2.0	2.0 1.0 0.0	2.0	2.0 1.0 0.0	2.0	2.0 1.0 0.0	2.0	2.0 1.0 0.0	2.0	2.0 1.0 0.0	2.0	2.0 1.0 0.0	2.0	2.0 1.0 0.0	2.0	2.0 1.0 0.0	2.0
		その他		選択																		
小計						10.0		15.5		15.5		10.0		15.5		15.5		10.0		15.5		15.5
施工能力等 企業	企業（地域以外）	過去15年度の同種工事実績	より同種性の高い工事実績あり	必須	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0
			同種性が認められる工事の実績あり		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
		過去2年度の北海道開発局発注の全工事（舗装含む）成績の平均点（2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象）※舗装工事については、舗装工事のみの平均点とする。	83点以上		5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0
			82点以上83点未満		4.6		4.6		5.5		4.6		4.6		5.5		4.6		4.6		5.5	
			81点以上82点未満		4.2		4.2		5.0		4.2		4.2		5.0		4.2		4.2		5.0	
			80点以上81点未満		3.8		3.8		4.5		3.8		3.8		4.5		3.8		3.8		4.5	
			79点以上80点未満		3.4		3.4		4.0		3.4		3.4		4.0		3.4		3.4		4.0	
			78点以上79点未満		3.0		3.0		3.5		3.0		3.0		3.5		3.0		3.0		3.5	
			77点以上78点未満		2.6		2.6		3.0		2.6		2.6		3.0		2.6		2.6		3.0	
			76点以上77点未満		2.2		2.2		2.5		2.2		2.2		2.5		2.2		2.2		2.5	
			75点以上76点未満		1.8		1.8		2.0		1.8		1.8		2.0		1.8		1.8		2.0	
			74点以上75点未満		1.4		1.4		1.5		1.4		1.4		1.5		1.4		1.4		1.5	
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0	
			72点以上73点未満		0.6		0.6		0.5		0.6		0.6		0.5		0.6		0.6		0.5	
			72点未満		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
		過去2年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無（2年度対象）及び工事成績優秀企業認定の有無（1年度対象）、北海道開発局i-Con奨励賞（1年度対象）又は受賞決定日から2年間の国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通省i-Construction大賞（2年度対象）を含む。）（※局長表彰、旭川開発建設部長表彰、インフラDX大賞、i-Con奨励賞、i-Con大賞の重複評価は行わない。工事成績優秀企業認定のみ重複評価を行う。）※北海道開発局発注工事に限る ※舗装工事については、舗装工事のみを加点対象とする。	局長表彰（同一事業部門限定）		2.0	最大 2.5	2.0	最大 2.5	2.0	最大 2.5	2.0	最大 2.5	2.0	最大 2.5	2.0	最大 2.5	2.0	最大 2.5	2.0	最大 2.5	2.0	最大 2.5
			旭川開発建設部長表彰（同一事業部門限定）		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0	
			北海道開発局i-Con奨励賞		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5	
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通i-Construction大賞「国土交通大臣賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0	
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通i-Construction大賞「優秀賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0	
			工事成績優秀企業		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5	
		舗装施工管理技術者（日本道路建設業協会認定資格）の配置	1級×1＋2級×0．5	舗装工事において選択													1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			1.0以上														0.0		0.0		0.0	
		技能者の元請比率	元請比率=(元請の配置予定技能者数＋子会社の配置予定技能者数)／全配置予定技能者数														1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			0.7以上														0.0		0.0		0.0	
			0.7未満																			
		主要機械の元請比率	元請比率=(元請が保有している配置予定主要機械数＋子会社が保有している配置予定主要機械数＋元請が長期リースしている配置予定主要機械数)／全配置予定主要機械数														1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			0.5以上														0.0		0.0		0.0	
			0.5未満																			
		NETIS登録技術の活用（原則義務化部門は除く）	関連分野での技術開発実績（NETISへの登録）の有無及び有用な新技術の当該工事への適用	選択							1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0						
		情報化施工技術活用	「情報化施工技術の活用ガイドライン」に基づき加点する。（農業部門）								1.0 (1.0)	1.0 (1.0)	1.0 (1.0)	1.0 (1.0)	1.0 (1.0)	1.0 (1.0)						
		その他																				
	企業（地域）	本支店、営業所の所在地	○○事務所管内本店	選択	2.0	最大 2.0	2.0	最大 2.0		最大 1.0		最大 2.0		最大 2.0		最大 1.0	2.0	最大 2.0		最大 1.0		最大 1.0
			旭川開発建設部管内本店		0.0		0.0		1.0		2.0		2.0		1.0		0.0		1.0		1.0	
			道内本店						0.0		0.0		0.0		0.0				0.0		0.5	
			道内支店・営業所																		0.0	
		過去10年度の近隣地域(開発建設部内)での施工実績	あり		2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			なし		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
		維持工事の施工実績（道路部門のみ）	・工事区分が「一般土木」について、当該工事区間または箇所が年間維持除雪工事の区間内にある場合、その年間維持除雪工事（工事区分「維持」）の施工実績が連続5年以上 ・工事区分が「舗装」について、当該工事区間または箇所が年間舗装維持工事の区間内にある場合、その年間舗装維持工事（工事区分「維持」）の施工実績が連続5年以上	道路部門で選択	0.5	(0.5)	0.5	(0.5)	0.5	(0.5)							0.5	(0.5)	0.5	(0.5)	0.5	(0.5)
		過去3年度以降の災害活動の実態等(活動実績又は防災活動や支援体制)	実績等が確認できること	選択	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		当年度の災害活動の実態(協定の締結)	防災協定が締結されている		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		ワーク・ライフ・バランス	次に掲げるいずれかの認定を受けている ・女性活躍推進法に基づく認定等・次世代法に基づく認定・若者雇用促進法に基づく認定 一般土木で発注する工事のうち、WTO及びA等級で発注する工事						0.5	(0.5)					0.5	(0.5)						
		その他																				
小計						17.5 (18.0)		17.5 (18.0)		17.5 (18.5)		18.5 (19.5)		18.5 (19.5)		18.5 (20.0)		17.5 (18.0)		17.5 (18.0)		17.5 (18.0)
技術提案等	技術提案等	簡易な技術提案	施工上の課題に対する考え方等																			
		施工計画	施工計画が適切に記載されている																			
			施工計画が不適切である																			
		技術提案（段階選抜時）	高い効果が期待できる																			
			効果が期待できる																			
			一般的事項のみの記載となっている																			
		技術提案（段階選抜後）	高い効果が期待できる																			
			効果が期待できる																			
			一般的事項のみの記載となっている																			
		技術提案	施工上の課題に対し、最も優位な効果が期待できる																			
			施工上の課題に対し、優位な効果が期待できる																			
			施工上の課題に対し、効果が期待できる																			
			不適切ではないが、一般的事項のみの記載となっている																			
			技術提案が不適切である																			
ヒアリング	ヒアリング	監理能力	十分な監理能力が確認できる	選択																		
			一定の監理能力が期待できる																			
			上記以外																			
		施工計画	施工計画の説明が適切である																			
			施工計画の説明が不適切である																			
		技術提案に対する理解度	提案を十分に理解している																			
			提案を理解している																			
			上記以外																			
減点項目		直近の措置	指名停止	必須	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)
			文書注意		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)	
			口頭注意		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)	
		修補請求	修補請求（低入札工事であった場合は下段の点数）		(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)
		賃上げ未実施企業	賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点		(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)
配点合計		技術提案等																				
		技術者			10.0		15.5		15.5		10.0		15.5		15.5		10.0		15.5		15.5	
		企業			11.5		11.5		13.5		12.5 (13.5)		12.5 (13.5)		14.5 (15.5)		11.5		11.5		13.5	
		企業（地域）			6.0 (6.5)		6.0 (6.5)		4.0 (5.0)		6.0		6.0		4.0 (4.5)		6.0 (6.5)		6.0 (6.5)		4.0 (4.5)	
		合計			27.5 (28.0)		33.0 (33.5)		33.0 (34.0)		28.5 (29.5)		34.0 (35.0)		34.0 (35.5)		27.5 (28.0)		33.0 (33.5)		33.0 (33.5)	
賃上げを実施する企業に対する加点措置			賃上げの実施を表明した企業等を評価する。（対前年度または前年比で、従業員に右記を表明している場合）※技術提案評価型は「段階選抜後」に加点	必須	2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0	

旭川 2024年1月1日 入札公告から適用 配点表 技術者育成型 一般土木（河川・道路・農業）・舗装【若手：緩和＋年齢評価】

評価項目 大項目	評価項目 中項目	評価項目 小項目	評価基準		施工能力評価型 一般土木(河川・道路) 2．5億未満 施工能力評価型Ⅰ・Ⅱ Ⅱ型 評価	配点	Ⅰ型① 評価	配点	2．5億以上 施工能力評価型Ⅰ Ⅰ型① 評価	配点	施工能力評価型 一般土木(農業) 2．5億未満 施工能力評価型Ⅰ・Ⅱ Ⅱ型 評価	配点	Ⅰ型① 評価	配点	2．5億以上 施工能力評価型Ⅰ Ⅰ型① 評価	配点	施工能力評価型 舗装 2．5億未満 施工能力評価型Ⅰ・Ⅱ 0.8億未満 Ⅱ型 評価	配点	0.8億以上2.5億未満 Ⅰ型① 評価	配点	2．5億以上 施工能力評価型Ⅰ Ⅰ型① 評価	配点
施工能力等 技術者		過去15年度の同種工事の実績 同種性・立場	より同種性の高い工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	－																		
			より同種性の高い工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事																			
			同種性が認められる工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事																			
		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績（当該工事と同じ工事区分の任意の1工事）	83点以上	－																		
			82点以上83点未満																			
			81点以上82点未満																			
			80点以上81点未満																			
			79点以上80点未満																			
			78点以上79点未満																			
			77点以上78点未満																			
			76点以上77点未満																			
			75点以上76点未満																			
			74点以上75点未満																			
			73点以上74点未満																			
			72点以上73点未満																			
			72点未満																			
		過去4年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無 ※舗装工事については、舗装工事のみを加点対象とする。	①局長表彰（同一事業部門限定）	－																		
			②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通大臣賞																			
			①旭川開発建設部長表彰（同一事業部門限定）																			
			②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通奨励賞																			
		主任（監理）技術者の資格	技術士を有している又は1級土木経験年数5年以上工種区分に応じて資格を追加する	選択	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5
			上記以外		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
		CPDへの取組	指定団体の一定数以上の認定あり		1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5
		施工監理能力の確認（書面）	当該工事での留意事項 3項目程度まで	必須			10.0～0.0	10.0	10.0～0.0	10.0			10.0～0.0	10.0	10.0～0.0	10.0			10.0～0.0	10.0	10.0～0.0	10.0
		年齢評価	40歳以下（例） 41歳以上45歳以下（例） 46歳以上（例）	必須	2.0 1.0 0.0	2.0	2.0 1.0 0.0	2.0	2.0 1.0 0.0	2.0	2.0 1.0 0.0	2.0	2.0 1.0 0.0	2.0	2.0 1.0 0.0	2.0	2.0 1.0 0.0	2.0	2.0 1.0 0.0	2.0	2.0 1.0 0.0	2.0
		その他		選択																		
	小計					3.0		12.5		12.5		3.0		12.5		12.5		3.0		12.5		12.5
施工能力等 企業	企業（地域以外）	過去15年度の同種工事実績	より同種性の高い工事実績あり	必須	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0
			同種性が認められる工事の実績あり		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
		過去2年度の北海道開発局発注の全工事（舗装含む）成績の平均点 （2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象） ※舗装工事については、舗装工事のみの平均点とする。	83点以上		5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0
			82点以上83点未満		4.6		4.6		5.5		4.6		4.6		5.5		4.6		4.6		5.5	
			81点以上82点未満		4.2		4.2		5.0		4.2		4.2		5.0		4.2		4.2		5.0	
			80点以上81点未満		3.8		3.8		4.5		3.8		3.8		4.5		3.8		3.8		4.5	
			79点以上80点未満		3.4		3.4		4.0		3.4		3.4		4.0		3.4		3.4		4.0	
			78点以上79点未満		3.0		3.0		3.5		3.0		3.0		3.5		3.0		3.0		3.5	
			77点以上78点未満		2.6		2.6		3.0		2.6		2.6		3.0		2.6		2.6		3.0	
			76点以上77点未満		2.2		2.2		2.5		2.2		2.2		2.5		2.2		2.2		2.5	
			75点以上76点未満		1.8		1.8		2.0		1.8		1.8		2.0		1.8		1.8		2.0	
			74点以上75点未満		1.4		1.4		1.5		1.4		1.4		1.5		1.4		1.4		1.5	
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0	
			72点以上73点未満		0.6		0.6		0.5		0.6		0.6		0.5		0.6		0.6		0.5	
			72点未満		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
		過去2年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無（2年度対象）及び工事成績優秀企業認定の有無（1年度対象）、北海道開発局i-Con奨励賞（1年度対象）又は受賞決定日から2年間の国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通省i-Construction大賞（2年度対象）を含む。）（※局長表彰、旭川開発建設部長表彰、インフラDX大賞、i-Con奨励賞、i-Con大賞の重複評価は行わない、工事成績優秀企業認定のみ重複評価を行う。） ※北海道開発局発注工事に限る ※舗装工事については、舗装工事のみを加点対象とする。	局長表彰（同一事業部門限定）		2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大
			旭川開発建設部長表彰（同一事業部門限定）		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0	
			北海道開発局i-Con奨励賞		0.5	2.5	0.5	2.5	0.5	2.5	0.5	2.5	0.5	2.5	0.5	2.5	0.5	2.5	0.5	2.5	0.5	2.5
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通i-Construction大賞「国土交通大臣賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0	
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通i-Construction大賞「優秀賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0	
			工事成績優秀企業		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5	
		舗装施工管理技術者（日本道路建設業協会認定資格）の配置	1級×1＋2級×0．5	舗装工事において選択													1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
				1.0以上													0.0		0.0		0.0	
				1.0未満																		
		技能者の元請比率	元請比率=（元請の配置予定技能者数＋子会社の配置予定技能者数）／全配置予定技能者数	0.7以上													1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
				0.7未満													0.0		0.0		0.0	
		主要機械の元請比率	元請比率=（元請が保有している配置予定主要機械数＋子会社が保有している配置予定主要機械数＋元請が長期リースしている配置予定主要機械数）／全配置予定主要機械数	0.5以上													1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
				0.5未満													0.0		0.0		0.0	
		NETIS登録技術の活用（原則義務化部門は除く）	関連分野での技術開発実績（NETISへの登録）の有無及び有用な新技術の当該工事への適用	選択							1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0						
		情報化施工技術活用	「情報化施工技術の活用ガイドライン」に基づき加点する。（農業部門）								1.0（1.0）	1.0（1.0）	1.0（1.0）	1.0（1.0）	1.0（1.0）	1.0（1.0）						
	企業（地域）	本支店、営業所の所在地	○○事務所管内本店	選択	2.0	最大	2.0	最大		最大		最大		最大		最大	2.0	最大		最大		最大
			旭川開発建設部管内本店		0.0	2.0	0.0	2.0	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	0.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			道内本店						0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.5	
			道内支店・営業所																		0.0	
		過去10年度の近隣地域（開発建設部内）での施工実績	あり		2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			なし		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
		維持工事の施工実績（道路部門のみ）	・工事区分が「一般土木」について、当該工事区間または箇所が年間維持除雪工事の区間内にある場合、その年間維持除雪工事（工事区分「維持」）の施工実績が連続5年以上 ・工事区分が「舗装」について、当該工事区間または箇所が年間舗装維持工事の区間内にある場合、その年間舗装維持工事（工事区分「維持」）の施工実績が連続5年以上	道路部門で選択	0.5	(0.5)	0.5	(0.5)	0.5	(0.5)							0.5	(0.5)	0.5	(0.5)	0.5	(0.5)
		過去3年度以降の災害活動の実態等（活動実績又は防災活動や支援体制）	実績等が確認できること	選択	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		当年度の災害活動の実態（協定の締結）	防災協定が締結されている		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		ワーク・ライフ・バランス	次に掲げるいずれかの認定を受けている ・女性活躍推進法に基づく認定等・次世代法に基づく認定・若者雇用促進法に基づく認定 ※一般土木で発注する工事のうち、WTO及びA等級で発注する工事						0.5	(0.5)					0.5	(0.5)						
		その他																				
	小計				17.5（18.0）		17.5（18.0）		17.5（18.5）		18.5（19.5）		18.5（19.5）		18.5（20.0）		17.5（18.0）		17.5（18.0）		17.5（18.0）	
技術提案等	技術提案等	簡易な技術提案	施工上の課題に対する考え方等																			
		施工計画	施工計画が適切に記載されている																			
			施工計画が不適切である																			
		技術提案（段階選抜時）	高い効果が期待できる																			
			効果が期待できる																			
			一般的事項のみの記載となっている																			
		技術提案（段階選抜後）	高い効果が期待できる																			
			効果が期待できる																			
			一般的事項のみの記載となっている																			
		技術提案	施工上の課題に対し、最も優位な効果が期待できる																			
			施工上の課題に対し、優位な効果が期待できる																			
			施工上の課題に対し、効果が期待できる																			
			不適切ではないが、一般的事項のみの記載となっている																			
			技術提案が不適切である																			
ヒアリング	ヒアリング	監理能力	十分な監理能力が確認できる	選択																		
			一定の監理能力が期待できる																			
			上記以外																			
		施工計画	施工計画の説明が適切である																			
			施工計画の説明が不適切である																			
		技術提案に対する理解度	提案を十分に理解している																			
			提案を理解している																			
			上記以外																			
減点項目		直近の措置	指名停止	必須	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)
			文書注意		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)	
			口頭注意		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)	
		修補請求	修補請求（低入札工事であった場合は下段の点数）		(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)
		賃上げ未実施企業	賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点		(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)
配点合計	技術提案等																					
	技術者				3.0		12.5		12.5		3.0		12.5		12.5		3.0		12.5		12.5	
	企業				11.5		11.5		13.5		12.5（13.5）		12.5（13.5）		14.5（15.5）		11.5		11.5		13.5	
	企業（地域）				6.0（6.5）		6.0（6.5）		4.0（5.0）		6.0		6.0		4.0（4.5）		6.0（6.5）		6.0（6.5）		4.0（4.5）	
	合計				27.5（28.0）		33.0（33.5）		33.0（34.0）		22.5（23.5）		31.0（32.0）		31.0（32.5）		27.5（28.0）		33.0（33.5）		33.0（33.5）	
賃上げを実施する企業に対する加点措置			賃上げの実施を表明した企業等を評価する。（対前年度または前年比で、従業員に右記を表明している場合） ※技術提案評価型は「段階選抜後」に加点	必須	2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0	

旭川 2024年1月1日 入札公告から適用 配点表 技術者育成型 一般土木(河川・道路・農業)・舗装【若手:同等評価】

評価項目 大項目	中項目	小項目	評価基準		施工能力評価型 一般土木(河川・道路) 2.5億未満 施工能力評価型Ⅰ・Ⅱ Ⅱ型 評価	配点	Ⅰ型① 評価	配点	2.5億以上 施工能力評価型Ⅰ Ⅰ型① 評価	配点	施工能力評価型 一般土木(農業) 2.5億未満 施工能力評価型Ⅰ・Ⅱ Ⅱ型 評価	配点	Ⅰ型① 評価	配点	2.5億以上 施工能力評価型Ⅰ Ⅰ型① 評価	配点	施工能力評価型 舗装 2.5億未満 施工能力評価型Ⅰ・Ⅱ 0.8億未満 Ⅱ型 評価	配点	0.8億以上2.5億未満 Ⅰ型① 評価	配点	2.5億以上 施工能力評価型Ⅰ Ⅰ型① 評価	配点
施工能力等	技術者	過去15年度の同種工事の実績 同種性・立場	より同種性の高い工事において、監理(主任)技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	必須	7.0	7.0	3.5	3.0	3.5	3.0	7.0	7.0	3.5	3.0	3.5	3.0	7.0	7.0	3.5	3.0	3.5	3.0
			より同種性の高い工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理(主任)技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事		3.5		1.5		1.5		3.5		1.5		1.5		3.5		1.5		1.5	
			同種性が認められる工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理(主任)技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績(当該工事と同じ工事区分の任意の1工事)	83点以上	—																		
			82点以上83点未満																			
			81点以上82点未満																			
			80点以上81点未満																			
			79点以上80点未満																			
			78点以上79点未満																			
			77点以上78点未満																			
			76点以上77点未満																			
			75点以上76点未満																			
			74点以上75点未満																			
			73点以上74点未満																			
			72点以上73点未満																			
			72点未満																			
		過去4年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無 ※舗装工事については、舗装工事のみを加点対象とする。	①局長表彰(同一事業部門限定) ②海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通大臣賞	—																		
			①旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定) ②海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通奨励賞																			
		主任(監理)技術者の資格	技術士を有している又は1級土木経験年数5年以上工種区分に応じて資格を追加する	選択	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5
			上記以外		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
		CPDへの取組	指定団体の一定数以上の認定あり		1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5
		施工監理能力の確認(書面)	当該工事での留意事項 3項目程度まで	必須			10.0 ～ 0.0	10.0	10.0 ～ 0.0	10.0			10.0 ～ 0.0	10.0	10.0 ～ 0.0	10.0			10.0 ～ 0.0	10.0	10.0 ～ 0.0	10.0
		その他		選択																		
小計						8.0		13.5		13.5		8.0		13.5		13.5		8.0		13.5		13.5
	企業(地域以外)	過去15年度の同種工事実績	より同種性の高い工事実績あり	必須	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0
			同種性が認められる工事の実績あり		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
		過去2年度の北海道開発局発注の全工事(舗装含む)成績の平均点 (2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度対象。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象) ※舗装工事については、舗装工事のみの平均点とする。	83点以上		5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0
			82点以上83点未満		4.6		4.6		5.5		4.6		4.6		5.5		4.6		4.6		5.5	
			81点以上82点未満		4.2		4.2		5.0		4.2		4.2		5.0		4.2		4.2		5.0	
			80点以上81点未満		3.8		3.8		4.5		3.8		3.8		4.5		3.8		3.8		4.5	
			79点以上80点未満		3.4		3.4		4.0		3.4		3.4		4.0		3.4		3.4		4.0	
			78点以上79点未満		3.0		3.0		3.5		3.0		3.0		3.5		3.0		3.0		3.5	
			77点以上78点未満		2.6		2.6		3.0		2.6		2.6		3.0		2.6		2.6		3.0	
			76点以上77点未満		2.2		2.2		2.5		2.2		2.2		2.5		2.2		2.2		2.5	
			75点以上76点未満		1.8		1.8		2.0		1.8		1.8		2.0		1.8		1.8		2.0	
			74点以上75点未満		1.4		1.4		1.5		1.4		1.4		1.5		1.4		1.4		1.5	
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0	
			72点以上73点未満		0.6		0.6		0.5		0.6		0.6		0.5		0.6		0.6		0.5	
			72点未満		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
		過去2年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無(2年度対象)及び工事成績優秀企業認定の有無(1年度対象)、北海道開発局i-Con奨励賞(1年度対象)又は受賞決定日から2年間の国土交通省インフラDX大賞(旧:国土交通省i-Construction大賞(2年度対象)を含む。)(※局長表彰、旭川開発建設部長表彰、インフラDX大賞、i-Con奨励賞、i-Con大賞の重複評価は行わない、工事成績優秀企業認定のみ重複評価を行う。) ※北海道開発局発注工事に限る ※舗装工事については、舗装工事のみを加点対象とする。	局長表彰(同一事業部門限定)		2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大	2.0	最大
			旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定)		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0	
			北海道開発局i-Con奨励賞		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5	
			国土交通省インフラDX大賞(旧:国土交通i-Construction大賞「国土交通大臣賞」を含む。)※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5
			国土交通省インフラDX大賞(旧:国土交通i-Construction大賞「優秀賞」を含む。)※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0	
			工事成績優秀企業		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5	
		舗装施工管理技術者(日本道路建設業協会認定資格)の配置	1級×1＋2級×0.5	舗装工事において選択													1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			1.0以上														0.0		0.0		0.0	
			1.0未満																			
		技能者の元請比率	元請比率=(元請の配置予定技能者数＋子会社の配置予定技能者数)／全配置予定技能者数														1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			0.7以上														0.0		0.0		0.0	
			0.7未満																			
		主要機械の元請比率	元請比率=(元請が保有している配置予定主要機械数＋子会社が保有している配置予定主要機械数＋元請が長期リースしている配置予定主要機械数)／全配置予定主要機械数														1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			0.5以上														0.0		0.0		0.0	
			0.5未満																			
		NETIS登録技術の活用 (原則義務化部門は除く)	関連分野での技術開発実績(NETISへの登録)の有無及び有用な新技術の当該工事への適用	選択							1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0						
		情報化施工技術活用	「情報化施工技術の活用ガイドライン」に基づき加点する。(農業部門)								1.0 (1.0)	1.0 (1.0)	1.0 (1.0)	1.0 (1.0)	1.0 (1.0)	1.0 (1.0)						
		その他																				
	企業(地域)	本支店、営業所の所在地	○○事務所管内本店	選択	2.0	最大	2.0	最大		最大		最大		最大		最大	2.0	最大		最大		最大
			旭川開発建設部管内本店		0.0	2.0	0.0	2.0	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	0.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			道内本店						0.0		0.0		0.0		0.0				0.0		0.5	
			道内支店・営業所																		0.0	
		過去10年度の近隣地域(開発建設部内)での施工実績	あり		2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			なし		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
		維持工事の施工実績 (道路部門のみ)	・工事区分が「一般土木」について、当該工事区間または箇所が年間維持除雪工事の区間内にある場合、その年間維持除雪工事(工事区分「維持」)の施工実績が連続5年以上 ・工事区分が「舗装」について、当該工事区間または箇所が年間舗装維持工事の区間内にある場合、その年間舗装維持工事(工事区分「維持」)の施工実績が連続5年以上	道路部門で選択	0.5	(0.5)	0.5	(0.5)	0.5	(0.5)							0.5	(0.5)	0.5	(0.5)	0.5	(0.5)
		過去3年度以降の災害活動の実態等(活動実績又は防災活動や支援体制)	実績等が確認できること	選択	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		当年度の災害活動の実態(協定の締結)	防災協定が締結されている		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		ワーク・ライフ・バランス	次に掲げるいずれかの認定を受けている ・女性活躍推進法に基づく認定等・次世代法に基づく認定・若者雇用促進法に基づく認定 一般土木で発注する工事のうち、WTO及びA等級で発注する工事						0.5	(0.5)					0.5	(0.5)						
		その他																				
小計					17.5 (18.0)		17.5 (18.0)		17.5 (18.5)		18.5 (19.5)		18.5 (19.5)		18.5 (20.0)		17.5 (18.0)		17.5 (18.0)		17.5 (18.0)	
技術提案等	技術提案等	簡易な技術提案	施工上の課題に対する考え方等																			
		施工計画	施工計画が適切に記載されている																			
			施工計画が不適切である																			
		技術提案(段階選抜時)	高い効果が期待できる																			
			効果が期待できる																			
			一般的事項のみの記載となっている																			
		技術提案(段階選抜後)	高い効果が期待できる																			
			効果が期待できる																			
			一般的事項のみの記載となっている																			
		技術提案	施工上の課題に対し、最も優位な効果が期待できる																			
			施工上の課題に対し、優位な効果が期待できる																			
			施工上の課題に対し、効果が期待できる																			
			不適切ではないが、一般的事項のみの記載となっている																			
			技術提案が不適切である																			
ヒアリング	ヒアリング	監理能力	十分な監理能力が確認できる	選択																		
			一定の監理能力が期待できる																			
			上記以外																			
		施工計画	施工計画の説明が適切である																			
			施工計画の説明が不適切である																			
		技術提案に対する理解度	提案を十分に理解している																			
			提案を理解している																			
			上記以外																			
減点項目		直近の措置	指名停止	必須	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)
			文書注意		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)	
			口頭注意		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)	
		修補請求	修補請求 (低入札工事であった場合は下段の点数)		(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)
		賃上げ未実施企業	賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点		(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)
配点合計		技術提案等																				
		技術者			8.0		13.5		13.5		8.0		13.5		13.5		8.0		13.5		13.5	
		企業			11.5		11.5		13.5		12.5 (13.5)		12.5 (13.5)		14.5(15.5)		11.5		11.5		13.5	
		企業(地域)			6.0 (6.5)		6.0 (6.5)		4.0 (5.0)		6.0		6.0		4.0 (4.5)		6.0 (6.5)		6.0 (6.5)		4.0 (4.5)	
		合計			25.5 (26.0)		31.0 (31.5)		31.0 (32.0)		26.5 (27.5)		32.0 (33.0)		32.0 (33.5)		25.5 (26.0)		31.0 (31.5)		31.0 (31.5)	
賃上げを実施する企業に対する加点措置			賃上げの実施を表明した企業等を評価する。(対前年度または前年比で、従業員に右記を表明している場合) ※技術提案評価型は「段階選抜後」に加点	必須	2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0	

旭川 2023年8月1日 入札公告から適用 配点表 技術者育成型【チャレンジ型】

評価項目			評価基準		施工能力評価型 一般土木(河川・道路)						施工能力評価型 一般土木(農業)						施工能力評価型 舗装					
大項目	中項目	小項目			2．5億未満 施工能力評価型Ⅰ		2．5億以上 施工能力評価型Ⅰ				2．5億未満 施工能力評価型Ⅰ		2．5億以上 施工能力評価型Ⅰ				2．5億未満 施工能力評価型Ⅰ		2．5億以上 施工能力評価型Ⅰ			
					1型①		Ⅰ型①		Ⅰ型②		1型①		Ⅰ型①		Ⅰ型②		0.8億未満 1型①		0.8億以上2.5億未満 Ⅰ型①		Ⅰ型②	
					評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点	評価	配点
施工能力等	技術者	過去15年度の同種工事の実績 同種性・立場	より同種性の高い工事において、監理(主任)技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	—																		
			より同種性の高い工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理(主任)技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事																			
			同種性が認められる工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事																			
		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理(主任)技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績（当該工事と同じ工事区分の任意の1工事）	83点以上	—																		
			82点以上83点未満																			
			81点以上82点未満																			
			80点以上81点未満																			
			79点以上80点未満																			
			78点以上79点未満																			
			77点以上78点未満																			
			76点以上77点未満																			
			75点以上76点未満																			
			74点以上75点未満																			
			73点以上74点未満																			
			72点以上73点未満																			
			72点未満																			
		過去4年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無 ※舗装工事については、舗装工事のみを加点対象とする。	①局長表彰(同一事業部門限定) ②海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通大臣賞	—																		
			①旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定) ②海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通奨励賞																			
		主任(監理)技術者の資格	技術士を有している又は1級土木経験年数5年以上 工種区分に応じて資格を追加する	—																		
			上記以外																			
		CPDへの取組	指定団体の一定数以上の認定あり	—																		
		施工監理能力の確認(書面)	当該工事での留意事項 3項目程度まで	—																		
		その他		選択																		
小計						0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
施工能力等	企業（地域以外）	過去15年度の同種工事実績	より同種性の高い工事実績あり	—																		
			同種性が認められる工事の実績あり																			
		過去2年度の北海道開発局発注の全工事(舗装含む)成績の平均点 (2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象。) ※舗装工事については、舗装工事のみの平均点とする。	83点以上	—																		
			82点以上83点未満																			
			81点以上82点未満																			
			80点以上81点未満																			
			79点以上80点未満																			
			78点以上79点未満																			
			77点以上78点未満																			
			76点以上77点未満																			
			75点以上76点未満																			
			74点以上75点未満																			
			73点以上74点未満																			
			72点以上73点未満																			
			72点未満																			
		過去2年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無(2年度対象)及び工事成績優秀企業認定の有無(1年度対象)、北海道開発局i-Con奨励賞(1年度対象)又は受賞決定日から2年間の国土交通省インフラDX大賞(旧:国土交通省i-Construction大賞(2年度対象)を含む。)(※局長表彰、旭川開発建設部長表彰、インフラDX大賞、i-Con奨励賞、i-Con大賞の重複評価は行わない。工事成績優秀企業認定のみ重複評価を行う。) ※北海道開発局発注工事に限る ※舗装工事については、舗装工事のみを加点対象とする。	局長表彰(同一事業部門限定)	—																		
			旭川開発建設部長表彰(同一事業部門限定)																			
			北海道開発局i-Con奨励賞																			
			国土交通省インフラDX大賞(旧:国土交通i-Construction大賞「国土交通大臣賞」を含む。)※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。																			
			国土交通省インフラDX大賞(旧:国土交通i-Construction大賞「優秀賞」を含む。)※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。																			
			工事成績優秀企業																			
		舗装施工管理技術者(日本道路建設業協会認定資格)の配置	1級×1＋2級×0．5	1.0以上	—																	
				1.0未満																		
		技能者の元請比率	元請比率=(元請の配置予定技能者数＋子会社の配置予定技能者数)／全配置予定技能者数	0.7以上																		
				0.7未満																		
		主要機械の元請比率	元請比率=(元請が保有している配置予定主要機械数＋子会社が保有している配置予定主要機械数＋元請が長期リースしている配置予定主要機械数)／全配置予定主要機械数	0.5以上																		
				0.5未満																		
		NETIS登録技術の活用 (原則義務化部門は除く)	関連分野での技術開発実績(NETISへの登録)の有無及び有用な新技術の当該工事への適用	—																		
		その他																				
施工能力等	企業（地域）	本支店、営業所の所在地	○○事務所管内本店	—																		
			旭川開発建設部管内本店																			
			道内本店																			
			道内支店・営業所																			
		過去10年度の近隣地域(開発建設部内)での施工実績	あり	—																		
			なし																			
		維持工事の施工実績 (道路部門のみ)	・工事区分が「一般土木」について、当該工事区間または箇所が年間維持除雪工事の区間内にある場合、その年間維持除雪工事(工事区分「維持」)の施工実績が連続5年以上 ・工事区分が「舗装」について、当該工事区間または箇所が年間舗装維持工事の区間内にある場合、その年間舗装維持工事(工事区分「維持」)の施工実績が連続5年以上	—																		
		過去3年度以降の災害活動の実態等(活動実績又は防災活動や支援体制)	実績等が確認できること	—																		
		当年度の災害活動の実態(協定の締結)	防災協定が締結されている	—																		
		その他		選択																		
小計						0.0 (0.0)		0.0 (0.0)		0.0 (0.0)		1.0 (1.0)		1.0 (1.0)		1.0 (1.0)		0.0 (0.0)		0.0 (0.0)		0.0 (0.0)
技術提案等	技術提案等	簡易な技術提案	施工上の課題に対する考え方等	必須	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
		施工計画	施工計画が適切に記載されている	—																		
			施工計画が不適切である																			
		技術提案(段階選抜時)	高い効果が期待できる																			
			効果が期待できる																			
			一般的事項のみの記載となっている																			
		技術提案(段階選抜後)	高い効果が期待できる																			
			効果が期待できる																			
			一般的事項のみの記載となっている																			
		技術提案	施工上の課題に対し、最も優位な効果が期待できる																			
			施工上の課題に対し、優位な効果が期待できる																			
			施工上の課題に対し、効果が期待できる																			
			不適切ではないが、一般的事項のみの記載となっている																			
			技術提案が不適切である																			
ヒアリング	ヒアリング	監理能力	十分な監理能力が確認できる	—																		
			一定の監理能力が期待できる																			
			上記以外																			
		施工計画	施工計画の説明が適切である																			
			施工計画の説明が不適切である																			
		技術提案に対する理解度	提案を十分に理解している																			
			提案を理解している																			
			上記以外																			
減点項目	直近の措置		指名停止	必須	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)
			文書注意		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)	
			口頭注意		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)	
	修補請求		修補請求 (低入札工事であった場合は下段の点数)		(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)
	賃上げ未実施企業		賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点		(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)	(−3.0)
配点合計	技術提案等				20.0		20.0		20.0		20.0		20.0		20.0		20.0		20.0		20.0	
	技術者																					
	企業		一般土木の( )書きは農業部門限定								1.0 (1.0)		1.0 (1.0)		1.0 (1.0)							
	企業(地域)		一般土木の( )書きは道路部門限定																			
	合計		一般土木の( )書きは道路部門限定																			
賃上げを実施する企業に対する加点措置			賃上げの実施を表明した企業等を評価する。 (対前年度または前年比で、従業員に右記を表明している場合) ※技術提案評価型は「段階選抜後」に加点	必須	2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0		2.0	

旭川 2024年1月1日 入札公告から適用 施工計画重視型 配点表（一般土木）

評価項目 大項目	中項目	小項目	評価基準		河川 施工能力評価型Ⅰ型① 評価	河川 配点	道路 施工能力評価型Ⅰ型① 評価	道路 配点	農業 施工能力評価型Ⅰ型① 評価	農業 配点
					2.5未満 / 1.0以上2.5未満 / 2.5以上4.5未満 / 2.5以上6.8未満 / Ⅱ以下 / Ⅲ以上 / Ⅰ～Ⅲ / Ⅰ～Ⅳ / 難易度		2.5未満 / 1.0以上2.5未満 / 2.5以上4.5未満 / 2.5以上6.8未満 / Ⅱ以下 / Ⅲ以上 / Ⅰ～Ⅲ / Ⅰ～Ⅳ / 難易度		1.6未満 / 1.0以上2.5未満 / 2.5以上4.5未満 / 2.5以上6.8未満 / Ⅱ以下 / Ⅱ以上 / Ⅰ～Ⅲ / Ⅰ～Ⅳ / 難易度	
施工能力等	技術者	過去15年度の同種工事の実績 同種性・立場	より同種性の高い工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	必須	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
			より同種性の高い工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事		1.0		1.0		1.0	
			同種性が認められる工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事		0.0		0.0		0.0	
		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績（当該工事と同じ工事区分の任意の1工事）※同一事業部門（道路部門のみ対象）の維持工事（年間維持除雪等）の成績も評価とする	83点以上		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
			82点以上83点未満		2.8		2.8		2.8	
			81点以上82点未満		2.6		2.6		2.6	
			80点以上81点未満		2.4		2.4		2.4	
			79点以上80点未満		2.2		2.2		2.2	
			78点以上79点未満		2.0		2.0		2.0	
			77点以上78点未満		1.8		1.8		1.8	
			76点以上77点未満		1.6		1.6		1.6	
			75点以上76点未満		1.4		1.4		1.4	
			74点以上75点未満		1.2		1.2		1.2	
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0	
			72点以上73点未満		0.8		0.8		0.8	
			72点未満		0.0		0.0		0.0	
		過去4年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無	①局長表彰（同一事業部門限定） ②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通大臣賞		2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
			①旭川開発建設部長表彰（同一事業部門限定） ②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通奨励賞		1.5		1.5		1.5	
		主任（監理）技術者の資格	技術士を有している又は1級土木経験年数5年以上 ※2級が参加資格の場合は経験年数を省く 工種区分に応じて資格を追加する	選択						
			上記以外							
		CPDへの取組	指定団体の一定数以上の認定あり		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
		施工監理能力の確認（書面）	当該工事での留意事項 3項目：1項目8点、2項目及び˚3項目各6点 1項の評価は、満点、0点の2段階評価 ※（　）は、3項目：1項目10点、2項目及び˚3項目各5点の場合	必須	20.0(20.0) 14.0(15.0) 12.0(10.0) 8.0(—) 6.0(5.0) 0.0(0.0)	20.0	20.0(20.0) 14.0(15.0) 12.0(10.0) 8.0(—) 6.0(5.0) 0.0(0.0)	20.0	20.0(20.0) 14.0(15.0) 12.0(10.0) 8.0(—) 6.0(5.0) 0.0(0.0)	20.0
		その他		選択						
	小計					28.0		28.0		28.0
	企業（地域以外）	過去15年度の同種工事実績	より同種性の高い工事実績あり	必須	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
			同種性が認められる工事の実績あり		0.0		0.0		0.0	
		過去2年度の北海道開発局発注の全工事（舗装含む）成績の平均点（2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度、過去8年度の実績が無い場合は10年度対象）	83点以上		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
			82点以上83点未満		2.8		2.8		2.8	
			81点以上82点未満		2.6		2.6		2.6	
			80点以上81点未満		2.4		2.4		2.4	
			79点以上80点未満		2.2		2.2		2.2	
			78点以上79点未満		2.0		2.0		2.0	
			77点以上78点未満		1.8		1.8		1.8	
			76点以上77点未満		1.6		1.6		1.6	
			75点以上76点未満		1.4		1.4		1.4	
			74点以上75点未満		1.2		1.2		1.2	
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0	
			72点以上73点未満		0.8		0.8		0.8	
			72点未満		0.0		0.0		0.0	
		過去2年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無（2年度対象）及び工事成績優秀企業認定の有無（1年度対象）、北海道開発局i-Con奨励賞（1年度対象）又は受賞決定日から2年間の国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通省i-Construction大賞（2年度対象）を含む。）（※局長表彰、旭川開発建設部長表彰、インフラDX大賞、i-Con奨励賞、i-Con大賞の重複評価は行わない。工事成績優秀企業認定のみ重複評価を行う。）※北海道開発局発注工事に限る ※舗装工事については、舗装工事のみを加点対象とする。	局長表彰（同一事業部門限定）		1.5	最大 2.0	1.5	最大 2.0	1.5	最大 2.0
			旭川開発建設部長表彰（同一事業部門限定）		1.0		1.0		1.0	
			北海道開発局i-Con奨励賞		0.5		0.5		0.5	
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通i-Construction大賞「国土交通大臣賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		1.5		1.5		1.5	
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通i-Construction大賞「優秀賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		1.0		1.0		1.0	
			工事成績優秀企業		0.5		0.5		0.5	
		NETIS登録技術活用	関連分野での技術開発実績（NETISへの登録）がある、または有用な新技術の当該工事への適用	選択						
		登録基幹技能者等の配置（登録基幹技能者等の活用対象工事のみ）	優秀施工者国土交通大臣顕彰者は表彰から10年間、技能士は特級、1級、単一等級のみ加点	登録基幹技能者	1.0	最大（1.0）	1.0	最大（1.0）	1.0	最大（1.0）
				建設マスター	1.0		1.0		1.0	
				技能士	0.5		0.5		0.5	
		情報化施工技術活用	「情報化施工技術の活用ガイドライン」に基づき加点する。（農業部門）						1.0（1.0）	1.0（1.0）
		ICTの活用（ICT活用評価対象工事のみ）								
		その他								
	企業（地域）	本支店、営業所の所在地	〇〇事務所管内本店		1.0 1.0	1.0	1.0 1.0	1.0	1.0	1.0
			旭川開発建設部管内本店		0.0 0.5 1.0 1.0		0.0 0.5 1.0 1.0		0.0 0.5	
			道内本店		0.0 0.0 0.5		0.0 0.0 0.5			
			道内支店、営業所		0.0		0.0		0.0	
		過去10年度の近隣地域（開発建設部内）での施工実績	あり		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			なし		0.0		0.0		0.0	
		維持工事の施工実績（道路部門のみ）	・当該工事区間または箇所が年間維持除雪工事の区間内にある場合、その年間維持除雪工事（工事区分「維持」）の施工実績が連続5年以上				0.5	0.5		
		過去3年度以降の活動の実態等（活動実績又は防災活動や支援体制）	実績等が確認できること	必須	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		当年度の災害活動の実態（協定の締結）	防災協定が締結されている		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		ワーク・ライフ・バランス	次に掲げるいずれかの認定を受けている ・女性活躍推進法に基づく認定等・次世代法に基づく認定・若者雇用促進法に基づく認定 一般土木で発注する工事のうち、WTO及びA等級で発注する工事	選択	0.5	(0.5)	0.5	(0.5)	0.5	(0.5)
		その他								
	小計				13.0（13.5）		13.5（14.0）		13.0（14.5）	
技術提案等	技術提案等	簡易な技術提案	施工上の課題に対する考え方等							
		施工計画	施工計画が適切に記載されている							
			施工計画が不適切である							
		技術提案（段階選抜時）	高い効果が期待できる							
			効果が期待できる							
			一般的事項のみの記載となっている							
		技術提案（段階選抜後）	高い効果が期待できる							
			効果が期待できる							
			一般的事項のみの記載となっている							
		技術提案	施工上の課題に対し、最も優位な効果が期待できる							
			施工上の課題に対し、優位な効果が期待できる							
			施工上の課題に対し、効果が期待できる							
			不適切ではないが、一般的事項のみの記載となっている							
			技術提案が不適切である							
段階的選抜										
ヒアリング	ヒアリング	監理能力	十分な監理能力が確認できる							
			一定の監理能力が期待できる							
			上記以外							
		施工計画	施工計画の説明が適切である							
			施工計画の説明が不適切である							
		技術提案に対する理解度	提案を十分に理解している							
			提案を理解している							
			上記以外							
減点項目		直近の措置	指名停止	必須	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)
			文書注意		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)	
			口頭注意		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)	
		修補請求	修補請求 （低入札工事であった場合は下段の点数）		(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)
		賃上げ未実施企業	賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点		(−4.0)	(−4.0)	(−4.0)	(−4.0)	(−4.0)	(−4.0)
配点合計		技術提案等								
		技術者			28.0		28.0		28.0	
		企業			8.0（9.0）		8.0（9.0）		8.0（10.0）	
		企業（地域）			4.0（4.5）		4.0（4.5）		4.0（4.5）	
		合計			40.0（41.5）		40.0（41.5）		40.0（42.5）	
賃上げを実施する企業に対する加点措置			賃上げの実施を表明した企業等を評価する。 （対前年度または前年比で、従業員に右記を表明している場合） ※技術提案評価型は「段階選抜後」に加点	必須	3.0		3.0		3.0	

旭川 2023年8月1日 入札公告から適用 施工計画重視型 配点表（鋼橋上部）

評価項目 大項目	評価項目 中項目	評価項目 小項目	評価基準		鋼橋上部 施工能力評価型Ⅰ型① 2.5未満 / Ⅱ以下	1.0以上2.5未満 / Ⅲ以上	2.5以上4.5未満 / Ⅰ～Ⅲ	2.5以上6.8未満 / Ⅰ～Ⅳ	難易度 評価	配点
施工能力等	技術者	過去15年度の同種工事の実績 同種性・立場	より同種性の高い工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	必須	2.0					2.0
			より同種性の高い工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事		1.0					
			同種性が認められる工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事		0.0					
		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績（当該工事と同じ工事区分の任意の1工事）	83点以上		3.0					3.0
			82点以上83点未満		2.8					
			81点以上82点未満		2.6					
			80点以上81点未満		2.4					
			79点以上80点未満		2.2					
			78点以上79点未満		2.0					
			77点以上78点未満		1.8					
			76点以上77点未満		1.6					
			75点以上76点未満		1.4					
			74点以上75点未満		1.2					
			73点以上74点未満		1.0					
			72点以上73点未満		0.8					
			72点未満		0.0					
		過去4年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無	①局長表彰（同一事業部門限定） ②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通大臣賞		2.5					2.5
			①旭川開発建設部長表彰（同一事業部門限定） ②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通奨励賞		1.5					
		主任（監理）技術者の資格	技術士を有している又は1級土木経験年数5年以上 ※2級が参加資格の場合は経験年数を省く 工種区分に応じて資格を追加する	選択						
			上記以外							
		CPDへの取組	指定団体の一定数以上の認定あり		0.5					0.5
		施工監理能力の確認（書面）	当該工事での留意事項 3項目：1項目8点、2項目及び゛3項目各6点 1項の評価は、満点、0点の2段階評価 ※（　）は、3項目：1項目10点、2項目及び゛3項目各5点の場合	必須	20.0(20.0) 14.0(15.0) 12.0(10.0) 8.0(—) 6.0(5.0) 0.0(0.0)					20.0
		その他		選択						
	小計									28.0
	企業	企業（地域以外） 過去15年度の同種工事実績	より同種性の高い工事実績あり	必須	3.0					3.0
			同種性が認められる工事の実績あり		0.0					
		過去2年度の北海道開発局発注の全工事（舗装含む）成績の平均点（2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象）	83点以上		3.0					3.0
			82点以上83点未満		2.8					
			81点以上82点未満		2.6					
			80点以上81点未満		2.4					
			79点以上80点未満		2.2					
			78点以上79点未満		2.0					
			77点以上78点未満		1.8					
			76点以上77点未満		1.6					
			75点以上76点未満		1.4					
			74点以上75点未満		1.2					
			73点以上74点未満		1.0					
			72点以上73点未満		0.8					
			72点未満		0.0					
		過去2年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無（2年度対象）及び工事成績優秀企業認定の有無（1年度対象）、北海道開発局i-Con奨励賞（1年度対象）又は受賞決定日から2年間の国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通省i-Construction大賞（2年度対象）を含む。）（※局長表彰、旭川開発建設部長表彰、インフラDX大賞、i-Con奨励賞、i-Con大賞の重複評価は行わない。工事成績優秀企業認定のみ重複評価を行う。） ※北海道開発局発注工事に限る	局長表彰（同一事業部門限定）		1.5					最大 2.0
			旭川開発建設部長表彰（同一事業部門限定）		1.0					
			北海道開発局i-Con奨励賞		0.5					
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通i-Construction大賞「国土交通大臣賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		1.5					
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通i-Construction大賞「優秀賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		1.0					
			工事成績優秀企業		0.5					
		NETIS登録技術活用	関連分野での技術開発実績（NETISへの登録）がある、または有用な新技術の当該工事への適用	選択						
		登録基幹技能者等の配置 （登録基幹技能者等の活用対象工事のみ）	優秀施工者国土交通大臣顕彰者は表彰から10年間、技能士は特級、1級、単一等級のみ加点	登録基幹技能者	1.0					最大 1.0
				建設マスター	1.0					
				技能士	0.5					
		情報化施工技術活用 （有意義な技術があれば適用）	NETIS登録技術の活用と重複加点はしない							
		ICTの活用 （ICT活用評価対象工事のみ）								
		その他								
		企業（地域以外） 本支店、営業所の所在地	道内本店		1.0					1.0
			道内工場※		0.5					
			道内支店営業所		0.0					
		過去10年度の近隣地域（開発建設部内）での施工実績	あり		1.0					1.0
			なし		0.0					
		維持工事の施工実績 （道路部門のみ）	・当該工事区間または箇所が年間維持除雪工事の区間内にある場合、その年間維持除雪工事（工事区分「維持」）の施工実績が連続5年以上							
		過去3年度以降の活動の実態等 （活動実績又は防災活動や支援体制）	実績等が確認できること	必須	1.0					1.0
		当年度の災害活動の実態（協定の締結）	防災協定が締結されている		1.0					1.0
		その他		選択						
	小計									13.0
技術提案等	技術提案等	簡易な技術提案	施工上の課題に対する考え方等							
		施工計画	施工計画が適切に記載されている							
			施工計画が不適切である							
		技術提案（段階選抜時）	高い効果が期待できる							
			効果が期待できる							
			一般的事項のみの記載となっている							
		技術提案（段階選抜後）	高い効果が期待できる							
			効果が期待できる							
			一般的事項のみの記載となっている							
		技術提案	施工上の課題に対し、最も優位な効果が期待できる							
			施工上の課題に対し、優位な効果が期待できる							
			施工上の課題に対し、効果が期待できる							
			不適切ではないが、一般的事項のみの記載となっている							
			技術提案が不適切である							
段階的選抜										
ヒアリング	ヒアリング	監理能力	十分な監理能力が確認できる							
			一定の監理能力が期待できる							
			上記以外							
		施工計画	施工計画の説明が適切である							
			施工計画の説明が不適切である							
		技術提案に対する理解度	提案を十分に理解している							
			提案を理解している							
			上記以外							
減点項目		直近の措置	指名停止	必須	（−1.5）					（−1.5）
			文書注意		（−1.0）					
			口頭注意		（−0.5）					
		修補請求	修補請求 （低入札工事であった場合は下段の点数）		（−0.5） （−1.0）					（−1.0）
		賃上げ未実施企業	賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点		（−4.0）					（−4.0）
配点合計		技術提案等								
		技術者			28.0					
		企業			9.0					
		企業（地域）			4.0					
		合計			41.0					
賃上げを実施する企業に対する加点措置			賃上げの実施を表明した企業等を評価する。 （対前年度または前年比で、従業員に右記を表明している場合） ※技術提案評価型は「段階選抜後」に加点	必須	3.0					

※「工場」とは、過去15年間に北海道開発局発注の鋼橋上部工事を元請けとして受注（共同企業体においては、出資率20%以上のものに限る）し、製作した実績を有する工事とする。なお、工事成績評定点が65点未満のものを除く。

旭川 2024年1月1日 入札公告から適用 施工計画重視型 配点表（営繕・電気・機械）

評価項目 大項目	中項目	小項目	評価基準		施工計画重視型 営繕 施工能力評価型Ⅰ型① 評価	配点	施工計画重視型 電気（電気工事） 施工能力評価型Ⅰ型① 評価	配点	施工計画重視型 電気（電気通信工事） 施工能力評価型Ⅰ型① 評価	配点	施工計画重視型 機械 施工能力評価型Ⅰ型① 評価	配点
施工能力等	技術者	過去15年度の同種工事の実績 同種性・立場	より同種性の高い工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事	必須	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
			より同種性の高い工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事、又は同種性が認められる工事において、監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人として従事		1.0		1.0		1.0		1.0	
			同種性が認められる工事において、監理技術者補佐又は担当技術者として従事		0.0		0.0		0.0		0.0	
		過去10年度の北海道開発局発注工事の監理（主任）技術者、特例監理技術者又は現場代理人の成績（当該工事と同じ工事区分の任意の1工事）	83点以上		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
			82点以上83点未満		2.8		2.8		2.8		2.8	
			81点以上82点未満		2.6		2.6		2.6		2.6	
			80点以上81点未満		2.4		2.4		2.4		2.4	
			79点以上80点未満		2.2		2.2		2.2		2.2	
			78点以上79点未満		2.0		2.0		2.0		2.0	
			77点以上78点未満		1.8		1.8		1.8		1.8	
			76点以上77点未満		1.6		1.6		1.6		1.6	
			75点以上76点未満		1.4		1.4		1.4		1.4	
			74点以上75点未満		1.2		1.2		1.2		1.2	
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0	
			72点以上73点未満		0.8		0.8		0.8		0.8	
			72点未満		0.0		0.0		0.0		0.0	
		過去4年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無	①局長表彰（同一事業部門限定） ②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通大臣賞		2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
			①旭川開発建設部長表彰（同一事業部門限定） ②海外インフラプロジェクト優秀技術者　国土交通奨励賞		1.5		1.5		1.5		1.5	
		主任（監理）技術者の資格	営繕：1級建築士又は1級建築施工管理技士等の経験年数5年以上（電気：1級電気施工管理技士等、管：1級管施工管理技士等） 電気・通信・機械：技術士を有している又は1級土木経験年数5年以上 ※2級が参加資格の場合は経験年数を省く 工種区分に応じて資格を追加する	選択								
			上記以外									
		CPDへの取組	指定団体の一定数以上の認定あり		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
		施工監理能力の確認（書面）	当該工事での留意事項 3項目：1項目8点、2項目及び3項目各6点 1項の評価は、満点、0点の2段階評価 ※（　）は、3項目：1項目10点、2項目及び3項目各5点の場合	必須	20.0(20.0)	20.0	20.0(20.0)	20.0	20.0(20.0)	20.0	20.0(20.0)	20.0
					14.0(15.0)		14.0(15.0)		14.0(15.0)		14.0(15.0)	
					12.0(10.0)		12.0(10.0)		12.0(10.0)		12.0(10.0)	
					8.0(－)		8.0(－)		8.0(－)		8.0(－)	
					6.0(5.0)		6.0(5.0)		6.0(5.0)		6.0(5.0)	
					0.0(0.0)		0.0(0.0)		0.0(0.0)		0.0(0.0)	
		その他		選択								
	小計					28.0		28.0		28.0		28.0
	企業 企業（地域以外）	過去15年度の同種工事実績	より同種性の高い工事実績あり	必須	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
			同種性が認められる工事の実績あり		0.0		0.0		0.0		0.0	
		過去2年度の北海道開発局発注の全工事（舗装含む）成績の平均点（2年度対象。ただし、2年度の実績がない場合は4年度を対象。過去4年度の実績がない場合は6年度対象。過去6年度の実績が無い場合は8年度。過去8年度の実績が無い場合は10年度対象）	83点以上		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
			82点以上83点未満		2.8		2.8		2.8		2.8	
			81点以上82点未満		2.6		2.6		2.6		2.6	
			80点以上81点未満		2.4		2.4		2.4		2.4	
			79点以上80点未満		2.2		2.2		2.2		2.2	
			78点以上79点未満		2.0		2.0		2.0		2.0	
			77点以上78点未満		1.8		1.8		1.8		1.8	
			76点以上77点未満		1.6		1.6		1.6		1.6	
			75点以上76点未満		1.4		1.4		1.4		1.4	
			74点以上75点未満		1.2		1.2		1.2		1.2	
			73点以上74点未満		1.0		1.0		1.0		1.0	
			72点以上73点未満		0.8		0.8		0.8		0.8	
			72点未満		0.0		0.0		0.0		0.0	
		過去2年度の北海道開発局長等優良工事表彰の有無（2年度対象）及び工事成績優秀企業認定の有無（1年度対象）、北海道開発局i-Con奨励賞（1年度対象）又は受賞決定日から2年間の国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通省i-Construction大賞（2年度対象）を含む。）（※局長表彰、旭川開発建設部長表彰、インフラDX大賞、i-Con奨励賞、i-Con大賞の重複評価は行わない。工事成績優秀企業認定のみ重複評価を行う。） ※北海道開発局発注工事に限る	局長表彰（同一事業部門限定）		2.0	最大 2.0	2.0	最大 2.0	2.0	最大 2.0	2.0	最大 2.0
			旭川開発建設部長表彰（同一事業部門限定）		1.0		1.0		1.0		1.0	
			北海道開発局i-Con奨励賞		0.5		0.5		0.5		0.5	
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通i-Construction大賞「国土交通大臣賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		2.0		2.0		2.0		2.0	
			国土交通省インフラDX大賞（旧：国土交通i-Construction大賞「優秀賞」を含む。）※国土交通省インフラDX大賞について、農業部門は除く。		1.0		1.0		1.0		1.0	
		NETIS登録技術活用	関連分野での技術開発実績（NETISへの登録）がある、または有用な新技術の当該工事への適用	選択								
		登録基幹技能者等の配置（登録基幹技能者等の活用対象工事のみ）	優秀施工者国土交通大臣賞受賞者は表彰から10年間、技能士は特級、1級、単一等級のみ加点 登録基幹技能者		－	－	1.0	最大 1.0	1.0	最大 1.0	－	－
			建設マスター		－		1.0		1.0		－	
			技能士		－		0.5		0.5		－	
		情報化施工技術活用（有意義な技術があれば適用）	NETIS登録技術の活用と重複加点はしない									
		その他										
	企業 企業（地域）	本支店、営業所の所在地	旭川開発建設部管内本支店営業所			1.0		1.0		1.0	1.0	1.0
			旭川開発建設部管内本店		1.0		1.0		1.0			
			道内本店		0.0		0.5		0.5		0.5	
			道内支店・営業所				0.0		0.0		0.0	
		過去10年度の近隣地域（開発建設部内）での施工実績	あり		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
			なし		0.0		0.0		0.0		0.0	
		過去3年度以降の活動の実態等（活動実績又は防災活動や支援体制）	実績等が確認できること	必須			1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		当年度の災害活動の実態（協定の締結）	防災協定が締結されている		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		ワーク・ライフ・バランス	次に掲げるいずれかの認定を受けている ・女性活躍推進法に基づく認定等・次世代法に基づく認定・若者雇用促進法に基づく認定 WTO及びA等級で発注する工事	選択	0.5	(0.5)						
		その他										
	小計					11.0 (11.5)		12.0		12.0		11.0
技術提案等	技術提案等	簡易な技術提案	施工上の課題に対する考え方等									
		施工計画	施工計画が適切に記載されている									
			施工計画が不適切である									
		技術提案（段階選抜時）	高い効果が期待できる									
			効果が期待できる									
			一般的事項のみの記載となっている									
		技術提案（段階選抜後）	高い効果が期待できる									
			効果が期待できる									
			一般的事項のみの記載となっている									
		技術提案	施工上の課題に対し、最も優位な効果が期待できる									
			施工上の課題に対し、優位な効果が期待できる									
			施工上の課題に対し、効果が期待できる									
			不適切ではないが、一般的事項のみの記載となっている									
			技術提案が不適切である									
段階的選抜												
ヒアリング	ヒアリング	監理能力	十分な監理能力が確認できる									
			一定の監理能力が期待できる									
			上記以外									
		施工計画	施工計画の説明が適切である									
			施工計画の説明が不適切である									
		技術提案に対する理解度	提案を十分に理解している									
			提案を理解している									
			上記以外									
減点項目	直近の措置		指名停止	必須	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)	(−1.5)
			文書注意		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)		(−1.0)	
			口頭注意		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)		(−0.5)	
	修補請求		修補請求 （低入札工事であった場合は下段の点数）		(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)	(−0.5) (−1.0)	(−1.0)
	賃上げ未実施企業		賃上げを実施しなかった企業に対する減点措置 ※技術提案評価型は「段階選抜後」に減点		(−4.0)	(−4.0)	(−4.0)	(−4.0)	(−4.0)	(−4.0)	(−4.0)	(−4.0)
配点合計	技術提案等											
	技術者				28.0		28.0		28.0		28.0	
	企業				8.0		9.0		9.0		8.0	
	企業（地域）				3.0 (3.5)		3.0		3.0		3.0	
	合計				39.0 (39.5)		40.0		40.0		39.0	
賃上げを実施する企業に対する加点措置			賃上げの実施を表明した企業等を評価する。 （対前年度または前年比で、従業員に右記を表明している場合） ※技術提案評価型は「段階選抜後」に加点	必須	3.0		3.0		3.0		3.0	